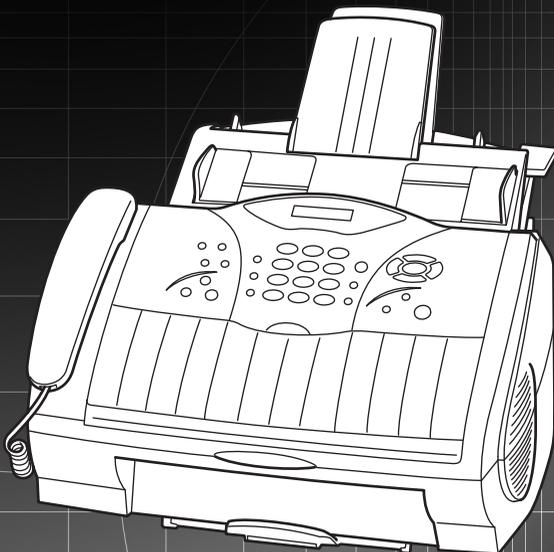


# brother

# FAX-2800J

## 取扱説明書

本書はなくさないように注意し、いつでも手に取ってみることができるようにしてください。



### お客様相談窓口

 **0120-143410**

この商品の取り扱い・操作についてのご不明な点がございましたら、上記お客様相談窓口にお気軽に申しつけてください。

- 受付時間／9:00～20:00 (土曜日のみ17:00まで)
- 営業日／月曜日～土曜日(日・祝日および当社休日は休みとさせていただきます。)

本書の使い方・目次

操作パネル

ご使用前の準備

ご使用前の基本設定

ファクス送信

ファクス受信

ファクスの応用機能

レポート・リスト

コピー

日常のお手入れ

困ったときには

仕様・用語集・索引

## トナーカートリッジとドラムユニットの回収リサイクルのご案内

<http://www.brother.co.jp/jp/printer/recycle/>

ブラザーでは環境保護に対する取り組みの一環としてトナーカートリッジとドラムユニットのリサイクルに取り組んでおります。使い終わりましたブラザー製トナー/ドラムがございましたら回収にご協力お願い申し上げます。詳しくは、ホームページをご参照ください。

## 国際エネルギースタープログラム



この制度は、地球規模の問題である省エネルギー対策に積極的に取り組むために、エネルギー消費の少ない効率的な製品を、開発普及させることを目的としています。当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

## VCCI規格

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

## レーザーに関する安全性

本製品は、米国において、保健および安全に関する放射線規制法 (1968年制定) にしたがった米国厚生省 (DHHS) 施行基準で、クラスIレーザー製品であることが証明されており、危険なレーザー放射のないことが確認されています。製品内部で発生する放射は保護ケースと外側カバーによって完全に保護されており、ユーザーが操作しているときに、レーザー光が製品から漏れることはありません。



### 警告

(本書で指示されている以外の) 機器の分解や改造はしないでください。レーザー光線への被ばくや、レーザー光漏れによる失明の恐れがあります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。

## 電源高調波

本機器は社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会が定めた複写機および類似の機器の高調波対策ガイドライン (家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠) に適合しています。

# SERVICE EXPRESS

ブラザー サービス エクスプレス

FAX

1年間無償保証

ブラザーFAXは下記のアフターサービスメニューをご用意しております。  
故障かな?と思ったら...

STEP  
1

## お客様相談窓口へお電話ください。

取扱説明書の表紙に記載された、フリーダイヤル [お客様相談窓口] へお電話ください。

お客様の製品の状態を、お電話による質疑応答により診断。

E-mailでのお問い合わせ：[http://www.brother.co.jp/jp/mail\\_service\\_id/index.html](http://www.brother.co.jp/jp/mail_service_id/index.html)  
<http://solutions.brother.co.jp/contact/index.html>

STEP  
2

## 修理が必要と判断された場合、48時間以内に、故障機の回収手配。

事前にお客様のご都合をお伺いし、宅配便による故障機の回収を手配します。  
お客様によるサービスセンターへの持ち込みは不用です。

STEP  
3

## 7日以内に修理品を返送。

弊社到着後、7日以内にお客様へ修理完了品をお返しします。

さらに!

## ご希望に応じて、貸出機のサービスもご用意\*2

引き取り料は無料。お客様によるサービスセンターへの持ち込みは不用です。  
お送りした代替機をそのままお使いいただくか、またはお客様の機械の修理を行った上で返却するかはご選択頂けます。

\*1 一部地域を除く

\*2 正常動作の確認・整備をした機械（ただし、トナー・ドラムは除く）

## ブラザーサービスパック

1年間の無償保証期間“Service Express”に加え、さらに充実した保守サービスメニューをご用意しております。（有料）

### サービスパック

製品購入と同時に購入して頂けるサービスプログラムです。

2年もしくは3年間の長期保証契約ですので、割安にサービスを受けられるメリットがあります。

### 年間保守サービス

製品ご購入後、いつでもご契約できる1年単位のサービスプログラムです。

※各保守契約については、[出張修理]か[引取修理]を選択していただけます。

- ・上記2つの保守契約には、技術料/部品代が含まれます。
- ・出張修理は原則、コール受付の翌営業日にエンジニアが設置先へ訪問し修理対応します。出張修理契約には、出張料が含まれております。
- ・引取修理は、宅配業者による故障機の回収手配をし、修理完了後返送します。引取修理契約には、送料も含まれております。
- ・サービス提供時間：月～金（除く祝祭日、弊社休業日）9:00～17:00

各保守契約についての料金体系・サービス内容の詳細は、下記の窓口へお問い合わせください。

TEL : 052-824-3253

[http://www.brother-hanbai.co.jp/brother\\_support/index.html](http://www.brother-hanbai.co.jp/brother_support/index.html)

・使本  
目書  
次方  
の

ハ操  
作  
レ  
ル

備前  
ご  
の  
使  
用  
準  
用

本前  
ご  
設  
の  
使  
用  
定  
基  
用

送フ  
信ア  
クク  
ス

受フ  
信ア  
クク  
ス

機フ  
能ア  
応ク  
用ス

・レ  
リ  
ポ  
ス  
ト

コ  
ピ  
ー

お日  
手常  
入れ  
の

と困  
きつ  
には  
た

索用  
引仕  
語様  
集  
・

# 安全にお使いいただくために

このたびは本機をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。  
この取扱説明書には、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



**警告**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性がある内容を示しています。



**注意**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本書で使用している絵文字の意味は次のとおりです。

	特定しない 禁止事項		分解しては いけません		水に濡らして はいけません		火気に近づけて はいけません
	特定しない 義務行為		電源プラグを 抜いてください		アースをつないで ください		
	特定しない 危険通告		感電の危険が あります		火災の危険が あります		

- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、お客様相談窓口 0120-143410 へご連絡ください。
- 本機の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、受信文書の全部または一部が消失したり、通話や録音などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機の設置に伴う回線工事には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもとになりますので絶対におやめください。
- 取扱説明書等、付属品を紛失した場合は、お買い上げの販売店へ申し出ただければ購入できます。

ご使用前に、次の「警告・注意・お願い」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

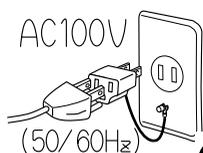
## 電源について

火災や感電、やけどの原因になります。



### 警告

電源は AC100V、50Hz または 60Hz でご使用ください。



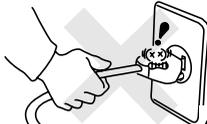
国内のみでご使用ください。海外ではご使用できません。



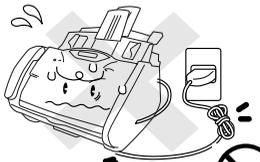
ぬれた手で電源コードを抜き差ししないでください。



電源コードを抜くときは、コードを引っばらずにプラグの本体（金属でない部分）を持って抜いてください。



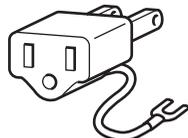
電源コードの上に重い物をのせたり、引っばったり、たばねたりしないでください。



タコ足配線はしないでください。



感電や火災防止のため、電源コードおよび 3 極 -2 極変換アダプタ（日本国内でのみ使用可）は、必ず付属のものを使用してください。



アース線のない延長用コードを使用しないでください。保護動作が無効になります。



・使用  
目次  
書方

・操  
作  
レ  
ル

・備  
前  
ご  
の  
使  
用  
準  
準

・本  
前  
ご  
設  
定  
使  
用  
基  
基

・送  
信  
フ  
ァ  
ク  
ス

・受  
信  
フ  
ァ  
ク  
ス

・機  
能  
フ  
ァ  
ク  
ス  
応  
用

・レ  
ポ  
ス  
ト

・コ  
ピ  
ー

・お  
日  
常  
入  
手  
の  
レ  
の

・と  
困  
っ  
た  
時  
に  
は

・索  
引  
仕  
様  
集  
・

### アース線を取り付けてください

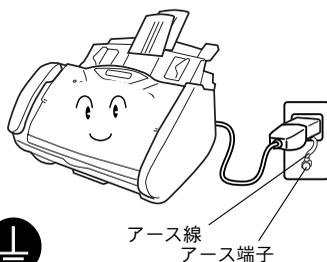
万一漏電した場合の感電防止や外部からの電圧（雷など）がかかったとき本機を守るため、アース端子にアース線を取り付けるか、アース端子のある3極の電源コンセントに接続してください。

■取り付けられるところ

- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを65cm以上、地中に埋めたもの
- 設置工事（第3種）が行われている設置端子

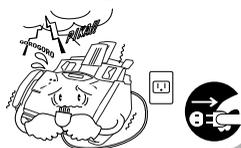
■絶対に取り付けてはいけないところ

- 電話専用アース線
- 避雷針



### 注意

雷がはげしいときは、電源コードをコンセントから抜いてください。  
また、電話機コードも本機から抜いてください。

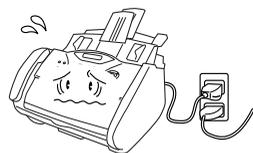


電源コードはコンセントに確実に差し込んでください。



### お願い

電源コンセントの共用にはご注意ください。  
複写機などと同じ電源はさけてください。



### このような場所に置かないで

以下の場所には設置しないでください。故障や変形、火災の原因となります。



### 警告

#### 湿度の高い場所

ふる場や加湿器のそばなどに置かないでください。

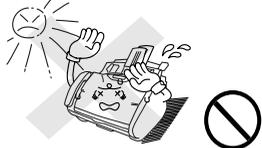




## 注意

### 温度の高い場所

直射日光の当たるところ、  
暖房設備のそばなど



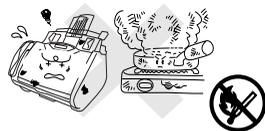
### 不安定な場所

ぐらついた台の上や傾いたと  
ころなど



### 油飛びや湯気の当たる場所

調理台のそばなど



## お願い

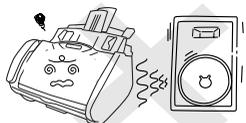
### いちじろしく低温な場所

製氷倉庫など



### 磁気の発生する場所

テレビ、ラジオ、スピーカー、  
こたつなど



### 高温、多湿、低温の場所

本機をお使いいただける環境  
の範囲は次のとおりです。

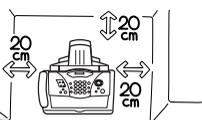
温度：10～32.5℃

湿度：20～80%

(結露なし)

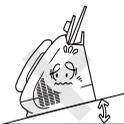
### 壁のそば

本機を正しく使用し性能を維  
持するために設置スペースを  
確保してください。



### 傾いたところ

水平な机、台の上に設置してく  
ださい。傾いたところに置くと  
正常に動作しない場合があります。



### ◎急激に温度が変化する場合

◎風が直接あたる場所(クー  
ラー、換気口など)

◎ホコリ、鉄粉や振動の多い場所

◎換気の悪い場所

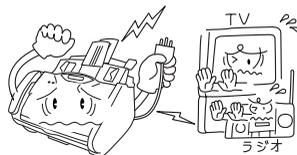
◎揮発性可燃物やカーテンに  
近い場所

◎じゅうたんやカーペットの上

### 電波障害時の対処

近くに置いたラジオに雑音が入ったり、テレビ画面にちらつき  
やゆがみが発生したり、コードレス電話の子機で通話できなく  
なる場合があります。その場合は電源コードをコンセントから  
一度抜いてください。電源コードを抜くことにより、ラジオや  
テレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような  
方法を試みてください。

- ・本機をテレビから遠ざける。
- ・本機またはテレビなどの向きを変える。
- ・本機をコードレス電話の親機から遠ざける。



・使本  
目書  
次方  
の

・操  
作  
レ  
ル

・備前  
ごの  
使用  
準  
用

・本前  
ごの  
使用  
基  
定

・送フ  
信ア  
ク  
ス

・受フ  
信ア  
ク  
ス

・機フ  
能ア  
応  
用  
ス

・レ  
リ  
ポ  
ス  
ト

・コ  
ピ  
ー

・お日  
手常  
入  
れ  
の

・と困  
じに  
は  
た

・索用  
引仕  
語  
様  
集  
・

## もしもこんなときには

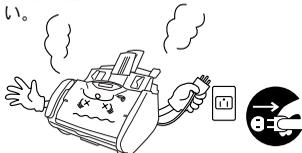
下記の状況でそのまま使用すると火災、感電の原因となります。必ず電源コードをコンセントから抜いてください。



### 警告

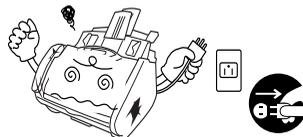
#### 煙が出たり、異臭がしたとき

すぐに電源コードをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



#### 本機を落としたり、キャビネットを破損したとき

電源コードをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。



#### 内部に水が入ったとき

電源コードをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。



#### 内部に異物が入ったとき

電源コードをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。



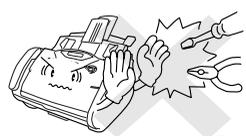
## その他のご注意

故障や火災、感電、けがの原因となります。

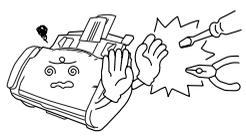


### 警告

分解しないでください。  
法律で罰せられることがあります。



改造しないでください。  
修理などは販売店にご相談ください。法律で罰せられることがあります。

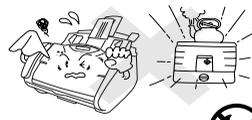


本機の上に水、薬品などを置かないでください。



### 注意

火気を近づけないでください。  
故障や火災・感電の原因となります。



ハ  
操  
ネ  
作  
ル

備  
前  
ご  
の  
使  
用  
準  
用

本  
前  
ご  
設  
定  
基  
準

送  
信  
ス  
テ  
ーション

受  
信  
ス  
テ  
ーション

機  
能  
応  
用

・レ  
ポ  
ス  
ト

コ  
ピ  
ー

お  
日  
常  
入  
れ  
の

と  
き  
に  
は  
た

索  
用  
引  
語  
集  
・

# ！ お願い

落下、衝撃を与えないでください。



動作中に電源コードを抜いたり、開閉部を開けたりしないでください。



記録紙の排出の妨げになりますので本体前方には物を置かないでください。



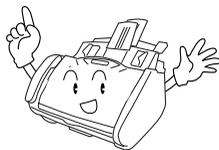
本機の上に重い物を置かないでください。



室内温度を急激に変えないでください。  
装置内部が結露するおそれがあります。



指定以外の部品は使用しないでください。



本機に貼られているラベル類ははがさないでください。

海外通信をご利用になるとき回線の状況により正常な通信ができない場合があります。

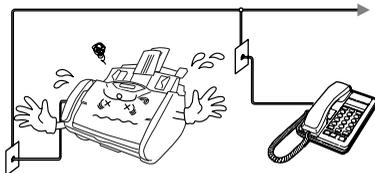


NTTの支店・営業所から遠距離の場合には、お使いになれないことがありますので、最寄りのNTTの支店、営業所へご相談ください（116番）。



梱包されている部品は必ず取り付けてください。

1つの電話回線に並列接続すると通信エラーなどの原因になりますのでおやめください。



## 停電がおきたときは

### ！ お願い

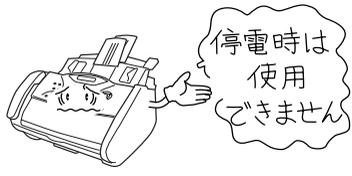
停電時にはデータの種類によってただちに消去されるデータがあります。(停電後2～3日は保存されます。)

- 消去されないデータ
  - ・短縮ダイヤル
  - ・グループダイヤル
  - ・各種登録・設定の内容
  - ・ワンタッチダイヤル
- 消去されるデータ
  - ・送信メモリー文書
  - ・通信管理レポート
  - ・受信メモリー文書

**停電復旧時について**  
1日以上停電が続いた場合は、日付の再設定をしてください。

### 停電中はファクスの送受信ができません。

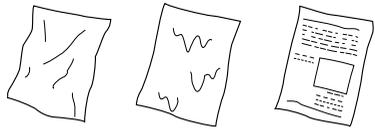
本機の機能はすべて使用できなくなり、外付電話機は使用できる機器もあります(外付電話機の取扱説明書をご覧ください)。



## 記録紙について

### ！ お願い

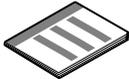
使用する記録紙にはご注意ください。しわ、折れのある紙、湿っている紙、カールした紙などは使用しないでください。



保管は直射日光、高温、高湿を避けてください。

## 取扱説明書の構成

本機には、以下の取扱説明書が同梱されています。

	<b>かんたん設置ガイド</b> 本機を使用するための準備について記載しています。
	<b>取扱説明書（本書）</b> ファクス、コピー、本機のお手入れ、困ったときの対処法などについて記載しています。

## 本書の表記

本文中では、マークおよび商標について、以下のように表記しています。

### ● マークについて

	本機をお使いになるにあたって、守っていただきたいことがらを説明しています。
	本機の操作手順に関する補足情報を説明しています。
	参照先を記載しています（XXX はページ）。

### ● 商標について

本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

# 本書の読みかた

本書は次のようなレイアウトで説明しています。

見出しインデックスです。  
現在の章を黒色で示します。

大見出しです。

## コピーをする

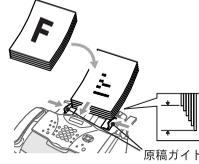
中見出しです。

### ● コピーする

操作手順です。

**1** 印刷面を裏向きにし、上部を先にして原稿を入れます。原稿は一度に20枚までセットできます。

**2** 原稿ガイドを原稿の幅に合わせて



必要に応じてイラストや画面を使って説明しています。

**3** コピーを押すと、コピーが開始されます。

#01

操作や関連する内容の補足説明です。

補足  
● ADF (自動原稿送り装置) に原稿が詰まったとき「P. 156」を参照してください。

関連する内容を説明しているページを示します。

**注意**  
■ 法律によりコピーが禁じられている物があります。以下のような物のコピーには注意してください。

ご注意ください  
内容です。  
特に ⚠ マークのあるものは、記載事項を遵守いただかないと、けがや事故、本機の故障につながる恐れがあります。

- 法律で禁止されている物 (絶対にコピーしないでください)
- 著作権のある物
- その他の注意を要する物

・使  
目  
書  
次  
方  
の

操  
作  
手  
順

備  
前  
ご  
の  
使  
用  
準  
準

本  
前  
ご  
使  
用  
定  
定  
基  
基

送  
信  
フ  
ァ  
ク  
ス

受  
信  
フ  
ァ  
ク  
ス

機  
能  
フ  
ァ  
ク  
ス  
使  
用

レ  
ポ  
ス  
ト  
コ  
ピ  
ー

お  
日  
常  
入  
れ  
の

と  
困  
っ  
た  
時  
に  
は

索  
引  
仕  
様  
集  
・

お  
日  
常  
入  
れ  
の

と  
困  
っ  
た  
時  
に  
は

索  
引  
仕  
様  
集  
・

奇数ページでは中見出しを、  
偶数ページでは章を示します。

ページ番号です。

このページは説明のために作成したもので、実際のページとは異なります。

・使  
目  
書  
次  
方  
の

操  
作  
手  
順

備  
前  
ご  
の  
使  
用  
準  
準

本  
前  
ご  
使  
用  
定  
定  
基  
基

送  
信  
フ  
ァ  
ク  
ス

受  
信  
フ  
ァ  
ク  
ス

機  
能  
フ  
ァ  
ク  
ス  
使  
用

レ  
ポ  
ス  
ト  
コ  
ピ  
ー

お  
日  
常  
入  
れ  
の

と  
困  
っ  
た  
時  
に  
は

索  
引  
仕  
様  
集  
・

索  
引  
仕  
様  
集  
・

# やりたいこと目次

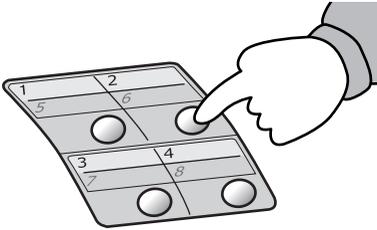
あなたの「〇〇したい」から該当ページを参照できます。

各機能をご利用になる前に「第2章 ご使用前の準備」を必ずお読みください。

## ● ファクス

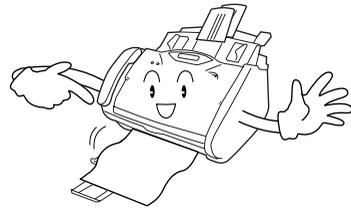
簡単に送信したい。(短縮ダイヤル、ワンタッチダイヤル電話帳)

**P. 80**



自動で受信したい。(自動受信)

**P. 40**



画質を調整したい。(画質調整)

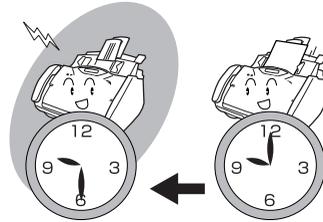
**P. 90**

ファクス画質



指定した時刻に送信したい。(タイマー送信)

**P. 100**



きちんと送信されたかどうかを確認したい。(通信管理レポート)

**P. 135**

通信管理レポート

日時: 00-05-15:15:25

No.	ダイヤル	日時	宛先	ページ数	送信	受信	エラー	備考
#01	05-15	12:04	119 313	24	01	OK	TX	ECM
#02	05-15	12:07	119 313	24	01	OK	TX	ECM
#03	05-15	12:26	119 313	24	01	OK	TX	ECM
#04	05-15	12:27	119 313	24	01	OK	TX	ECM
#05	05-15	12:31	23 * 249	24	01	OK	TX	POL. ECM
#06	05-15	13:46	119 313	27	01	OK	TX	ECM
#07	05-15	13:47	119 313	25	01	OK	TX	ECM
#08	05-15	13:53	119 313	25	01	OK	TX	ECM
#09	05-15	14:52	119 313	25	01	OK	TX	ECM

RO: 119313  
 ME: 119 313 (119313)  
 POL: 119313  
 REF: 119313  
 TX: 119313  
 RX: 119313

送付書を付けて送信したい。

**P. 93**

==== 送付書 =====

TO: \_\_\_\_\_

FROM: \_\_\_\_\_

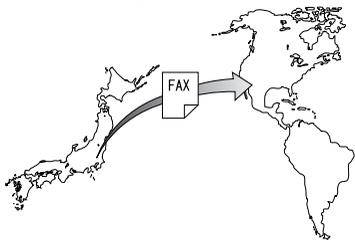
FAX: \_\_\_\_\_

TEL: \_\_\_\_\_

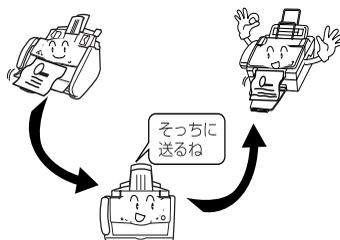
「〜」 宛先

コピー: \_\_\_\_\_

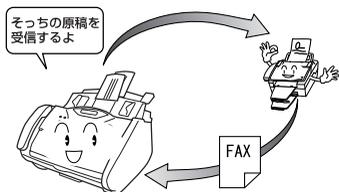
海外に送信したい。  
(海外送信) P. 99



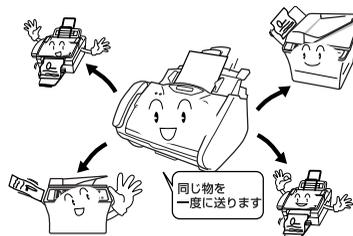
外出先で受信したい。  
(ファクス転送) P. 123



受信側ファクシミリからの  
操作で原稿を受け取りたい。  
(ポーリング) P. 117

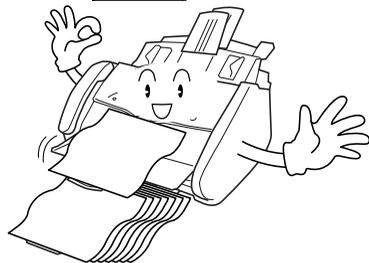


複数の相手に同じ文書をま  
とめて送信したい。  
(同報送信) P. 96

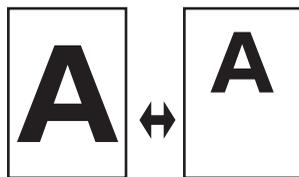


## ● コピー

たくさんの文書を連続コピー  
したい。 P. 143



拡大 / 縮小コピーしたい。  
P. 147



・使本  
目い書  
次方の

ハ操  
ネ作  
ル

備前  
の  
使  
用  
準  
準

本前  
ご  
設  
の  
使  
用  
基  
定  
基  
準

送  
フ  
ア  
ク  
ス  
ス

受  
フ  
ア  
ク  
ス  
ス

機  
フ  
ア  
ク  
ス  
の  
能  
力  
応  
用

・レ  
リ  
ポ  
ス  
ト

コ  
ピ  
ー

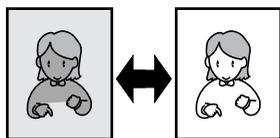
お  
日  
常  
の  
手  
入  
れ

と  
困  
つ  
た  
時  
に  
は

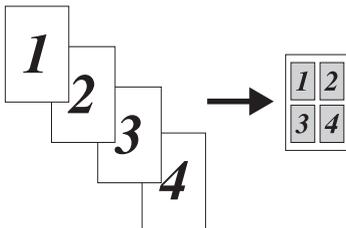
索  
用  
仕  
引  
語  
集  
・  
様  
集

画質を明るく（暗く）したい。

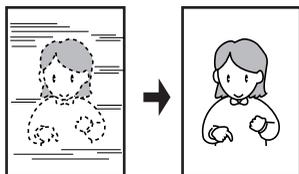
P. 150



2枚または4枚の原稿を1枚の記録紙にまとめてコピーしたい。(2 IN 1、4 IN 1) P. 153

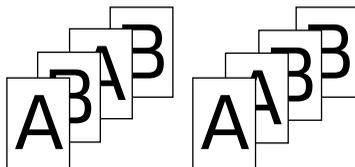


画質をきれいにコピーしたい。 P. 149



効率よく複数部コピーしたい

ソートコピー スタックコピー



## ● その他

ナンバー・ディスプレイ機能を使いたい。 P. 70

8. ナンバーディスプレイ

# 目次

<b>第1章</b>	<b>各部の名称とはたらき</b> .....	<b>23</b>
	コントロールパネルの名称とはたらき .....	24
	各部の名称 .....	26
<b>第2章</b>	<b>ご使用前の準備</b> .....	<b>27</b>
	記録紙について .....	28
	推奨紙 .....	28
	記録紙トレイ用記録紙の規格 .....	28
	セットできる記録紙枚数 .....	28
	使用できる記録紙 .....	29
	記録紙の印刷可能範囲について .....	30
	回線種別を設定する .....	32
	自動で回線種別を設定する .....	32
	手で回線種別を設定する .....	33
	利用中の電話回線の種別を調べる .....	34
	ご使用前の設定をする .....	35
	日付・時刻を合わせる〔時計セット〕 .....	35
	名前とファクス番号を登録する〔発信元登録〕 .....	36
	発信元登録を消去する .....	37
	文字入力をする .....	38
	受信モードについて .....	40
	ファクス専用モード（ファクスを自動で受ける） .....	40
	自動切替モード（ファクスを自動で受ける） .....	41
	外付留守電モード（ファクスを自動で受ける） .....	42
	電話モード（電話として使う、ファクスを手動で受ける） .....	43
	受信モードを選ぶ .....	44
	本機の接続イメージ .....	46
	公衆回線に接続する場合（電話・ファクスとして使う場合） .....	46
	公衆回線に接続する場合（外付電話機を接続する場合） .....	46
	ADSL（タイプ1）環境に接続する場合 .....	47
	ISDN回線に接続する場合（電話番号が1つの場合） .....	48
	ISDN回線に接続する場合（電話番号が2つの場合） .....	48
	構内交換機（PBX）、ホームテレホン、ビジネスホンに接続する場合 .....	50
	内線電話として接続する場合 .....	51
	CSチューナーを接続する場合 .....	52
<b>第3章</b>	<b>ご使用前の基本設定</b> .....	<b>53</b>
	液晶ディスプレイの特徴 .....	54

・使本  
目い書  
次方の

バ操  
ネ作  
ル

備前ご  
の使用  
準備

本前ご  
設の使用  
定基用

送フ  
信ア  
クス

受フ  
信ア  
クス

機フ  
能ア  
応ク  
用ス

・レ  
リポ  
スト

コ  
ピ  
ー

お日  
手常  
入れの

と困  
きつ  
はた

索用仕  
引語様  
集・

液晶ディスプレイについて .....	54
<b>機能設定する .....</b>	<b>55</b>
ナビゲーションキーを使った基本操作 .....	55
ダイヤルボタンを使った基本操作 .....	56
機能一覧 .....	56
<b>基本設定を変更する .....</b>	<b>62</b>
ベルの音量を調節する .....	62
ボタン確認音量を変える〔ボタン確認 & ブザー音量〕 .....	63
スピーカー音量を調節する .....	64
受話器の音量を調節する .....	65
トナーを節約する .....	66
電気の節約モードに入る時間を設定する (スリープモード) .....	67
印刷濃度を調節する .....	68
液晶ディスプレイの表示言語を切り替える〔英語・日本語〕 .....	69
ナンバー・ディスプレイの設定をする .....	70

## **第4章 ファクス送信 .....** **71**

<b>ファクスを送信する前に .....</b>	<b>72</b>
原稿サイズ .....	72
原稿の読み取り範囲 .....	73
<b>ファクスを送信する .....</b>	<b>74</b>
ファクスを自動で送信する .....	74
ファクスを手動で送信する .....	76
他の動作中にファクス原稿を読み込む〔デュアルアクセス〕 .....	77
オンフックボタンを押してダイヤルしたとき .....	77
ファクス送信を途中で止める .....	77
<b>便利にダイヤルする .....</b>	<b>78</b>
ダイヤルのしかた .....	78
同じ相手にもう一度送信する〔再ダイヤル〕 .....	79
電話帳を使って送信する .....	80
<b>電話帳を作成する .....</b>	<b>81</b>
ワンタッチダイヤルを登録する .....	81
ワンタッチダイヤルを変更する .....	83
短縮ダイヤルを登録する .....	84
短縮ダイヤルを変更する .....	85
グループダイヤルを登録する .....	86
グループダイヤルを変更する .....	88
<b>ファクスを便利に送信する .....</b>	<b>90</b>
画質を設定する〔一時的に変更する〕 .....	90
画質を設定する〔設定内容を保持する〕 .....	91

原稿濃度を設定する .....	92
送付書を付けて送信する .....	93
送付書のオリジナルコメントを登録する .....	95
同じ原稿を数ヶ所に送信する〔順次同報送信〕 .....	96
原稿を直接送信する〔リアルタイム送信〕 .....	97
海外へ送信する〔海外送信モード〕 .....	99
指定時刻に送信する〔タイマー送信〕 .....	100
送信する時間を固定する .....	101
メモリー内の文書を同じ相手に一括送信する〔取りまとめ送信〕 ..	101
送信待ち確認・送信待ちファクス解除 .....	102

## 第 5 章 ファクス受信 ..... 103

ファクスを受信する .....	104
メモリー代行受信について .....	104
手動でファクスを受信する .....	105
呼出回数を設定する .....	106
再呼出回数を設定する .....	107
親切受信で受信する .....	108
外付電話機からファクスを受信させる〔リモート起動〕 .....	109
リモート起動設定のしかた .....	110
自動的に縮小受信する .....	111
着信履歴を確認する .....	112

## 第 6 章 ファクスの応用機能 ..... 113

相手の操作で原稿を送信する .....	114
標準ポーリング送信する .....	114
機密ポーリング送信の設定 .....	115
本機の操作で相手の原稿を受信する .....	117
標準ポーリング受信する .....	117
順次ポーリング受信する .....	118
機密ポーリング受信する .....	119
時刻指定ポーリングの設定〔タイマーポーリング受信〕 .....	120
メモリー受信を設定する .....	121
メモリー受信を設定する .....	121
メモリーに入ったファクスを出力する .....	122
電話呼び出し機能とファクス転送 .....	123
電話呼び出し機能とファクス転送について .....	123
ファクス転送の流れ .....	123
ファクス転送の設定を行う .....	124
電話呼び出し機能の流れ .....	125
電話呼び出し機能の設定を行う .....	125

外出先から本機を操作する：リモコンアクセス ....	127
暗証番号を設定する .....	127
リモコンアクセスをする .....	128
リモコンアクセスで設定できる機能〔コマンド一覧〕 .....	130

## 第7章 レポート・リスト ..... 133

レポート・リストの印刷 .....	134
機能案内リストを印刷する .....	135
電話帳（ダイヤル）リストを印刷する .....	135
通信管理レポートを印刷する .....	135
送信レポートを印刷する .....	135
設定内容リストを印刷する .....	135
消耗品シート（ご注文シート）を印刷する .....	136
着信履歴リストを印刷する .....	136
送信レポートの出力設定 .....	136
通信管理レポートの出力間隔を設定 .....	138

## 第8章 コピー ..... 139

コピーをする前に .....	140
コピー機能について .....	140
原稿サイズ .....	141
コピーの読み取り範囲 .....	142
コピーをする .....	143
コピーする .....	143
「メモリーガ イッパイデス」と表示されたときは .....	145
コピー設定：一時的に設定する .....	146
コピー設定：一時的に設定する .....	146
拡大・縮小コピーをする .....	147
コピー枚数を設定する .....	148
原稿のタイプを設定する .....	149
コピーの明るさを調整する .....	150
スタックコピーかソートコピーかを設定する .....	151
マルチレイアウトコピー .....	153
記録紙のタイプを設定する .....	154
コピー設定：設定内容を保持する .....	155
コピー設定：設定内容を保持する .....	155
デフォルトの設定を変更する〔原稿タイプ〕 .....	156
デフォルトの設定を変更する〔コントラスト〕 .....	157
デフォルトの設定を変更する〔記録紙タイプ〕 .....	158

## 第 9 章 日常のお手入れ ..... 159

紙づまりについて .....	160
紙づまりのときのメッセージ .....	160
コントロールパネルの前側で原稿が詰まったときは .....	160
記録紙トレイで記録紙が詰まったときは .....	161
内部で記録紙が詰まったときは .....	162
本体の掃除 .....	163
キャビネット内部のお手入れ .....	163
スキャナウィンドの清掃 .....	165
ドラムユニットのお手入れ .....	166
トナーカートリッジの交換 .....	167
ドラムユニットの交換 .....	171

## 第 10 章 困ったときには ..... 175

困ったときには .....	176
こんなときには .....	176
エラーメッセージ .....	177
Q&A .....	180
故障かな?と思ったら .....	186

## 第 11 章 仕様・用語集・索引 ..... 193

本装置の仕様 .....	194
ファクシミリ .....	194
電源と使用環境 .....	195
アフターサービスのご案内 .....	205



# 1 章

## 各部の名称とはたらき

- コントロールパネルの名称とはたらき ..... 24
- 各部の名称 ..... 26

・使本  
目い書  
次方  
の

パ操  
ネ作  
ル

備前ご  
の使  
の使  
準用

本前ご  
設の使  
定基用

送フ  
信ア  
クク  
ス

受フ  
信ア  
クク  
ス

機フ  
能ア  
応ク  
用ス

・レ  
リポ  
ス  
ト

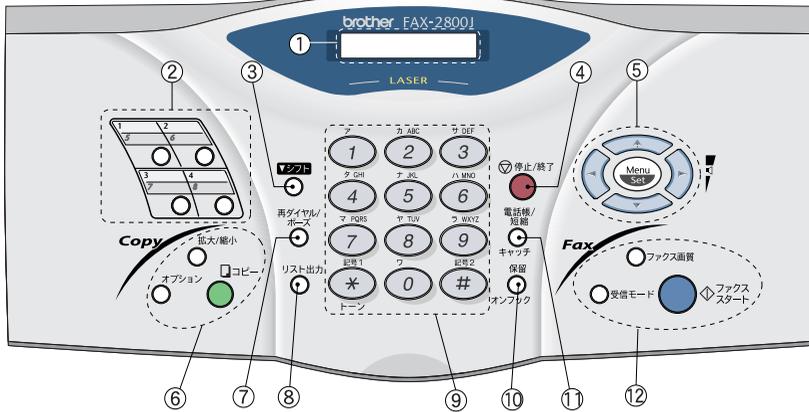
コ  
ピ  
ー

お日  
手常  
入  
れ  
の

と困  
き  
に  
は  
た

索用仕  
引語様  
集  
・

# コントロールパネルの名称とはたらき



## ① 液晶ディスプレイ

月日、時刻、宛先、電話番号、各動作の状態やエラーメッセージを表示します。

## ② ワンタッチボタン

あらかじめ登録したワンタッチダイヤルまたはグループダイヤルを使用するときに押します。

付属の宛名ラベルをご利用ください。

## ③ シフトボタン

ワンタッチダイヤルの5～8を登録またはダイヤルするときにこのボタンを押しながらワンタッチボタンを押します。

## ④ 停止/終了ボタン

ファクス送信または操作を中止するとき、機能設定を解除するときに押します。

## ⑤ ナビゲーションキー

P. 55



各種機能の設定に入るとき、各種データを登録するときに押します。



メニューから選択肢を指定する際、これらのボタンを押せば、前・次のレベルのメニューに移動します。また、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルとして登録されている番号に対する名称をアルファベット順に検索する場合にも、これらのキーを使用できます。



メニューや選択項目をスクロールするときに押します。

スピーカーの音量、またはベルの音量を調節するときも、これらのキーを使用します。

## ⑥コピー機能

- 拡大/縮小ボタン  
拡大/縮小コピーをするときに押  
します。**P. 147**
- オプションボタン  
コピーの設定を一時的に変更す  
るときに押します。**P. 146**
- コピーボタン  
原稿をコピーするときに押しま  
す。

## ⑦再ダイヤル/ポーズボタン

最後にダイヤルした番号を再びダ  
イヤルするときに押します。

**P. 79**

ダイヤル番号の入力時にハイフン  
を入れるときに押します。

## ⑧リスト出力ボタン

各種レポートやリストを印刷しま  
す。**P. 134**

## ⑨ダイヤルボタン

ダイヤルするときや発信元データ  
などの文字入力をするときに押し  
ます。

## ⑩保留/オンフックボタン

電話中に保留したいときに押しま  
す。  
受話器を上げずにダイヤルする  
ときに押します。

## ⑪電話帳/短縮/キャッチボタン

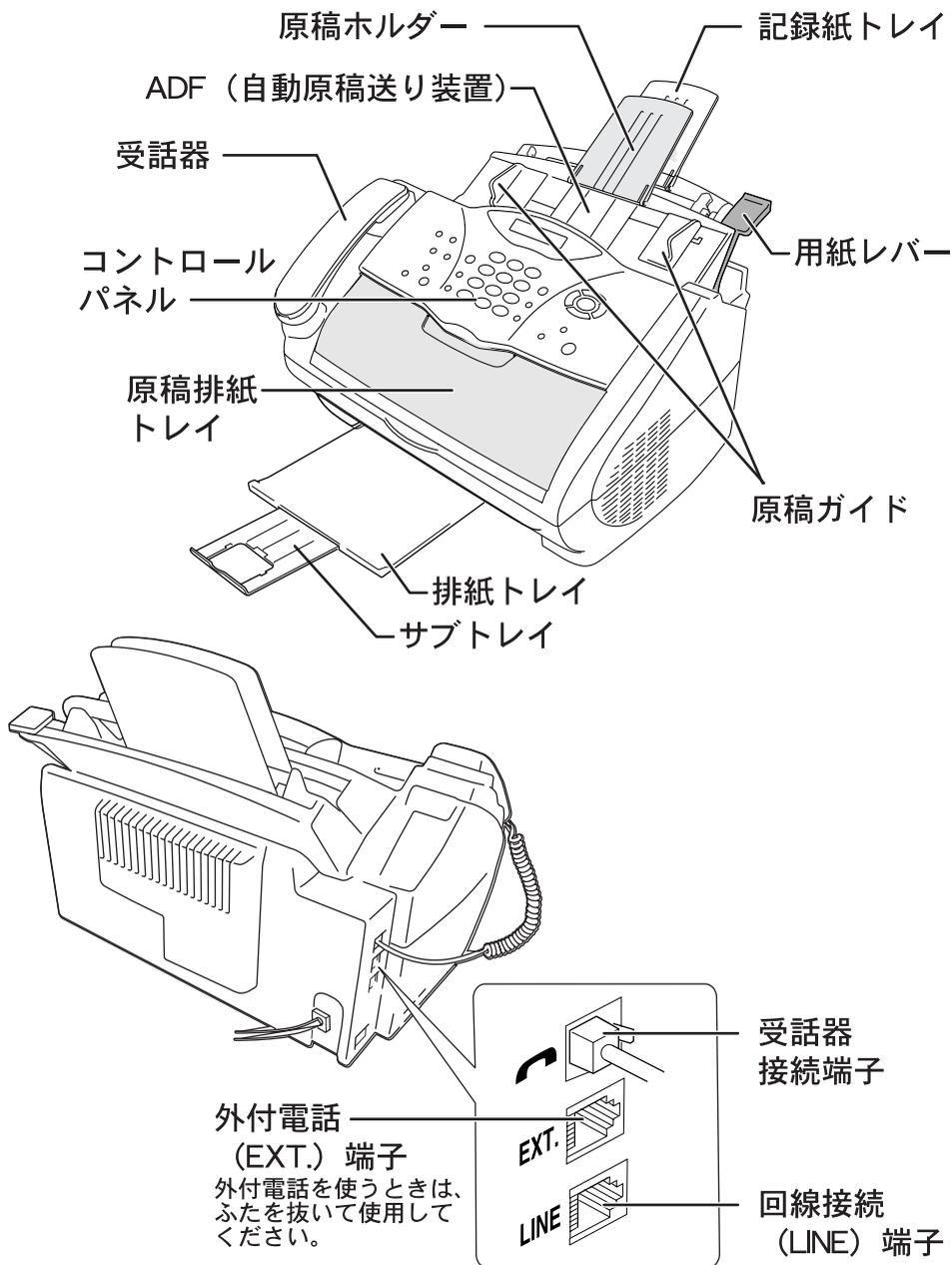
ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤ  
ルやグループダイヤルに登録され  
ている電話番号を検索する  
ときに押します。**P. 78**

あらかじめ登録した短縮ダイヤ  
ルをダイヤルするときに押しま  
す。  
キャッチホンを受けるときに押し  
ます。

## ⑫ファクス機能

- ファクス画質ボタン  
ファクス送信する原稿に合わせ  
て、解像度を一時的に設定する  
ときに押します。**P. 90**
- 受信モードボタン  
受信モードを変更するときに押  
します。**P. 40**
- ファクススタートボタン  
ファクスを送信するときや受信  
するときに押します。

# 各部の名称



# 2章

## ご使用前の準備

■ 記録紙について.....	28
推奨紙 .....	28
記録紙トレイ用記録紙の規格 .....	28
セットできる記録紙枚数 .....	28
使用できる記録紙 .....	29
記録紙の印刷可能範囲について .....	30
■ 回線種別を設定する .....	32
自動で回線種別を設定する .....	32
手で回線種別を設定する .....	33
利用中の電話回線の種別を調べる .....	34
■ ご使用前の設定をする .....	35
日付・時刻を合わせる〔時計セット〕 .....	35
名前とファクス番号を登録する〔発信元登録〕 .....	36
発信元登録を消去する .....	37
文字入力をする .....	38
■ 受信モードについて .....	40
ファクス専用モード（ファクスを自動で受ける） .....	40
自動切替モード（ファクスを自動で受ける） .....	41
外付留守電モード（ファクスを自動で受ける） .....	42
電話モード（電話として使う、ファクスを手動で受ける） .....	43
受信モードを選ぶ .....	44
■ 本機の接続イメージ .....	46
公衆回線に接続する場合（電話・ファクスとして使う場合） .....	46
公衆回線に接続する場合（外付電話機を接続する場合） .....	46
ADSL（タイプ1）環境に接続する場合 .....	47
ISDN 回線に接続する場合（電話番号が1つの場合） .....	48
ISDN 回線に接続する場合（電話番号が2つの場合） .....	48
構内交換機（PBX）、ホームテレホン、ビジネスホンに接続する場合 .....	50
内線電話として接続する場合 .....	51
CS チューナーを接続する場合 .....	52

・使本  
目い書  
次方  
の

ハ操  
ネ作  
ル

備前ご  
の使  
用  
準  
用

本前ご  
設の使  
定基用

送フ  
信ア  
ク  
ス

受フ  
信ア  
ク  
ス

機フ  
能ア  
応ク  
用ス

・レ  
リポ  
スト

コ  
ピ  
ー

お日  
手常  
入  
れ  
の

と困  
き  
つ  
に  
は  
た

索用仕  
引語様  
集  
・

# 記録紙について

## 推奨紙

記録紙種類	記録紙名
普通紙	富士ゼロックスオフィスサプライ P 紙 64g

## 記録紙トレイ用記録紙の規格

項目	規格
坪量	普通紙 : 64g/m <sup>2</sup> ~ 158g/m <sup>2</sup>
	はがき : 官製はがきと同等
厚さ	普通紙 : 0.08mm ~ 0.2mm
	はがき : 官製はがきと同等
	封筒 : 洋形 4号と同等 または洋形定型最大と同等

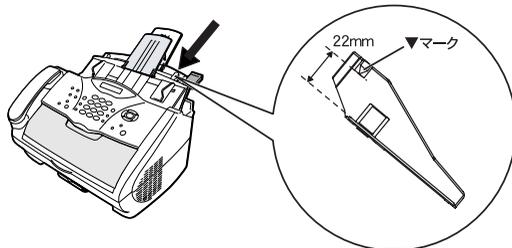
## セットできる記録紙枚数

記録紙トレイの最大積載は、厚さ 22mm（記録紙ガイドの▼マークまで）です。

種類	記録紙枚数
普通紙 (80g/m <sup>2</sup> )	約 200 枚
はがき	約 30 枚
封筒	約 10 枚
OHP フィルム	約 1 枚

### 注意

- 排紙トレイにスタックできる枚数は普通紙 (80g/m<sup>2</sup>) の場合、約 50 枚です。
- 記録紙が記録紙ガイドの▼マークを超えないように記録紙をセットしてください。



## ● 使用できる記録紙

本機では下記のサイズの記録紙が使用できますが、受信したファクスは A4 サイズでのみ印刷できます。

種類	サイズ
普通紙	A4、US レター、B5、リーガル、A5、A6
OHP フィルム	A4、US レター
はがき	100mm × 148mm（官製はがき、または同等品）
封筒	洋形 4 号（105mm × 235mm） 洋形定型最大（120mm × 235mm）
システム手帳用紙	バイブルサイズ

### 補足



- 特殊なサイズや種類の記録紙を使用する場合は、最初にテストを行ってください。
- OHP フィルムは、レーザープリンタ用のものをお使いください。
- 最高の印刷品質を得るために、たて目用紙を使用することをお勧めします。
- 本機は再生紙を使用できます。

・使  
目  
書  
次  
方  
の

バ  
操  
作  
ル

備  
前  
ご  
の  
使  
用  
準  
用

本  
前  
ご  
設  
定  
基  
用

送  
フ  
ア  
ク  
ス

受  
フ  
ア  
ク  
ス

機  
の  
フ  
ア  
ク  
ス  
用  
ス

・レ  
リ  
ポ  
ス  
ト

コ  
ピ  
ー

お  
日  
常  
入  
れ  
の

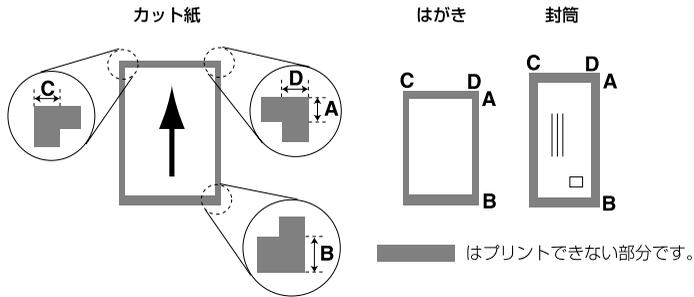
と  
困  
っ  
た  
は  
た

索  
用  
仕  
引  
語  
集  
・

## ● 記録紙の印刷可能範囲について

記録紙には印刷できない部分があります。

以下の図と表に、印刷できない部分を示します。なお、図と表のA、B、C、D、はそれぞれ対応しています。



(単位：mm)

種類	サイズ	モード	A	B	C	D
カット紙	A4	ファクス	4.5	4.5	2.0	2.0
		コピー			3.0	3.0
	エグゼクティブ	コピー	4.5	4.5	3.5	3.5
オーガナイザー	バイブルサイズ	コピー	4.5	4.5	3.5	3.5
はがき	官製はがき	コピー	4.5	4.5	3.5	3.5
封筒	洋形定型最大 洋形4号	コピー	4.5	4.5	3.5	3.5

### 補足



- 印刷できない部分の数値（表中のA、B、C、D）は、概算値ですので、目安として参考にしてください。また、お使いの記録紙によっても値が変わってきます。
- 特殊な記録紙をご使用になる場合は、必ず印字テストを行ってください。
- OHP フィルムをご使用になると次に印字される記録紙を汚すことがあります。重ならないように1枚ずつ抜き取ってください。
- A4幅を超える記録紙（USレター等）の場合は、表中C、Dの数値が大きくなります。

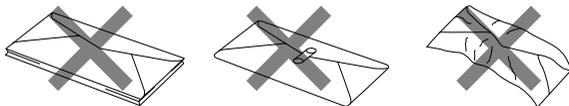
## 注意

- 一度、カラーコピーをした記録紙、またはカラーレーザープリンタで印刷した記録紙、インクジェット紙は絶対に使用しないでください。
- 一部をすでに使用した宛名ラベルの印刷は避けてください。故障の原因になります。
- ビニールコーティングされた記録紙は絶対に使用しないでください。
- 極端に滑らかな記録紙は使用しないでください。
- ルーズリーフなど穴の開いた記録紙を使用する前には、紙をよくさばいて、給紙がスムーズになるようにしてください。



- 記録紙がカールしていないか、確認してください。もしカールしている場合は、まっすぐにしてからご使用ください。カールしたままの記録紙をご使用になりますと、紙づまりなどの原因になります。
- 以下のような封筒は使用しないでください。

- 長形封筒
- 傷がついていたり、カールしていたり、しわが入っている封筒
- 規格外の封筒
- 表面に光沢があったり、表面がすべりやすい封筒
- 留め金付きの封筒
- エンボス加工（紙に凹凸がある）を施した封筒
- ふたに粘着のりが付いた封筒
- 一度レーザープリンタで印刷された封筒
- マチ付きの封筒
- 内側にすでに印刷されている封筒
- きちんと折り目が付いていない封筒
- 積み重ねたときに、一定に積み重ねられない封筒



・使本  
目い書  
次方の

バ操  
ネ作  
ル

備前ご  
の使用  
の準

本前ご  
設の使用  
定基用

送フ  
信ア  
ス

受フ  
信ア  
ス

機フ  
能ア  
応ク  
用ス

・レ  
リポ  
スト  
ト

コ  
ピ  
ー

お日  
手常  
入れ  
の

と困  
きは  
た

索用仕  
引語様  
集

# 回線種別を設定する

## ● 自動で回線種別を設定する

電話機コードと電源コードを接続すると、本機は回線種別の自動設定を行います。

回線種別の自動設定が行われた後、液晶ディスプレイには以下のいずれかが表示された後、待機表示に変わります。

**プッシュ カイセン デス** : プッシュ回線に設定されたとき

**10 PPS カイセン デス** : ダイヤル回線 (10PPS) に設定されたとき

**20 PPS カイセン デス** : ダイヤル回線 (20PPS) に設定されたとき

### 補足

- 回線チェック中に「ピピピ」という警告音が鳴り、下記のメッセージが表示されたときは、電話機コードが正しく接続されていません。かんたん設置ガイドを参照して、電話機コードを正しく接続してください。正しく接続しないまま 10 分以上放置すると、回線種別は「プッシュ回線」に設定されます。

デ'ンワキ コード'ヲ



セツゾ'ク シテクダ'サイ

- 回線チェック中に「ピピピ」という警告音が鳴り、下記のメッセージが表示されたときは、自動的に回線種別を設定できていません。手動で回線種別を設定してください。手動回線種別の設定については **P. 33** を参照してください。

カイセンセツテイ シテクダ'サイ

## ● 手動で回線種別を設定する

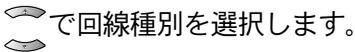
自動で回線種別を設定できなかったときや、引越しなどで電話がかからなくなったときは、以下の手順で、利用中の電話回線に合わせて設定します。

1



6. カイセンシュベツ セッテイ

2

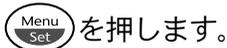


シュベツ:ブッシュ

回線種別の表示を以下に示します。

- ・ブッシュ回線 のとき :ブッシュ
- ・ダイヤル回線 10PPS のとき :10PPS
- ・ダイヤル回線 20PPS のとき :20PPS
- ・自動設定を行うとき :ジドウ セッテイ

3



ウケツケマシタ

4



### 補足



- プッシュ回線または ISDN 回線をお使いの場合は、「ブッシュ カイセン」を設定してください。
- 設定を間違えると、間違った相手にかかったり、ファクスが送信できないことがありますのでご注意ください。
- 回線種別を選ぶとき、 を押すごとに液晶ディスプレイの表示は下記のように変わります。



・使  
目  
い  
書  
次  
方  
の

操  
作  
ル

備  
前  
ご  
の  
使  
用  
準  
用

本  
前  
ご  
設  
定  
使  
用  
基  
用

送  
フ  
ア  
ク  
ス  
信  
ス

受  
フ  
ア  
ク  
ス  
信  
ス

機  
の  
フ  
ア  
ク  
ス  
機  
能  
使  
用  
ス

・レ  
リ  
ポ  
ス  
ト

コ  
ピ  
ー

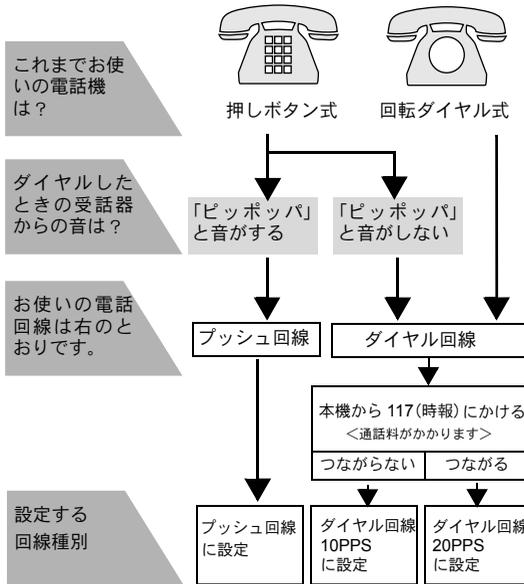
お  
日  
常  
入  
れ  
の

と  
困  
き  
っ  
た  
は  
た

索  
用  
仕  
引  
語  
集  
・  
様  
集  
・

## ● 利用中の電話回線の種別を調べる

回線種別は、次の手順で調べることができます。もし、分からないときは、最寄りのNTTの支店・営業所またはNTT窓口(116:無料)にお問い合わせください。



### 補足



- 電話回線には「プッシュ回線 (PB)」と「ダイヤル回線 (10PPS または 20PPS)」の2種類があります。本機では、ご利用中の電話回線の種類に合わせて自動的に回線種別を設定することができます。
- 構内交換機など一般と異なる回線につないでいる場合は、自動設定できない場合があります。
- 通話中は自動設定できません。
- いったん、自動設定すると電源コードを差し込み直しても再度、回線種別の自動設定は行われません。設定し直したいときは、手動で設定し直してください。

# ご使用前の設定をする

## ● 日付・時刻を合わせる〔時計セット〕

現在の日付と時刻を合わせます。この日付と時刻は液晶ディスプレイに表示されます。また、ファクス送信したとき、発信元登録がしてあれば相手側の記録紙にも印刷されます。

1

   を押します。

1. トケイ セット

2

年号（西暦の下2桁）を入力し、 を押します。

・例：2003年の場合は「03」

ネン：03

3

月を2桁で入力し、 を押します。

・例：5月の場合は「05」

ツキ：05

4

日付を2桁で入力し、 を押し

ます。  
・例：1日の場合は「01」

ヒツケ：01

5

時刻（24時間制）を入力し、 を押します。

・例：午後3時25分の場合は「15:25」

ジ コク：15：25

6

 を押して登録を完了します。

・使  
目  
書  
次  
方  
の

ハ  
操  
作  
ル

備  
前  
ご  
の  
使  
用  
準  
用

本  
前  
ご  
使  
用  
設  
定  
基  
用

送  
フ  
ア  
ク  
ス  
信

受  
フ  
ア  
ク  
ス  
信

機  
フ  
ア  
ク  
ス  
能  
応  
用  
ス

・レ  
リ  
ポ  
ス  
ト

コ  
ピ  
ー

お  
日  
手  
常  
入  
れ  
の

と  
困  
っ  
た  
は  
た

索  
用  
仕  
引  
語  
集  
・



- 設定終了後、液晶ディスプレイには次のように日付と時刻と受信モードが表示されます。

05/01 15:25 FAX

- 間違って入力した場合は、 を押し、再度初めから入力し直してください。
- 長期間電源を切ったままにして、時刻が合っていないときは、もう一度現在の日付と時刻に合わせてください。時刻はあくまで目安ですので、気になるときは1ヶ月おきに合わせてください。
- 1日以上停電した場合は日付の再設定をしてください。

## ● 名前とファクス番号を登録する〔発信元登録〕

発信元登録を行うと、ファクスを送信したとき、登録した情報（お客様の名前と電話番号、ファクス番号）が相手側の記録紙に印刷されます。

1

 <sup>ア</sup> <sup>カ ABC</sup> を押します。

2. ハッシンモト トウロク

ファクス:

2

ファクス番号を入力し、 を押します。

デ ン 号:

- ・20桁まで登録できます。（カッコは登録できません。）

3

電話番号を入力し、 を押します。

ナ マ エ:

- ・20桁まで登録できます。（カッコは登録できません。）

4

名前を入力し、 を押します。

ウ ケ ツ ケ マ シ タ

- ・20文字まで登録できます。

5

 を押して登録を終了します。



- ファクス番号、電話番号には数字しか入力できません。
- 入力した名前やファクス番号を消すときは、手順 2、3、4 でそれぞれカーソルをファクス番号や名前のはじめまで(◀) (▶)を使って移動させ、(⏹)を押すと、入力済みの名前や番号を消すことができます。文字入力のしかたについては **P. 38** を参照してください。
- 入力を間違えたときは、(◀) (▶)を押して修正する文字までカーソルを移動し、正しい文字を上から入力し直します（上書き）。  
挿入はできませんので、途中の文字を入力し忘れたときは、間違えた箇所までカーソルを移動し、それ以降の文字も入力し直してください。
- 発信元データ（ファクス番号、電話番号、名前）を登録しないと、送付書 **P. 93** を送信することはできません。

## ● 発信元登録を消去する

1

Menu Set (ア) 1 (カ ABC) 2 を押します。

2. ハッシンモト トウロク

ヘンコウ 1. スル 2. シナイ

2

(ア) 1 を押して「ヘンコウ 1.スル」を選択します。

ファクス: 000 0000

3

(⏹)を押して、登録内容を消去します。

ファクス:

4

Menu Set を押します。

ウケツケマシタ

## ● 文字入力をする

ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤル・グループダイヤル・発信元データの登録などで文字を入力するときに利用します。

### 文字配列

ダイヤルボタンの数字ボタンには、下記の表のように、押す回数に応じてカタカナ、アルファベット、数字が割り当てられています。また、記号ボタンには各種の記号などが割り当てられています。

ダイヤルボタン	押す回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
1 ア	①	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	1						
2 ABC	②	カ	キ	ク	ケ	コ	A	B	C	2								
3 DEF	③	サ	シ	ス	セ	ソ	D	E	F	3								
4 GHI	④	タ	チ	ツ	テ	ト	ッ	G	H	I	4							
5 JKL	⑤	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	J	K	L	5								
6 MNOP	⑥	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	M	N	O	6								
7 PQRS	⑦	マ	ミ	ム	メ	モ	P	Q	R	S	7							
8 TUV	⑧	ヤ	ユ	ヨ	ャ	ュ	ョ	T	U	V	8							
9 WXYZ	⑨	ラ	リ	ル	レ	ロ	W	X	Y	Z	9							
0 ワ	⑩	ワ	ヲ	ン	”	°	—	0										
* 記号1	⑪	ズ	!	”	#	\$	%	&	'	( )	*	+	,	—	.	/		
# 記号2	⑫	:	;	<	=	>	?	@	[ ]	^	_							

# 基本的な文字入力のしかた

文字を入力するときは、次のような手順で入力します。例えば、発信元データの「ナマエ」の項目に「スズキ ケイコ」という名前を入力するときは、「文字配列」を見ながら以下の手順で入力します。

**1**  を 3 回押します。 ナマエ:ス

**2**  を押してカーソルを右へ移動します。 ナマエ:ス\_

**3**  を 3 回、 を 4 回押します。 ナマエ:スス\_

**4**  を 2 回押します。 ナマエ:スス' 基

**5**  を 2 回押します。 ナマエ:スス' 基 \_

**6**  を 4 回、 を 2 回、 を 5 回押します。 ナマエ:スス' 基 ケイコ

- 補足**
- 間違えて入力した場合は、  を押して、修正する文字までカーソルを移動し、正しい文字を入力し直します。途中の文字を入力し忘れたときは、文字を挿入できませんので挿入する箇所までカーソルを移動し、正しい文字を上書きしてください。
  - 同じダイヤルボタンを使って入力する文字が続くときは、 を押してカーソルを移動させて、文字を入力します。移動させないと文字が上書きされてしまいます。
  - 文字と文字の間に空白を入れるときは、  を押すか、 を 2 回押します。

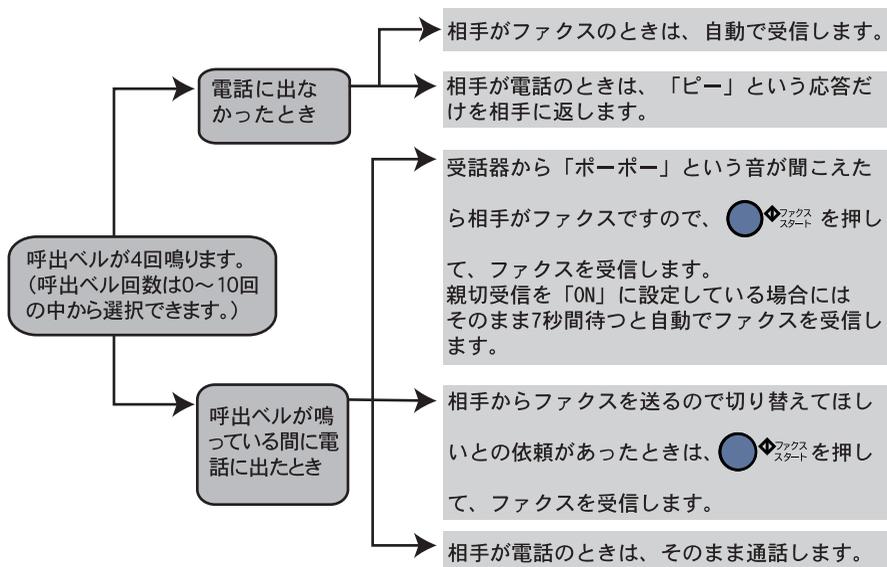
# 受信モードについて

本機の受信モードには、以下の種類があります。

- ・ファクス専用モード（ファクスを自動で受ける）
- ・自動切換モード（ファクスを自動で受ける）
- ・外付留守電モード（ファクスを自動で受ける）
- ・電話モード（ファクスを手動で受ける）

## ● ファクス専用モード（ファクスを自動で受ける）

本機をファクス専用として使用するときを設定すると便利なモードです。お買い上げ時はこのモードに設定されています。



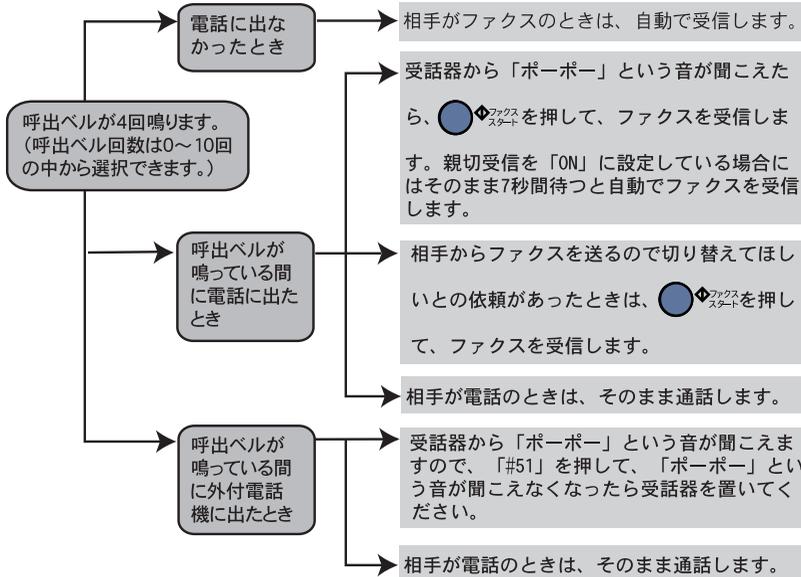
### 補足



- 呼出回数は、0～10回の中から選択できます。0回に設定すると呼出ベルを鳴らさずに自動受信（無鳴動受信）することができます。ファクスを早く受信したいときは呼出回数を0回か1回に設定してください。呼出回数設定のしかたは **P. 106** を参照してください。
- ファクス専用モードは、電話を受けても「ピー」という応答音を相手に返すだけです。電話を主にお使いになるときは、ファクス専用モードに設定しないでください。

## ● 自動切替モード（ファクスを自動で受ける）

ファクスが送られてきたときは自動受信し、電話のときは外付電話機を続けて呼び出す便利なモードです。



### 補足



- 呼出回数設定のしかたは **P. 106** を参照してください。
- 自動切替モードでは、本機が着信すると電話に出なかったときでも相手に通話料金がかかります。
- 回線状態により「ポーポー」という音が聞こえてもファクスに切り替わらない場合があります。そのときは を押してから受話器を戻してください。
- 通話中に突然ファクス受信に切り替わってしまうときは、親切受信の設定を「OFF」にしてください。ファクス受信の場合は、 を押して受話器を戻してください。
- 相手が手動送信ファクスのときは受話器を取っても無音のときがあります。相手が電話でないことを口頭で確認して を押してください。
- 外付電話機を接続しているときは外付電話機の呼出ベルも一緒に鳴ります。呼出ベルが鳴っている間に外付電話機で電話に出ると通話やファクス受信ができます。
- 相手が自動送信のファクスのときは呼出ベル（7～10回）が鳴っている間に相手が電話を切ってしまうことがあります。このようなときは呼出ベルを6回以下に設定してください。 **P. 106**

・使  
目  
い  
書  
次  
方  
の

ハ  
操  
作  
レ  
ル

備  
前  
ご  
使  
用  
の  
準  
用

本  
前  
ご  
設  
定  
使  
用  
基  
用

送  
フ  
ア  
ク  
ス  
信  
ス

受  
フ  
ア  
ク  
ス  
信  
ス

機  
の  
フ  
ア  
ク  
ス  
能  
応  
用  
ス

・レ  
リ  
ポ  
ス  
ト

コ  
ピ  
ー

お  
日  
手  
常  
入  
れ  
の

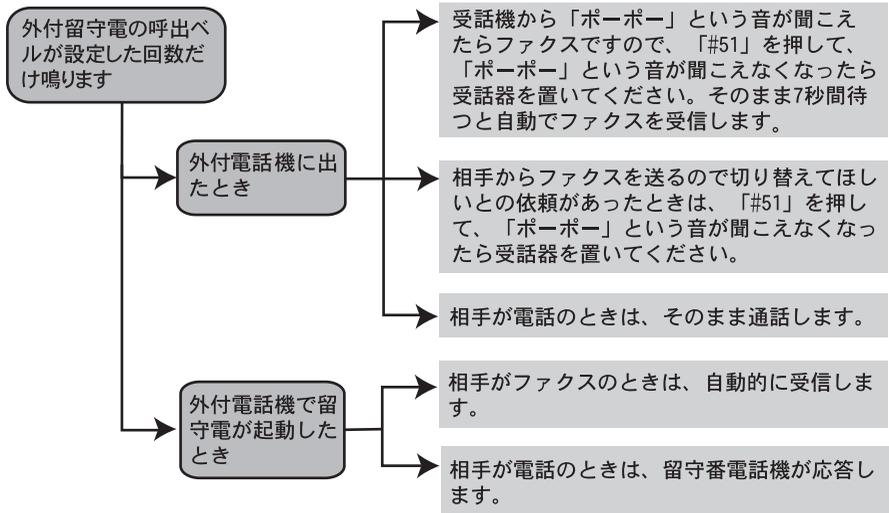
と  
困  
き  
つ  
に  
は  
た

索  
用  
仕  
引  
語  
様  
集  
・

## ● 外付留守電モード（ファクスを自動で受ける）

ファクスを自動で受けたい場合、また、外付けの留守番電話機で電話やメッセージを受けたい場合に適したモードです。

本機の外付電話端子（EXT.）に留守番電話機が接続されていることが前提です。留守中のファクスやメッセージに対応できる受信モードです。



### 補足



- メッセージがいっぱいでも留守番電話機が応答しない場合は、ファクスも自動的には応答しません。
- 留守番電話機が持っている機能のうち、使えない機能（転送機能など）が生じる場合があります。

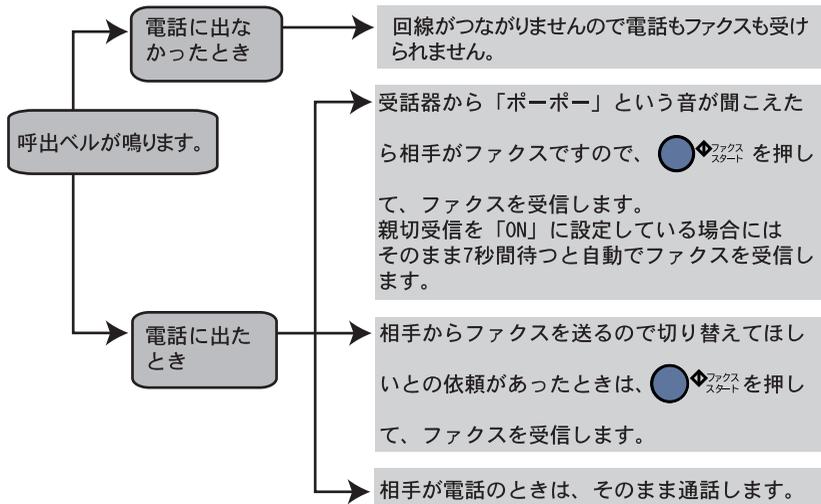
### 注意

■ 外付留守番電話機の設定に関する留意点を以下に示します。

- ・ 外付留守番電話機の設定は「留守」にしておいてください。
- ・ 応答するまでのベル回数は短め（1～2回）に設定してください。
- ・ 応答メッセージは、最初に4、5秒くらい無音状態を入れ、できるだけ短め（20秒以内）に録音してください。
- ・ 応答メッセージには、BGMを録音しないでください。
- ・ 録音用のテープがある場合は、テープが留守番電話機に入っていることを確認してください。

## ● 電話モード（電話として使う、ファクスを手動で受ける）

相手を確認してから  を押して、ファクスを受信します。本機を主に電話としてお使いになる方に適したモードです。



### 補足 キャッチホン契約をされているとき

- NTT とキャッチホンまたはキャッチホン II の契約をされている方は、キャッチホン / キャッチホン II サービスを利用することができます（局番なしの 116 番にお問い合わせください）。
- キャッチホンがかかってくると、通話中に「ブプッ」という音が聞こえますので、そのときに、「キャッチ」ボタンを押すと、新しくかかってきた相手の電話につながります。最初の相手には保留メロディが流れます。ファクスのときは「ポーポー」という音が聞こえますので、 を押してファクス受信が完了するまで受話器を戻さずにお待ちください。最初の相手に戻るときは、もう一度「キャッチ」ボタンを押します。
- ファクスの送信や受信中にキャッチホンの電話がかかると、画像が乱れたり、通信が中断することがあります。画像が乱れることが気になる方は、キャッチホン II のご利用をお勧めします。
- キャッチホンでファクス受信するときに、ファクスを何枚も受信し、時間がかかる場合がありますので、最初の相手との通話が終わってからファクス受信することをお勧めします。
- キャッチホンに出ずに、相手が先に電話を切った場合でも、本機のキャッチホンの呼び出し音がしばらく鳴り続けることがあります。

・使  
目  
い  
書  
次  
方  
の

・操  
作  
レ  
ル

・備  
前  
ご  
使  
用  
の  
準  
用

・本  
前  
ご  
設  
定  
の  
使  
用  
基  
準

・送  
信  
レ  
ス

・受  
信  
レ  
ス

・機  
能  
レ  
ス

・レ  
ポ  
ス  
ト

・コ  
ピ  
ー

・お  
日  
手  
常  
入  
れ  
の

・と  
困  
き  
つ  
に  
は  
た

・索  
用  
仕  
引  
語  
集  
・

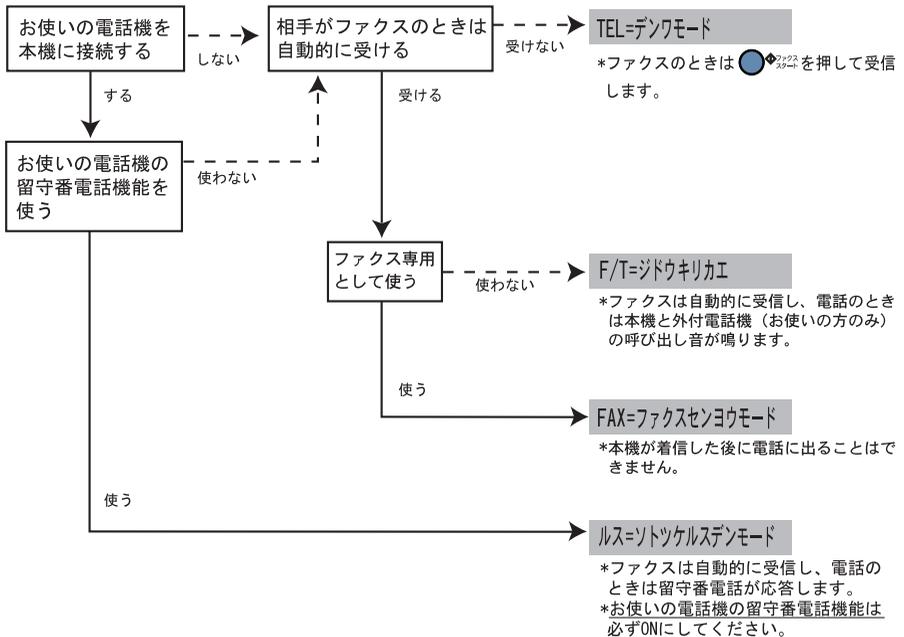
補足 ファクス受信について

- タイマー送信や、ポーリング送信の設定をしていない原稿がセットされていると、ファクス受信できません。原稿を取り除いて **ダイヤルスタート** を押してください。親切受信が「ON」に設定されていると原稿をセットした状態で受信できます。
- 相手が手動送信ファクスのときは受話器を取っても無音のときがあります。相手が電話でないことを口頭で確認して **ダイヤルスタート** を押してください。
- 外付電話機で電話に出たときもファクス受信できます。 **P. 109**

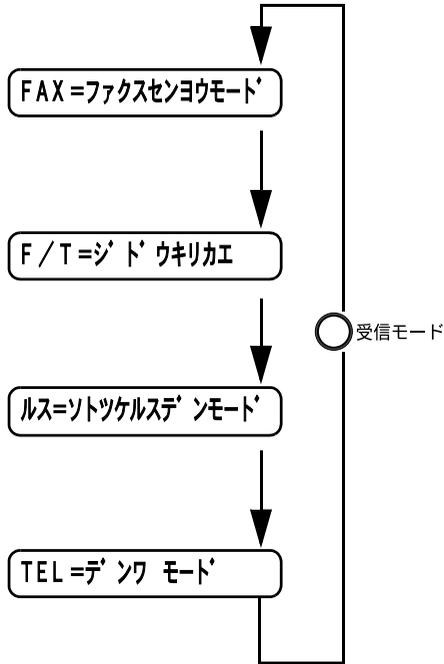
## ● 受信モードを選ぶ

本機の使用目的に応じて、受信モードを選択します。

お買い上げ時は「ファクス専用モード」に設定してあります。



モードを選択した場合の、液晶ディスプレイの表示は以下のように切り替わります。



1

○ 受信モードで受信モードを選択します。

○ 受信モードを押すたびにモードが切り替わります。

2

ⓧ 停止/終了

● を押して操作は終了です。

・使本  
目い書  
次方の

ハ操  
ネ作  
ル

備前ご  
の使用  
の準用

本前ご  
設の使用  
定基用

送フ  
信ア  
クク  
ス

受フ  
信ア  
クク  
ス

機フ  
能ア  
応ク  
用ス

・レ  
リポ  
スト

コ  
ピ  
ー

お日  
手常  
入れの

と困  
きは  
た

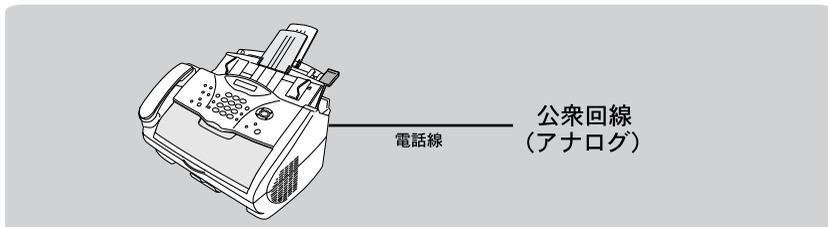
索用仕  
引語様  
集・

## 本機の接続イメージ

本機ではいろいろな接続の方法があります。以下は代表的な例です。間違った接続は他の機器に影響を与える場合がありますので、正しく接続してください。本書に記載されているイメージとは違う接続をしたいときは販売店にご相談ください。

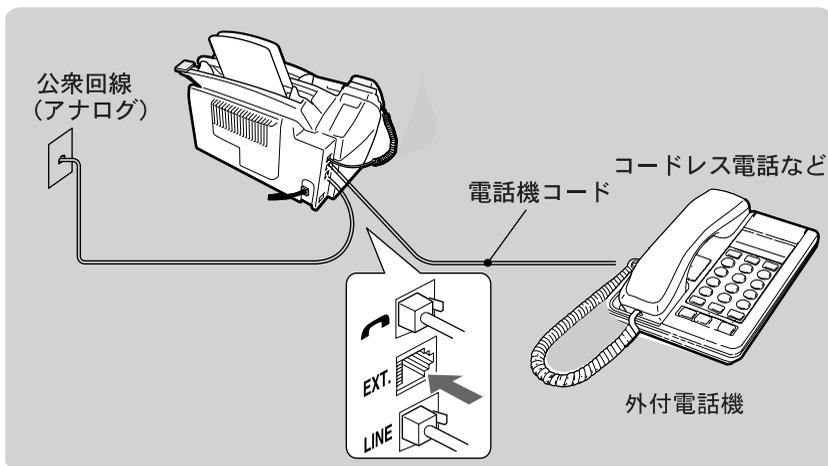
### ● 公衆回線に接続する場合（電話・ファクスとして使う場合）

ファクス専用として使う場合、受信モードをファクス専用に設定します。電話とファクス自動受信として使う場合は、自動切換えに設定します。



### ● 公衆回線に接続する場合（外付電話機を接続する場合）

外付電話機を接続し、電話番号 1 つで電話とファクスを兼用する場合の接続方法です。受信モードを自動切換えに設定することをお勧めします。



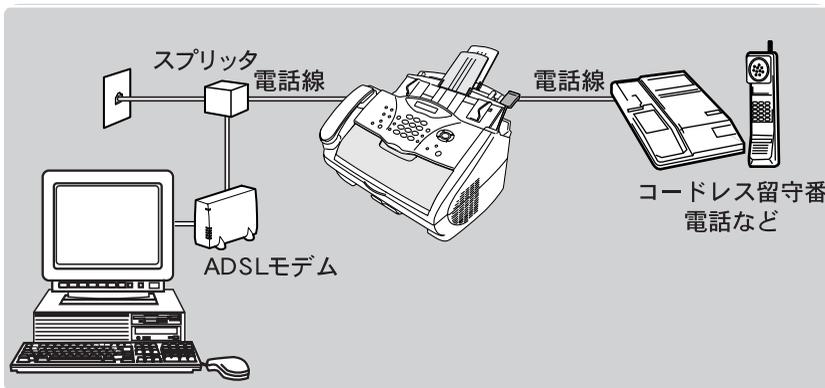
補足



- お使いの電話回線に、すでに何台かの電話機が接続されている場合は、本機または外付電話機がご使用になれない場合があります。この場合、配線工事が必要です。工事には「電話工事担任者」の資格が必要となりますので、取付工事を行った販売店か、最寄りの NTT 窓口（116 番）にご相談ください。
- ナンバー・ディスプレイ対応の電話機を外付電話機として接続する場合は、本機のナンバー・ディスプレイの設定を「ソツケデンワ ユウセン」に設定してください。
- 外付電話端子（EXT.）に接続できる端末（電話機など）台数は 1 台です。

## ● ADSL（タイプ 1）環境に接続する場合

受信モードを自動切替えに設定します。



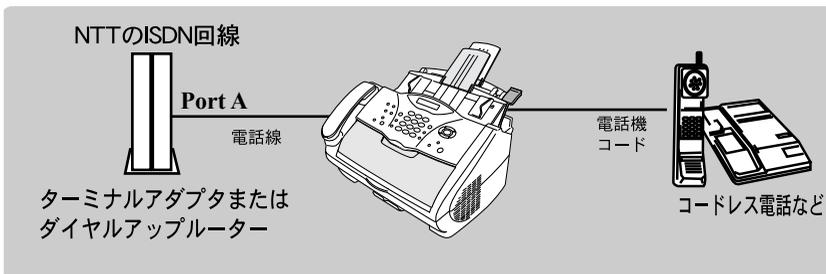
補足



- 正しい接続をしないと、ノイズや通信エラーの原因になります。
- 並列（ブランチ）接続はおやめください。通話音質の低下、ノイズの発生、通信エラーなどの原因になります。
- ADSL 環境で自分の声が響く、または相手の声が聞きづらいときは、ADSL のスプリッタが影響している可能性があります。スプリッタを交換すると改善する場合があります。
- IP 網を使用してファクス通信を行う場合は、お客様が契約されているプロバイダの通信品質が保証されていることを確認してください。

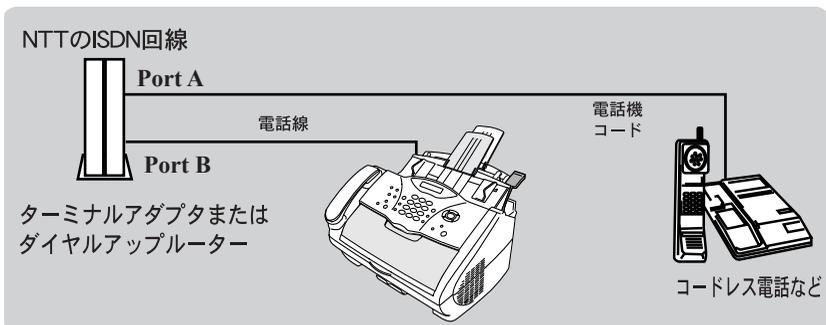
## ● ISDN 回線に接続する場合（電話番号が 1 つの場合）

電話番号が 1 つの場合は、受信モードを自動切換えに設定します。電話とファクスの同時使用はできません。



## ● ISDN 回線に接続する場合（電話番号が 2 つの場合）

2 回線分の使用が可能ですから、ファクス送受信中でも通話が可能です。受信モードをファクス専用を設定します。



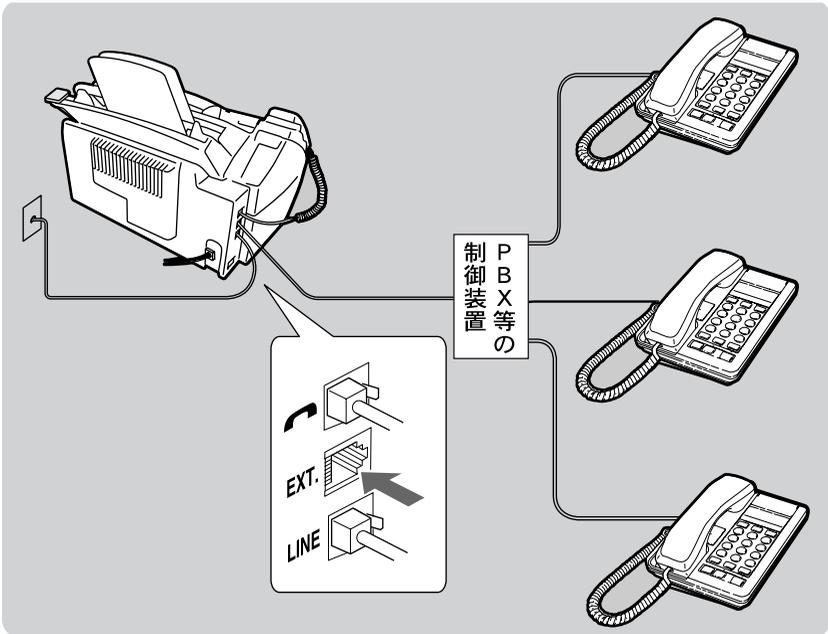


- 各種接続を正常に動作させるためには正しい設定が必要です。特に、ISDN 回線に接続する場合は、以下の点に留意してください。
  - ・電話番号が1つの場合、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルーターの空きポートは「使用しない」に設定してください。また、電話番号が1つの場合で、Port A に電話機、Port B に本機を接続した場合 Port A/B 両方の端末で呼出ベルが鳴ります。電話機でファクスを受けてしまった場合は、Port A から B へ内線転送してください。
  - ・電話番号が2つの場合（ダイヤルインサービスまたは i・ナンバー加入時）は、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルーターの各アナログポートの着信電話番号を設定すると、電話番号とファクス番号を鳴り分けすることができます。
  - ・本機の内線種別は「プッシュ カイセン」に設定してください。お買い上げ時の設定は、「プッシュ カイセン」になっています。電話回線の設定の詳細については **P. 32** を参照してください。
- ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルーター側は本機を接続して電話がかけられること、また電話が受けられることを確認してください。万一、本機が使えないときは、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルーターの設定を確認してください。設定に関する詳細は、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルーターの取扱説明書をご覧ください。また、製造メーカーにお問い合わせください。

## ● 構内交換機 (PBX)、ホームテレホン、ビジネスホンに接続する場合

回線数が1つの場合の例を以下に示します。

受信モードを自動切換えに設定します。PBXなどの制御装置は、本機の外付電話端子 (EXT.) に接続します。



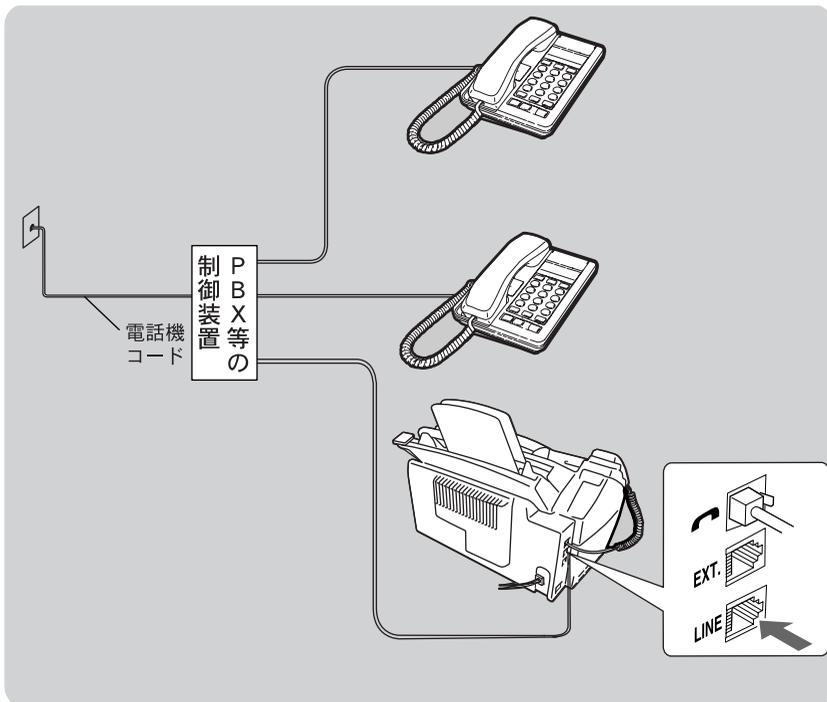
### 補足



- ビジネスホンとは  
電話回線を3本以上持っていて、その回線を多くの電話機で共有できる、内線通話なども可能な簡易交換機の機能を持った電話システムです。
- ホームテレホンとは  
電話回線1～2本で複数の電話機を接続して、内線通話やドアホンなども接続可能な家庭用の簡易交換機の機能を持った電話システムです。

## ● 内線電話として接続する場合

構内交換機（PBX）またはビジネスホンを使用しているところに本機を内線接続する場合、構内交換機（PBX）またはビジネスホン主装置の設定をアナログ2芯用に変更してください。設定変更を行わないと、本機をお使いいただくことはできません。詳しくは、配線工事を行った販売店にご相談ください。



・使  
目  
い  
書  
次  
方  
の

パ  
操  
作  
レ  
ル

備  
前  
ご  
の  
使  
用  
準  
用

本  
前  
ご  
設  
の  
使  
用  
基  
用

送  
フ  
ア  
ク  
ス  
信  
ス

受  
フ  
ア  
ク  
ス  
信  
ス

機  
フ  
ア  
ク  
ス  
能  
応  
用

・レ  
リ  
ポ  
ス  
ト

コ  
ピ  
ー

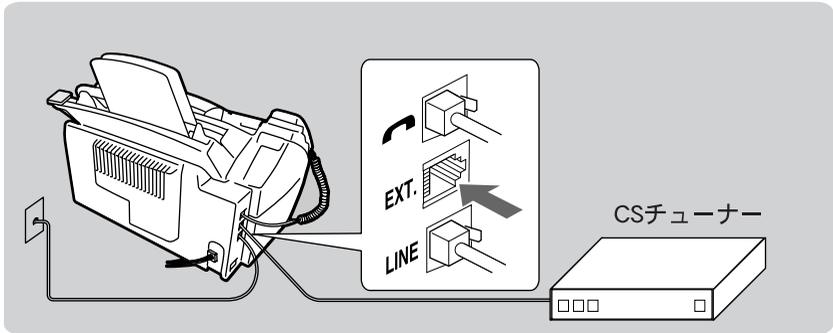
お  
日  
常  
手  
入  
れ  
の

と  
困  
っ  
た  
時  
に  
は

索  
用  
仕  
引  
語  
集  
・  
様  
集  
・

## ● CSチューナーを接続する場合

受信モードを自動切換えに設定します。CSチューナーは、本機の外付電話端子 (EXT.) に接続します



# 3章

・使本  
目い書  
次方の

ハ操  
ネ作  
ル

備前ご  
の使  
準用

本前ご  
設の使  
定基用

送フ  
信ア  
ク  
ス

受フ  
信ア  
ク  
ス

機フ  
能ア  
応ク  
用  
ス

・レ  
リポ  
スト

コ  
ピ  
ー

お日  
手常  
入の

と困  
きつ  
には  
た

索用仕  
引語様  
集・

## ご使用前の基本設定

■ 液晶ディスプレイの特徴 .....	54
液晶ディスプレイについて .....	54
■ 機能設定する .....	55
ナビゲーションキーを使った基本操作 .....	55
ダイヤルボタンを使った基本操作 .....	56
機能一覧 .....	56
■ 基本設定を変更する .....	62
ベルの音量を調節する .....	62
ボタン確認音量を変える〔ボタン確認 & ブザー音量〕 .....	63
スピーカー音量を調節する .....	64
受話器の音量を調節する .....	65
トナーを節約する .....	66
電気の節約モードに入る時間を設定する (スリープモード) .....	67
印刷濃度を調節する .....	68
液晶ディスプレイの表示言語を切り替える〔英語・日本語〕 .....	69
ナンバー・ディスプレイの設定をする .....	70

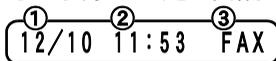
# 液晶ディスプレイの特徴

## ● 液晶ディスプレイについて

本機は、お客様が使いやすいように、液晶ディスプレイを見るだけで次に何をすれば良いか分かるようになっています。



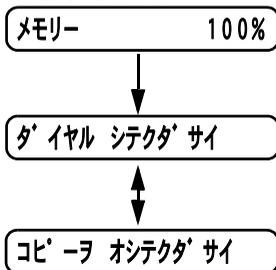
液晶ディスプレイには、現在の設定内容や、操作方法を案内するヘルプメッセージが表示されます。それらの表示は一定の間隔で入れ替わります。



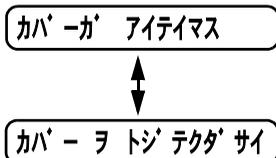
- ①：日付が表示されます。
- ②：現在の時刻が表示されます。
- ③：設定した受信モードが表示されます。

## 液晶ディスプレイの表示例

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットすると、以下のメッセージが表示されます。この場合、ファクス番号を入力してファクスを送ることと、コピーを取ることが可能であることを示します。



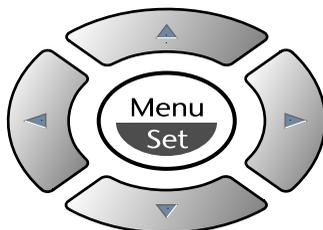
また、本体カバーが完全に閉じていないと、以下のメッセージが表示されます。この場合、本体カバーを一度開け、再度閉じてください。



# 機能設定する

## ● ナビゲーションキーを使った基本操作

本機は、ナビゲーションキーを使った簡単な操作で、各種の設定ができます。ナビゲーションキーを使用することによって、取扱説明書を見なくても、本機に用意されているすべての機能が活用できます。



ナビゲーションキーの外観

ナビゲーションキー	キーの役割
	以下の場合に使用します。 <ul style="list-style-type: none"><li>メインメニューを表示する場合 メインメニューが表示されると、メニューモードになり、画面はスクロールします。</li><li>次のメニューレベルに移る場合</li><li>選択項目を設定する場合 選択項目の設定が終わると、液晶ディスプレイには「ウケツケマシタ」と表示されます。</li></ul>
	現在のメニューレベルをスクロールして選択する場合に使用します。
	前のメニューレベルに戻る場合に使用します。
	次のメニューレベルに進む場合に使用します。
	メニューモードを終了する場合に使用します。

・使本  
目い書  
次方  
の

パ操  
ネ作  
ル

備前ご  
の使  
準用

本前ご  
設の使  
定基用

送フ  
信ア  
ス

受フ  
信ア  
ス

機フ  
能ア  
応ク  
用ス

・レ  
リポ  
スト

コ  
ピ  
ー

お日  
手常  
入の  
れ

と困  
きっ  
には  
た

索用仕  
引語様  
集・

## ● ダイヤルボタンを使った基本操作

Menu を押した後、ダイヤルボタンで、設定したい機能の番号を直接入力することで、本機に対する各種の設定ができます。

### 補足



- 設定を途中で終了するときは、 を押してください。
- 本書では、ダイヤルボタンを押す操作方法で説明しています。

## ● 機能一覧

### 基本設定機能

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内 容	参照ページ
1. キホン セッテイ	1. トケイ セット	—	—	液晶ディスプレイに表示される現在の日付・時刻と、ファクスに記される日付・時刻を設定します。	<b>P. 35</b>
	2. ハッシン モト トウロク	—	—	ファクスに印刷される発信元の名前、ファクス番号、および送付書に印刷される電話番号を設定します。	<b>P. 36</b>
	3. オンリョ ウ	1. チャクシン ベル オンリョ ウ	OFF ショウ チュウ ダイ	ベルの音量を調節します。	<b>P. 62</b>
		2. ボタンカク ニン オンリョ ウ	OFF ショウ チュウ ダイ	パネルボタンにタッチしたときの音量を設定します。	<b>P. 63</b>
	3. スピーカー オンリョウ	OFF ショウ チュウ ダイ	スピーカーの音量を設定します。	<b>P. 64</b>	
	4. ジュウ オンリョウ	ショウ ダイ	受話器の音量を調整します。	<b>P. 65</b>	

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内 容	参照ページ
1. キホン セッテイ	4. トナー セーブ	—	ON <u>OFF</u>	トナーの使用量をセーブします。	<b>P. 66</b>
	5. スリープ モード	—	<u>00</u> 分 99分 (00分から99分 まで)	ファクス待機中の消費電力を節約することができます。このスリープ状態になるまでの時間を設定します。	<b>P. 67</b>
	6. カイセン シュベツ セッテイ	—	プッシュ 10 PPS 20 PPS <u>ジドウ セッテイ</u>	お使いの電話回線に合わせて回線種別を設定します。	<b>P. 32</b>
	7. ヒョウジ ゲンゴ (LOCAL LANGUAGE)	—	<u>ニホンゴ</u> ENGLISH	液晶ディスプレイに表示される言語を設定します。 This setting allows you to change LCD Language to English.	<b>P. 69</b>
	8. ナンバー ディスプレイ	—	ON <u>OFF</u> ソツケデンワ ユ ウセン	NTTのナンバー・ディスプレイサービスを使用するときに設定します。	<b>P. 70</b>

\* 下線付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。

・使  
目  
い  
書  
次  
方  
の

バ  
操  
作  
ル

備  
前  
ご  
の  
使  
用  
準  
用

本  
前  
ご  
使  
用  
設  
定  
基  
準

送  
フ  
ァ  
ク  
ス  
信  
息

受  
フ  
ァ  
ク  
ス  
信  
息

機  
能  
フ  
ァ  
ク  
ス  
使  
用

・レ  
リ  
ポ  
ス  
ト

コ  
ピ  
ー

お  
日  
常  
入  
れ  
の

と  
困  
っ  
た  
は  
た

索  
用  
仕  
引  
語  
集  
・

## ファクス機能

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内 容	参照ページ
2. ファクス	1. ジュシン セッテイ	1. ヨビダシ カイスウ	0 : 4 : 10 (0 から 10)	「ファクス専用モード」と「自動切替モード」のとき、自動受信するまでの呼出回数を設定します。	P. 106
		2. サイヨ ビダシカ イスウ	8 10 15 20	「自動切替モード」のとき、本機が応答するまでの呼出回数を設定します。	P. 107 リモート
		3. シンセツ ジュシン	ON OFF	本機がファクスを自動受信する前に受話器をとってしまった場合でも、ファクススタートボタンを押さずに、ファクスを受信する機能を設定します。	P. 108
		4. リモート バンゴウ	ON OFF	外付電話機からファクスを受信動作させるときに設定します。	P. 109
		5. ジドウ シュクショ ウ	ON OFF	A4 サイズ以上の長さの原稿が送られてきたときに自動的に縮小する／しないを設定します。	P. 111
		6. インサツ ノウド	—■●■□□+	印字の濃さを調整します。	P. 68
		7. ポーリン グジュシン	ヒョウジュン キミツ タイマー	ポーリング通信でファクスを受信するときの設定をします。	P. 117

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内 容	参照ページ
2. ファクス	2. ソウシン セッテイ	1. ゲンコウ ノウド	<u>フツウ</u> ウスク コク	原稿に合わせて濃度を一時的に設定します。	<b>P. 92</b>
		2. ガンツ モード	<u>ヒョウジュン</u> フィン S. ファイン シャシン	送信時の解像度の設定をします。 ここで設定した内容は次に変更するまで有効です。	<b>P. 91</b> リモート
		3. タイマー ソウシン ジカン	00:00	毎回同じ時刻にファクスを送信する場合の送信時間を設定します。	<b>P. 101</b>
		4. タイマー ソウシン	—	タイマー送信を行うときの送信時刻を設定します。	<b>P. 100</b>
		5. トリマト メ ソウシ ン	<u>ON</u> <u>OFF</u>	同一の相手に一括してタイマー送信を行うときに設定します。	<b>P. 101</b> リモート
		6. リアルタ イム ソウ シン	<u>ON</u> <u>OFF</u> コンカイノミ	メモリーを使わずにリアルタイムでファクスを送信するときに設定します。	<b>P. 97</b> リモート
		7. ポーリン グソウシン	<u>ヒョウジュン</u> キミツ	ポーリング通信でファクスを送信するときの設定をします。	<b>P. 114</b>
		8. ソーフ ショ	コンカイノミ <u>ON</u> <u>OFF</u> プリントサンプ ル	送付書を付加する/しないを設定します。	<b>P. 93</b> リモート
		9. ソーフ ショ コメ ント	—	送付書のコメントを作成します。	<b>P. 95</b> リモート
0. カイガイ ソウシン モード	<u>ON</u> <u>OFF</u>	海外送信を行うときに設定します。	<b>P. 99</b>		

・使本  
目い書  
次方の

ハ操  
ネ作  
ル

備前ご  
の使  
用  
準用

本前ご  
設の使  
定基用

送フ  
ァア  
クク  
ス

受フ  
ァア  
クク  
ス

機フ  
能ァ  
応ア  
ク用  
ス

・レ  
リポ  
スス  
ト

コ  
ピ  
ー

お日  
手常  
入の  
れ

と困  
きつ  
には  
た

索用仕  
引語様  
集・

☞ 次ページへ続く

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内 容	参照ページ	
2. ファクス	3. ダイヤルトウロク	1. ワンタッチダイヤル	—	ワンタッチボタン「1」～「8」に送信先番号、名前を登録します。	<b>P. 81</b>	
		2. タンシュクダイヤル	—	2桁の短縮番号00～99に、相手先の番号と名前を登録します。	<b>P. 84</b>	
		3. グループダイヤル	—	同時に多数のファクス送信ができるように、グループ番号を設定します。	<b>P. 86</b>	
	4. ツウシンマチカクニン	—	—	メモリー送信の待ち状態を確認し、メモリー送信、タイマー送信などのジョブを解除します。	<b>P. 102</b>	
	5. チャクシンリレキ	—	—	最新の30件の着信履歴を確認できます。(ナンバー・ディスプレイを契約していて、ナンバー・ディスプレイの設定をONにしているときのみ)	<b>P. 112</b>	
	6. リストセッテイ	1. ソウシンレポート	<b>ON</b> <b>ON+ イメージ</b> <b>OFF</b> <b>OFF+ イメージ</b>	—	送信後に送信結果を印刷するかどうかの設定をします。	<b>P. 136</b>
		2. ツウシンカンリカンカク	1 ジカンゴト 3 ジカンゴト 6 ジカンゴト 12 ジカンゴト 24 ジカンゴト 2 カゴト 4 カゴト 7 カゴト <u>レポートシュツリョク</u> <u>シナイ</u>	—	通信管理レポートの出力間隔を設定します。	<b>P. 138</b>
7. オウヨウキノウ	1. テンソウ	<b>OFF</b> ファクス テンソウ デンワヨビダシ	—	ファクスメッセージを受信したとき、「電話呼出」や「ファクス転送」するための設定をします。	<b>P. 123</b>	

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内 容	参照ページ
	7. オウヨウキノウ	2. メモリー ジュシン	<u>ON</u> <u>OFF</u>	受信したファクスをメモリーに蓄積する/しないを設定します (ファクス転送、リモコンアクセスするときに、ON に設定します)。	<b>P. 121</b>
		3. アンショウバンゴウ	—	外出先から本機をリモートコントロールするときの3桁の暗証番号を設定します。	<b>P. 127</b>
		4. ファクス シュツリョク	—	メモリー受信でメモリーに蓄積されたファクスを印刷するときに使用します。	<b>P. 122</b>

\* 下線付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。

## コピー機能

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内 容	参照ページ
3. コピー	1. ゲンコウタイプ	—	<u>ジドウ</u> テキスト シャシン	コピー画質を設定します。	<b>P. 156</b>
	2. コントラスト	—	—  +	コピーの明るさを調整します。	<b>P. 157</b>
	3. キロクシタイプ	—	<u>フツウシ</u> フツウシ (アツメ) アツガミ (ハガキ) チョウアツガミ	記録紙のタイプを設定します。	<b>P. 158</b>

・使  
目い  
書  
次  
方  
の

ハ  
操  
作  
ル

備  
前  
ご  
の  
使  
用  
準  
用

本  
前  
ご  
使  
用  
設  
定  
基  
礎

送  
フ  
ァ  
ク  
ス  
信  
ス

受  
フ  
ァ  
ク  
ス  
信  
ス

機  
能  
フ  
ァ  
ク  
ス  
使  
用  
ス

・レ  
リ  
ポ  
ス  
ト

コ  
ピ  
ー

お  
日  
常  
入  
れ  
の

と  
困  
っ  
た  
は  
た

索  
用  
仕  
引  
語  
集  
・

# 基本設定を変更する

## ● ベルの音量を調節する

ベルの音量を調節します。

1

 <sup>ア</sup> <sup>サ DEF</sup> <sup>ア</sup> を押し

1. チャクシンベル オンリョウ

す。

2

 で音量を選択します。

オンリョウ:ダ'イ

「OFF」、「ショウ」、「チュウ」、「ダイ」の中から選択します。

3

 を押します。

ウケツケマシタ

4

 <sup>停止/終了</sup> を押して操作は終了です。

### 補足



- お買い上げ時は「ショウ」に設定されています。
- ベルの音量の変更は、原稿がセットされていないとき、またはファクスを使用していないときに  だけで調整することもできます。
- 音量を「OFF」に設定しても、電話呼出のベルは最小で鳴ります。

## ● ボタン確認音量を変える〔ボタン確認 & ブザー音量〕

ダイヤルボタンなどを押したとき「ピッ」とボタン確認音が鳴ります。また、間違った操作をしたときや、紙づまりなどファクスに異常が起きたとき、またファクス送受信終了時に「ピー」というブザー音が鳴ります。そのときの音量を調節します。

**1**     を押し  
ます。

2. ボタン確認音 オンリョウ

**2**  で音量を選択します。  
「OFF」、「ショウ」、「ダイ」の中から選択します。

オンリョウ:ダイ

**3**  を押します。

ウケツケマシタ

**4**  を押して操作は終了です。

### 補足



- お買い上げ時は「ショウ」に設定されています。
- 「OFF」（ボタン確認音なし）を選んでも、エラーのときはブザー音が鳴ります。

・使  
目い  
書  
次  
方  
の

バ  
操  
ネ  
作  
ル

備  
前  
ご  
の  
使  
用  
準  
用

本  
前  
ご  
設  
定  
の  
基  
用

送  
フ  
ア  
ク  
ス  
信  
ス

受  
フ  
ア  
ク  
ス  
信  
ス

機  
の  
フ  
ア  
ク  
ス  
能  
応  
用  
ス

・レ  
リ  
ポ  
ス  
ト

コ  
ピ  
ー

お  
日  
手  
常  
入  
れ  
の

と  
困  
き  
っ  
た  
は  
た

索  
用  
仕  
引  
語  
様  
集  
・

## ● スピーカー音量を調節する

手動でファクスを送信するとき、受信側から「ピー」という音が聞こえることがあります。そのときの音量を調節します。

-     を押し  
す。 3. スピーカー オンリョウ
-  で音量を選択します。 オンリョウ: 大イ  
「OFF」、 「ショウ」、 「チュウ」、 「ダイ」の中から選択  
します。
-  を押し  
ます。 ウケツケマシタ
-  停止/終了 を押し  
て操作は終了です。

### 補足



- お買い上げ時は「ショウ」に設定されています。
- スピーカー音量は、 保通 を押し  
てスピーカーから「ツー」という音が聞こえているとき、  
またはオンフック状態オンフックで相手の声が聞こえているときに、原稿がセットされていないと  
き、またはファクスを使用していないときに  を押し  
て調節することもできます。

# ● 受話器の音量を調節する

受話器の音量を調節します。

- 1**  <sup>ア</sup> **1** <sup>サ DEF</sup> **3** <sup>タ GHI</sup> **4** を押し  
ます。 4. ジュワ オンリョウ
- 2**  で音量を選択します。  
「ショウ」、「ダイ」の中から選択します。 オンリョウ:ダ'イ
- 3**  を押し  
ます。 ウケツケマシタ
- 4**  <sup>停止/終了</sup> を押して操作は終了です。

## 補足



- お買い上げ時は「ショウ」に設定されています。
- 受話器の音量は、通話中に  を押して調節することもできます。

・使本  
目い書  
次方の

ハ操  
作  
ネ  
作  
ル

備前ご  
の使  
用  
準  
用

本前ご  
設の使  
定用  
基  
用

送フ  
信ア  
ク  
ス

受フ  
信ア  
ク  
ス

機フ  
能ア  
応  
用  
ス

・レ  
リ  
ポ  
ス  
ト

コ  
ピ  
ー

お日  
手常  
入  
れ  
の

と困  
つ  
た  
は  
た

索用仕  
引語  
集  
・  
・

## ● トナーを節約する

印字は多少薄くなりますが、トナーを節約したいときは、「トナーセーブ」を「ON」に設定します。

**1**    を押します。 4. トナー セーブ

**2**  で「ON」を選択します。 トナー セーブ : ON

**3**  を押します。 ウケツケマシタ

**4**  停止/終了 を押して操作は終了です。

### 補足

-  ● お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

## ● 電気の節約モードに入る時間を設定する（スリープモード）

本機は、すぐに印刷やコピーができるように、常に一定の電気を供給し、印字部を温め、冷却ファンも回し続けています。

スリープモードは、設定した時間内に印刷やコピーが行われなかったときに、自動的に印字部の温度を下げ、冷却ファンも止まるので、消費電力を減らします。ただし、電話機としての通話には影響ありません。

1



を押します。

5. スリープモード

2

ダイヤルボタンを使用して、待機時間を入力します。

0～99分まで分単位で設定できます。

スリープ カイシ: 107分

3



を押します。

ウケツケマシタ

4



を押して操作は終了です。

### 補足



- お買い上げ時は「0分」に設定されています。
- 冷却ファンは本機内部の温度が一定以下になるまで回り続けますので、スリープモードになるまでの実際の時間は設定時間と若干の差があることがあります。
- スリープモードのときに、コピーや印刷をしようとするとき液晶ディスプレイに「ウォーミング アップ」と表示され、ウォーミングアップのために10秒～20秒時間がかかります。

・使  
目  
い  
書  
次  
方  
の

・バ  
操  
作  
ル

備  
前  
ご  
の  
使  
用  
準  
用

本  
前  
ご  
設  
定  
の  
基  
用

送  
フ  
ア  
ク  
ス  
信  
ス

受  
フ  
ア  
ク  
ス  
信  
ス

機  
の  
フ  
ア  
ク  
ス  
機  
能  
応  
用  
ス

・レ  
リ  
ポ  
ス  
ト

コ  
ピ  
ー

お  
日  
常  
入  
れ  
の

と  
困  
き  
っ  
た  
は  
た

索  
用  
仕  
引  
語  
集  
・

## ● 印刷濃度を調節する

印刷の濃さを調節できます。印刷濃度は5段階で設定できます。

**1**     を押し  
ます。

6. インサツ ノウト

**2**  で濃度を選択します。



 薄  濃

**3**  を押し  
ます。

ウケツケマシタ

**4**  を押し  
て操作は終了です。

### 補足



- お買い上げ時は「-■■■■□□+」に設定されています。

## ● 液晶ディスプレイの表示言語を切り替える〔英語・日本語〕

液晶ディスプレイに表示される言語を、英語または日本語に切り替えることができます。

- 1**    を押します。 7. ヒョウジ ゲンゴ
- 2**   で言語を選択します。 コトバ : ニホンゴ
- 3**  を押します。 ウケツケマシタ
- 4**  を押して操作は終了です。

### 補足



- 英語による説明を以下に示します。

This setting allows you to change LCD language to English.

1 Press   

2 Press   to select "ENGLISH".

3 Press .

4 Press  to exit.

・使  
目  
書  
次  
方  
の

ハ  
操  
作  
ル

備  
前  
ご  
の  
使  
用  
準  
用

本  
前  
ご  
の  
使  
用  
基  
定

送  
フ  
ア  
ク  
ス  
信  
ス

受  
フ  
ア  
ク  
ス  
信  
ス

機  
の  
フ  
ア  
ク  
ス  
機  
能  
応  
用  
ス

・レ  
リ  
ポ  
ス  
ト

コ  
ピ  
ー

お  
日  
手  
常  
入  
れ  
の

と  
困  
き  
っ  
た  
は  
た

索  
用  
仕  
引  
語  
様  
集  
・

## ● ナンバー・ディスプレイの設定をする

電話がかかってきたとき、またはファクスを受信したときに、相手の電話番号またはファクス番号を外付電話または本機の液晶ディスプレイに表示させることを設定します。ナンバー・ディスプレイを ON にした場合、以下の機能をご利用できます。

- 着信履歴を液晶ディスプレイで確認する **P. 112**
- 着信履歴リストを印刷する **P. 136**
- 着信履歴からの電話帳登録

**1**  <sup>ア</sup> **1** <sup>ヤ TUV</sup> **8** を押します。 **8. ナンバ ー デ ィ ス プ レ イ**

**2**   で「ON」「OFF」「ソツケデンワ ユウセン」の中から選択します。 **ON**

- 「ON」の場合、本機の液晶ディスプレイに相手の電話番号またはファクス番号が表示されます。
- 「ソツケデンワ ユウセン」の場合、外付電話に相手の電話番号またはファクス番号が表示されます。

**3**  を押します。 **ウケツケマシタ**

**4**  停止/終了 を押して操作は終了です。

### 補足

- お買い上げ時は、「OFF」に設定されています。
- ナンバー・ディスプレイを利用するには、NTT への契約が必要です。契約していない場合は「OFF」にしてください。
- ISDN 回線を利用されているときは、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルーターの設定が必要です。
- 構内交換機 (PBX) に接続しているときは、構内交換機 (PBX) がナンバー・ディスプレイに対応していなければ利用できません。
- ブランチ接続 (並列接続) をしているとナンバー・ディスプレイは正常に動作しません。
- 「ソツケデンワ ユウセン」の場合、着信履歴は本機に残りません。

# 4章

## ファクス送信

■ ファクスを送信する前に.....	72
原稿サイズ.....	72
原稿の読み取り範囲.....	73
■ ファクスを送信する.....	74
ファクスを自動で送信する.....	74
ファクスを手動で送信する.....	76
他の動作中にファクス原稿を読み込む〔デュアルアクセス〕.....	77
オンフックボタンを押してダイヤルしたとき.....	77
ファクス送信を途中で止める.....	77
■ 便利にダイヤルする.....	78
ダイヤルのしかた.....	78
同じ相手にもう一度送信する〔再ダイヤル〕.....	79
電話帳を使って送信する.....	80
■ 電話帳を作成する.....	81
ワンタッチダイヤルを登録する.....	81
ワンタッチダイヤルを変更する.....	83
短縮ダイヤルを登録する.....	84
短縮ダイヤルを変更する.....	85
グループダイヤルを登録する.....	86
グループダイヤルを変更する.....	88
■ ファクスを便利に送信する.....	90
画質を設定する〔一時的に変更する〕.....	90
画質を設定する〔設定内容を保持する〕.....	91
原稿濃度を設定する.....	92
送付書を付けて送信する.....	93
送付書のオリジナルコメントを登録する.....	95
同じ原稿を数ヶ所に送信する〔順次同報送信〕.....	96
原稿を直接送信する〔リアルタイム送信〕.....	97
海外へ送信する〔海外送信モード〕.....	99
指定時刻に送信する〔タイマー送信〕.....	100
送信する時間を固定する.....	101
メモリー内の文書と同じ相手に一括送信する〔取りまとめ送信〕.....	101
送信待ち確認・送信待ちファクス解除.....	102

・使本  
目い書  
次方  
の

パ操  
ネ作  
ル

備前ご  
の使  
準用

本前ご  
設の使  
定基用

送フ  
信ア  
ス

受フ  
信ア  
ス

機フ  
能ア  
応ク  
用ス

・レ  
リポ  
スト

コ  
ピ  
ー

お日  
手常  
入の  
れの

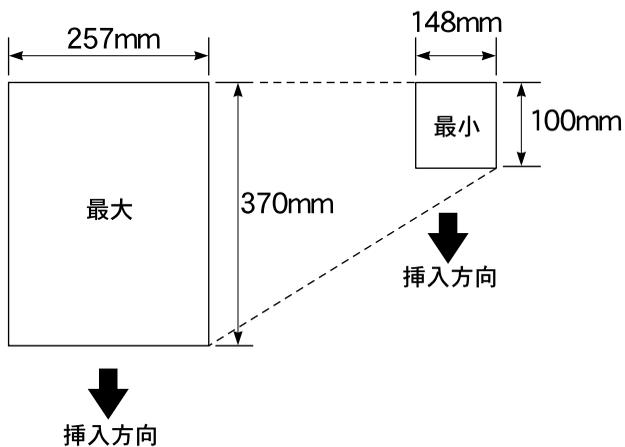
と困  
ぎっ  
には  
た

索用仕  
引語様  
集・

# ファクスを送信する前に

## ● 原稿サイズ

セットできる原稿サイズは次のとおりです。これ以外のサイズの原稿は、複写機で拡大・縮小コピーしてからセットしてください。

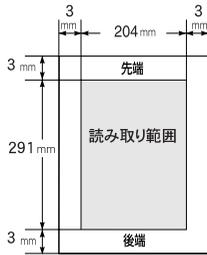


厚さ : 0.08mm ~ 0.12mm  
坪量 : 64g/m<sup>2</sup> ~ 90g/m<sup>2</sup>

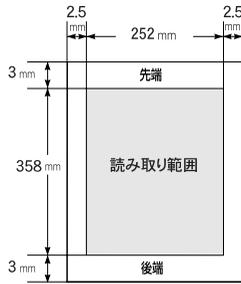
# ● 原稿の読み取り範囲

原稿の読み取り範囲を次に示します。

<A4の場合>



<B4の場合>



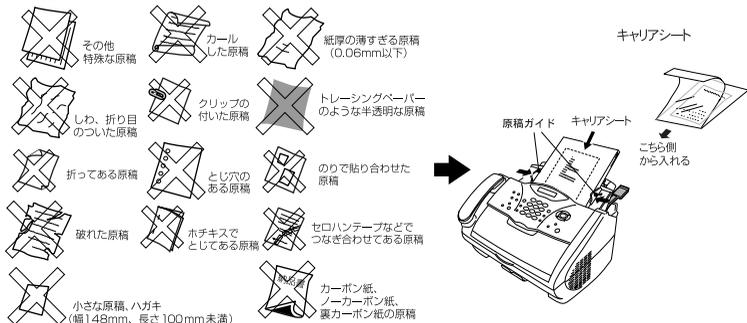
## 補足



- 原稿の読み取り範囲は、概算値ですので、目安として参考にご覧ください。



- インクやのりなどが乾いていない原稿は、完全に乾いてからセットしてください。
- 原稿のクリップ・ホチキスの針は故障の原因となりますので取り外してください。
- 異なるサイズ・厚さ・紙質の原稿を混ぜてセットしないでください。
- 原稿の先端に色が付いていると、濃い原稿と判断する場合があります。このときは、原稿をセットする向きを変えたり、あらかじめ濃度を下げるなどの対処をしてください。
- 原稿を強く押し込まないでください。原稿づまりを起こしたり、複数枚の原稿が一度に送られることがあります。
- 以下のような原稿は、複写機でコピーするか、キャリアシートをお使いください。



・使本  
目い書  
次方の

ハ操  
作  
ネ  
作  
ル

備前  
ご  
の  
使  
用  
準  
用

本前  
ご  
使  
用  
基  
定  
基  
用

送フ  
信ア  
ク  
ス

受フ  
信ア  
ク  
ス

機フ  
能ア  
能ク  
用ス

・レ  
リ  
ポ  
ス  
ト

コ  
ピ  
ー

お日  
手常  
入  
れ  
の

と困  
じ  
に  
は  
た

索用  
引語  
様  
集  
・

# ファクスを送信する

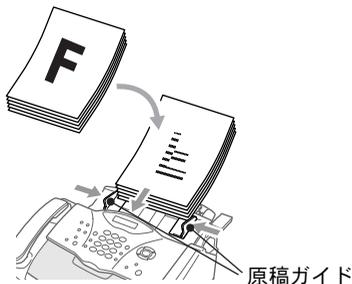
## ● ファクスを自動で送信する

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして、ファクスを自動送信します。原稿をセットする前に原稿が静電気等でくっついていないことを確認してください。

**1**

印刷面を裏向きにし、上部を先にしてADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットします。

原稿は一度に20枚までセットできます。

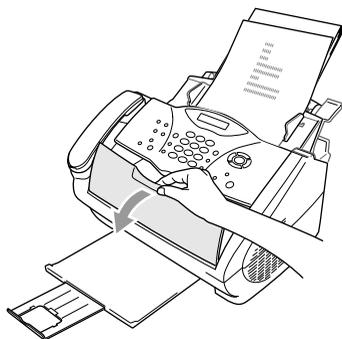


**2**

原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。

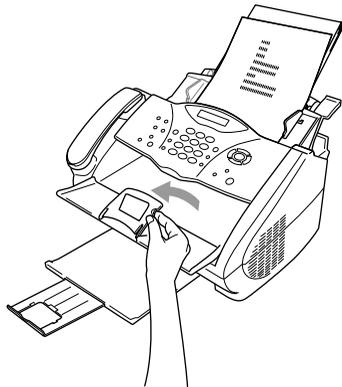
**3**

原稿排紙トレイを開きます。



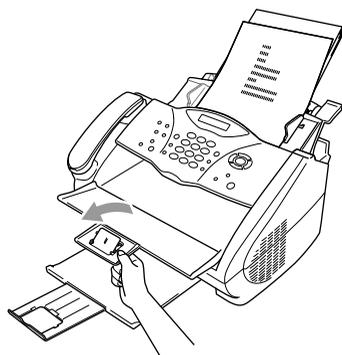
**4**

原稿排紙補助トレイを開きます。



**5****B4 サイズの原稿を送信**

するときは、図のように原稿排紙補助トレイの中央部を開きます。

**6**

相手先のファクス番号を入力します。

**7**

 **ファクススタート** を押します。

**補足**

- 原稿は一度に 20 枚までセットできます。
- 送信を途中で止めたいときは **P. 77** を参照してください。
- ダイヤルのしかたは **P. 78** を参照してください。
- 最初のページを読み込み中に、液晶ディスプレイに「メモリーが イっぱいデス」が表示された場合は、 を押すと読み込みが中止されます。2 ページ目以降を読み込み中に、このメッセージが表示された場合は、 **ファクススタート** を押すと、読み込まれたページまでは送信します。送信を取りやめる場合は  を押します。
- メモリーに読み込み可能な原稿の枚数は原稿の内容に影響されます。
- ECM (Error Correction Mode の略称) 通信とは、国際的に標準化された自動誤り訂正方式による通信モードのことです。通信中の雑音などにより、送信データに影響を受けても、自動的に影響を受けた部分だけを送り直すため、画像の乱れのない通信を行うことができます。
- 送信側・受信側ともに ECM 機能を持っていないと ECM 通信は行われません。
- ECM 通信中に雑音などで影響を受けた場合は、通信時間が正常時に比べ多少長くなります。

・使本  
目い  
書  
次  
方  
のバ操  
操  
作  
作  
ル備前  
ご  
の  
使  
用  
準  
用本前  
ご  
使  
用  
基  
用  
定  
基  
用送フ  
信ア  
ククス受フ  
信ア  
ククス機フ  
能ア  
応ク  
用ス・レ  
リポ  
スト  
ストコ  
ピ  
ーお日  
手常  
入れ  
のと困  
き  
っ  
は  
た索用  
引仕  
語様  
集  
・

## ● ファクスを手動で送信する

- 1 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットします。
- 2 受話器を上げ、相手先のファクス番号を入力します。
- 3 相手先の受信音（ピー）を確認して、を押します。
- 4 受話器を戻します。

### 補足



- ファクス送信が終了すると自動的に回線は切れます。

## ● 他の動作中にファクス原稿を読み込む〔デュアルアクセス〕

ファクスの送受信中や印刷中でも、次に送りたいファクス原稿の読み込みができます。そのときもファクス画質などの設定ができます。ファクス原稿の読み込み中は液晶ディスプレイには新しいジョブ番号とメモリー残量が表示されま

## ● オンフックボタンを押してダイヤルしたとき

送信先の相手の声が聞こえたら、受話器を取って相手にファクスを送信することを伝え、ファクススタートボタンを押してもらいます。「ピー」という音が聞こえたら、 ◇ファクススタート を押して受話器を戻します。

## ● ファクス送信を途中で止める

 ◇ファクススタート を押す前ならば、受話器を戻すか  保留 を押します。

 ◇ファクススタート を押した後、途中で止めたいときは  停止/終了 を押します。まだ原稿が送り込まれていないときは原稿を取り除いてください。原稿が送り込まれているときは「テイシ ヲ オンテクダサイ」と表示されますので再び  停止/終了 を押し、原稿が排出されるまで待ってから原稿を取り除きます。

・使  
目  
い  
書  
次  
方  
の

バ  
操  
ネ  
作  
ル

備  
前  
ご  
の  
使  
用  
準  
用

本  
前  
ご  
設  
の  
使  
用  
基  
用

送  
フ  
ア  
ク  
ス

受  
フ  
ア  
ク  
ス

機  
の  
フ  
ア  
ク  
ス  
機  
能  
応  
用  
ス

・レ  
リ  
ポ  
ス  
ト

コ  
ピ  
ー

お  
日  
手  
常  
入  
れ  
の

と  
困  
き  
っ  
は  
た

索  
用  
仕  
引  
語  
集  
・

# 便利にダイヤルする

## ● ダイヤルのしかた

送信するときのダイヤル方法は4つあります。

- 受話器を取ったりオンフックボタンを押してダイヤルした場合、入力が終わるとすぐに発信します。
- 受話器を置いたままで、オンフックボタンも操作せずにダイヤルした場合は、を押してください。

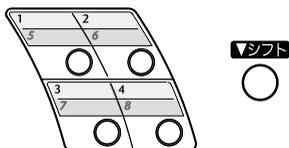
## ダイヤルボタンを使用する

以下に示すダイヤルボタンで相手のファクス番号を直接ダイヤルします。最も一般的な方法です。



## ワンタッチダイヤルを使用する

ワンタッチボタンを押すだけで、登録されているファクス番号にダイヤルします。ワンタッチダイヤルは8件登録できます。5～8に登録されているファクス番号にダイヤルするときは、を押しながらワンタッチボタンを押します。



## 短縮ダイヤルを使用する

を押し、を押した後、00～99の2桁の短縮番号を押すだけでダイヤル

できます。短縮ダイヤルには100件登録できます。

・使本  
目い書  
次方の

ハ操  
ネ作  
ル

備前ご  
の使  
準用

本前ご  
設の使  
定用  
基用

送フ  
信ァ  
ス

受フ  
信ァ  
ス

機フ  
能ァ  
応ク  
用ス

・レ  
リポ  
スト

コ  
ピ  
ー

お日  
手常  
入の  
れ

と困  
きっ  
には  
た

索用仕  
引語様  
集・

## 電話帳を使用する

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルに登録された名称を検索し、そのままダイヤルします。

液晶ディスプレイ上で名前だけで検索できます。

補足



- ワンタッチダイヤルの登録のしかたは **P. 81** を参照してください。
- 短縮ダイヤルの登録のしかたは **P. 84** を参照してください。
- グループダイヤルの登録にしかたは **P. 86** を参照してください。
- 電話帳の使い方は **P. 80** を参照してください。

## ● 同じ相手にもう一度送信する〔再ダイヤル〕

1

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットします。

2

再ダイヤル/  
ポーズ  
○ を押します。

最後にかけた番号が表示されます。

3

◇ファクス  
スタート  
● を押します。

補足



- 自動再ダイヤルについて
  - ・ 自動送信でファクス送信しようとして、相手が通話中などで送信できなかったときは自動的に再ダイヤルして送信します（原稿送信のときは、原稿をそのまま置いておいてください）。自動再ダイヤルは 30 秒間隔で 8 回繰り返します。
  - ・ 自動送信で再送信を繰り返す場合は相手先の電話番号を確認してください。
  - ・ 自動再ダイヤルを 8 回繰り返しても送信できなかったときは、送信を中止し、送信レポートが印刷されます。「ケツカ」の欄が「ハナシチュウ/アウトウナシ」であることを確認し、再度送信してください。
  - ・ 自動再ダイヤルは、自動送信時のみ有効な機能です。
  - ・ 送信した内容が相手先に届いても、本機が相手先ファクスからの受信が正しく行われたメッセージ信号を受信できなかった場合、通信エラーと処理され、自動的に再ダイヤルします。

## ● 電話帳を使って送信する

あらかじめ、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルやグループダイヤルに登録されている相手先名称を液晶ディスプレイ上で検索し、そのまま検索した相手にファクスを送信することができます。

1

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットします。

2

電話帳/  
短縮  
ダイヤル  
○ を押します。  
キャッチ

タンジク ダイヤル

3

探したい名前の最初の 1 文字を入力  
します。

エ

4

◀ ▶ で目的の名前を表示させます。

エイ ヨウ ダイ

5

相手先が表示されたら、 ◇ファクス  
スタート を押します。

### 補足



- 入力した最初の 1 文字を含む 50 音順、アルファベット順で一番最初の相手先名称が表示されます。

- 手順 3 で、目的の名前は  で登録番号順に表示させることもできます。

- 登録されている相手先名称の一覧（電話帳リスト）を印刷することができます。印刷のしかたは **P. 135** を参照してください。

- 文字入力のしかたについては **P. 38** を参照してください。

- ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルの登録のしかたについては **P. 81** **P. 84** **P. 86** を参照してください。

「エ」から始まる名前が登録されていた場合

エイ ヨウ ダイ

「エ」から始まる名前が登録されていない場合

オカモト

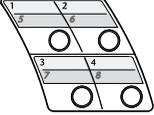
# 電話帳を作成する

## ● ワンタッチダイヤルを登録する

電話番号と相手先名称を、ワンタッチダイヤルの1～8（最大8件）に登録することができます。

**1**     を押し  
ます。

1. ワンタッチダイヤル

**2**  で登録する番号を選択  
します。

#01

- 例：01 に登録する場合
- すでにワンタッチダイヤルが登録されているときは、名前または電話番号が表示されます。

**3** 相手先の電話番号を入力して、  
 を押します。

ナマエ:

電話番号は、20桁まで登録できます。カッコを登録することはできません。

**4** 相手先の名前を入力して、 を  
押します。

ウケツケマシタ

ワンタッチボタンシテイ

- 名前は15文字まで登録できます。
- 続けて登録する場合は、手順2～5を繰り返します。

**5**  を押して操作は終了です。

### 補足

- ワンタッチダイヤルの5～8に登録するときは  を押したままワンタッチボタンを押してください。  
例：ワンタッチダイヤルの7に登録するときは  を押したまま3を押します。

・使  
目い  
書  
次  
方  
の

ハ  
操  
作  
ル

備  
前  
ご  
の  
使  
用  
準  
用

本  
前  
ご  
使  
用  
設  
定  
基  
用

送  
フ  
ア  
ク  
ス  
信  
ス

受  
フ  
ア  
ク  
ス  
信  
ス

機  
フ  
ア  
ク  
ス  
能  
能  
用  
用  
ス

・レ  
リ  
ポ  
ス  
ト

コ  
ピ  
ー

お  
日  
手  
常  
入  
れ  
の

と  
困  
き  
っ  
た  
は  
た

索  
用  
仕  
引  
語  
集  
・

## 補足



- ワンタッチダイヤルにファクス情報サービスの情報番号を登録する場合で、ダイヤル回線をお使いのときは、を押して、「\*」を入力してから番号を入力してください。
- 入力を間違えたときは、 を押して修正する文字までカーソルを移動し、正しい文字を上から入力します（上書き）。挿入はできませんので、途中の文字を入力し忘れたときは間違えた箇所までカーソルを移動し、それ以降の文字も入力し直してください。
- 文字の入力のしかたについては **P. 38** を参照してください。
- ワンタッチダイヤルを忘れてしまったときは、電話帳リストを印刷します。  
**P. 135** を参照してください。

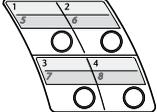


- ここで登録した内容は送付書に記述されますので、他人に知らせたくない場合は送付書を付けずに送信してください。
- 1つのワンタッチボタンには、ワンタッチダイヤルかグループダイヤルのどちらか一方しか登録できません。
- 電話番号を間違えて登録すると、自動再ダイヤル機能により、間違った相手を何度も呼び出すことになり、相手に迷惑をかけることとなりますので注意してください。新しく電話番号を登録した後、電話帳リスト **P. 135** を印刷して確認してください。

# ワンタッチダイヤルを変更する

**1**  <sup>カ ABC</sup> **2** <sup>サ DEF</sup> **3** <sup>ア</sup> **1** を押し  
ます。

1. ワンタッチ ダイヤル

**2**  で変更するワンタッチ  
ダイヤルを表示させます。  
・例：01 に登録する場合

#01:スズキ ケイコ



ヘンコウ 1. スル 2. シナイ

**3** <sup>ア</sup> **1** を押して、新しい電話番号を  
入力します。

\*05:052 000 0000

**4**  を押して、新しい相手先の名  
前を入力します。

ナマエ:ヤマダ ハナコ

**5**  を押します。  
・続けて変更するときは、手順 2～6 を繰り返  
します。

ワンタッチ シテイ

**6**  を押して操作は終了です。

**補足** ▶▶▶ ワンタッチダイヤルを削除するには  
● 手順 2 で <sup>ア</sup> **1** を押した後  を押し、 を押します。

・使  
本  
目  
い  
書  
次  
方  
の

パ  
操  
作  
ル

備  
前  
ご  
の  
使  
用  
準  
用

本  
前  
ご  
設  
の  
使  
用  
定  
基  
準

送  
フ  
ア  
ク  
ス

受  
フ  
ア  
ク  
ス

機  
の  
フ  
ア  
ク  
ス  
機  
能  
応  
用  
ス

・レ  
リ  
ポ  
ス  
ト

コ  
ピ  
ー

お  
日  
手  
常  
入  
れ  
の

と  
困  
き  
っ  
た  
は  
た

索  
用  
仕  
引  
語  
様  
集  
・

## ● 短縮ダイヤルを登録する

ワンタッチダイヤルとは別に、電話番号と相手先名称を、2桁の短縮番号00～99（最大100件）に登録することができます。

**1**  カ ABC  サ DEF  カ ABC  を押し  
ます。

**2. タンシュク ダイヤル**

**タンシュク ダイヤル? \***

**2** ダイヤルボタンで登録する短縮番号を入力します。  
00～99の中から選択します。

- ・例：05に登録する場合
- ・すでに短縮ダイヤルが登録されているときは、名前または電話番号が表示されます。

**3**  を押します。

**\*05:**

**4** 相手先の電話番号を入力して、  
 を押します。

- ・電話番号は20桁まで登録できます。カッコを登録することはできません。

**ナマエ:**

**ウケツケマシタ**

**5** 相手先の名前を入力して、 を  
押します。

- ・名前は15文字まで登録できます。
- ・続けて登録する場合は、手順2～5を繰り返します。

**タンシュク ダイヤル? \***

**6**  停止/終了 を押して操作は終了です。

### 補足

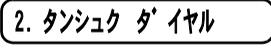
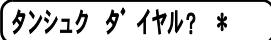
- 短縮ダイヤルにファクス情報サービスの情報番号を登録する場合、ダイヤル回線をお使いのときは、 を押してから番号を入力してください。
- スペースを入力するには、 を押します。
- 文字入力のしかたについては **P. 38** を参照してください。
- 短縮ダイヤルに登録してある電話番号は、 を押し、 を押した後、00～99の2桁の短縮番号を押すだけでダイヤルされます。
- 短縮ダイヤルを忘れてしまったときは、電話帳リストを印刷します。  
**P. 135** を参照してください。



■ 電話番号を間違っで登録すると、自動再ダイヤル機能により、間違っだ相手は何度も呼び出すことになり、相手に迷惑をかけることになりますので注意してください。新しく電話番号を登録した後、電話帳リスト P.135 を印刷して確認してください。

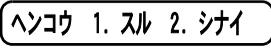
## ● 短縮ダイヤルを変更する

**1**  <sup>カ ABC</sup>  <sup>サ DEF</sup>  <sup>カ ABC</sup>  を押します。

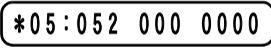
  


**2** ダイヤルボタンで登録する短縮ダイヤルを入力します。  
・例：05 を変更する場合

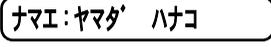
**3**  を押します。

  
↑↓  


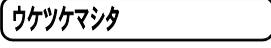
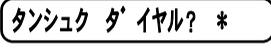
**4** <sup>7</sup>  を押して、新しい電話番号を入力します。



**5**  を押して、新しい相手先の名前を入力します。



**6**  を押します。  
・続けて変更するときは、手順 2～6 を繰り返します。

**7**  <sup>停止/終了</sup> を押して操作は終了です。

・使本  
目い書  
次方  
の

・操  
作  
ネ  
作  
ル

備前  
ご  
の  
使  
用  
準  
用

本前  
ご  
使  
用  
定  
基  
定

送フ  
信ア  
ク  
ス

受フ  
信ア  
ク  
ス

機フ  
能ア  
応ク  
用ス

・レ  
リ  
ポ  
ス  
ト

コ  
ピ  
ー

お日  
手常  
入れ  
の

と困  
き  
に  
は  
た

索用  
引仕  
語様  
集  
・

補足 短縮ダイヤルを削除するには



- 手順4で①を押した後、 停止/終了 を押し、 を押します。

## ● グループダイヤルを登録する

ワンタッチダイヤルと短縮ダイヤルに登録した複数の相手先を、1グループとしてワンタッチボタン、短縮ダイヤルに登録できます。グループダイヤルとして登録し、順次同報送信や順次ポーリング受信をするときに使うと便利です。



- グループダイヤルを登録する前にワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルを登録してください。ダイヤル番号をそのままグループダイヤルに登録することはできません。

1

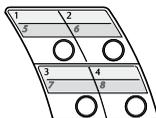


す。

3. グループダイヤル

2

ワンタッチダイヤルに登録する場合は



で登録する空き番号を

選択します。

タンシユクボ タンヲ オス



マタハ ワンタッチヲ オス

短縮ダイヤルに登録する場合は、

 を押したあとに2桁の番号を入力し、

 を押します。

グループダイヤル: G 01

3

ダイヤルボタンで1～6の任意のグループ番号を入力して、 を押します。

- すでに登録しているグループ番号を入力したときは「ヤリナオンテクダサイ」と表示されます。未登録のグループ番号を選んでください。

G 01:

**4**

グループに登録するワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを入力します。

G01:\*05#08

短縮ダイヤルを入力する場合は、



を押したあとに2桁の番号を入力します。

**5**

登録したいワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルをすべて入力したら、を押します。

ナマエ:

**6**

グループ名を入力して、を押します。

ウケツケマシタ

・グループ名は15文字まで登録できます。

**7**

を押して操作は終了です。

#### 補足



- 1つのグループダイヤルには、最大107件まで登録できます。
- グループダイヤルは6グループまで作ることができます。グループダイヤルを使用すると、複数の送信先を一度に指定することができます。
- 文字入力のしかたについては **P. 38** を参照してください。
- 取引先別、部署別等でグループ分けすると便利です。
- 登録したグループが分からなくなったときは電話帳リストを印刷します。

**P. 135** を参照してください。



- グループダイヤルとして使用されている短縮ダイヤルを、さらに別のグループダイヤルの中に登録することはできません。
- ひとつのワンタッチボタンには、ワンタッチダイヤルかグループダイヤルのどちらか一方しか登録できません。

・使本  
目い書  
次方  
のバ操  
ネ作  
ル備前ご  
の使  
準用本前ご  
設の使  
定使用  
基用送フ  
信ア  
ス受フ  
信ア  
ス機フ  
能ア  
応ア  
用ス・レ  
リポ  
ストコ  
ピ  
ーお日  
手常  
入  
れ  
のと困  
き  
っ  
た  
は  
た索用仕  
引語様  
集

## ● グループダイヤルを変更する

1

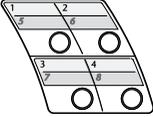
    を押し  
ます。

3. グループダイヤル

2

変更するグループダイヤルがワン  
タッチダイヤルに登録されている場

タンシュクホ' タンヲ オス

合は、 で変更するグ

マタハ ワンタッチヲ オス

ループダイヤルを表示します。

短縮ダイヤルに登録されている場合

は、 を押した後に2桁の短縮ダ

G01:\*5#09

イヤルを押し、 を押します。

ヘンコウ 1. スル 2. シナイ

3

 を押します。

G01:

4

グループに登録するワンタッチダイ  
ヤルまたは短縮ダイヤル番号を入れ

直し、 を押します。変更しな

い場合も、 を押して次の項目

に進みます。

5

グループ名を変更する場合は、新し

いグループ名を入力し、 を押し

ます。変更しない場合も  を押

します。

ナマエ:エイギ' ヨウ

ウケツケマシタ

# 6

 を押して操作は終了です。



グループダイヤルを削除するには

- 手順 2 で  を押した後、 を押し、 を押します。

・使  
目  
い  
書  
次  
方  
の

パ  
操  
作  
ル

備  
前  
ご  
の  
使  
用  
準  
用

本  
前  
ご  
設  
の  
使  
定  
基  
用

送  
フ  
ア  
ク  
ス  
信

受  
フ  
ア  
ク  
ス  
信

機  
の  
フ  
ア  
ク  
ス  
能  
応  
用

・レ  
リ  
ポ  
ス  
ト

コ  
ピ  
ー

お  
日  
手  
常  
入  
れ  
の

と  
困  
っ  
た  
時  
に  
は

索  
用  
仕  
引  
語  
様  
集  
・

# ファクスを便利に送信する

## ● 画質を設定する〔一時的に変更する〕

原稿の文字の大きさや写真の有無に合わせて、画質モードを設定して、ファクスを送信することができます。

ここで設定した画質モードは、ファクス送信が終わると設定が解除されます。

1

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットします。

2

○ファクス画質 を繰り返し押しして画質を選択します。

「ヒョウジュン」「ファイン」「S.ファイン」「シャシン」の中から選択します。何もしなければ2秒後に待機表示に戻ります。

ヒョウジュン

ファイン

3

相手先のファクス番号を入力して、

 ◇ファクススタート を押します。

2秒間、設定した画質が表示されます。

ファイン

### 補足



- お買い上げ時は、画質モードは「ヒョウジュン」に設定されています。
  - ・ ヒョウジュン（標準モード）：大きくはっきり見える文字のとき
  - ・ ファイン（ファインモード）：小さな文字のとき
  - ・ S.ファイン（スーパーファインモード）：新聞のように細かい文字のとき
  - ・ シャシン（写真モード）：写真を含む原稿のとき
- ファイン、スーパーファイン、写真モードで送ると、標準モードに比べて送信時間が長くなります。
- 写真モードの送信で相手機が標準モードしかない場合は、画質が劣化します。

## ● 画質を設定する〔設定内容を保持する〕

原稿の文字の大きさや写真の有無に合わせて、画質モードを設定して、ファクスを送信することができます。

ここで設定した画質モードは、次に変更するまで有効です。

**1**

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットします。

**2**

    を押しま

2. ガ' シツモード'

す。

**3**

 で画質を選択します。

ヒョウジュン

「ヒョウジュン」「ファイン」「S.ファイン」「シャシ」の中から選択します。

**4**

 を押します。

ウケツケマシタ

**5**

他の設定を続けるときは  を、

ホカノ セツテイ?

終了するには  を押します。

1. スル 2. シナイ

**6**

相手先のファクス番号を入力して、 を押します。

補足



- お買い上げ時は「ヒョウジュン」に設定されています。

・使本  
目い書  
次方の

バ操  
ネ作  
ル

備前ご  
の使  
準用

本前ご  
設の使  
定使用  
基用

送フ  
信ア  
クク  
ス

受フ  
信ア  
クク  
ス

機フ  
能ア  
応ク  
用ス

・レ  
リポ  
スト  
ト

コ  
ピ  
ー

お日  
手常  
入れ  
の

と困  
きっ  
には  
た

索用仕  
引語様  
集・

## ● 原稿濃度を設定する

ファクス送信するときの原稿濃度を設定します。

1

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットします。

2

    を押し

す。

1. ゲンコウ ノウド

3

 で原稿濃度を選択します。

「フツウ」「ウスク」「コク」の中から選択します。

ゲンコウ ノウド : フツウ

4

 を押します。

ウケツケマシタ

5

他の設定を続けるときは  を、

終了するには  を押します。

ホカノ セツテイ?



1. スル 2. シナイ

6

相手先のファクス番号を入力して、 ◇ファクススタート を押します。

### 補足



- お買い上げ時は「フツウ」に設定されています。
- 原稿濃度は、以下の3種類の中から選択します。
  - ・ フツウ : 普通の文字の原稿が多いときに設定します。
  - ・ ウスク : 濃い色の原稿が多い場合に設定します。
  - ・ コク : えんぴつ書きなどの薄い文字を使った原稿が多い場合に設定します。
- ファクス送信されたあと、原稿濃度の設定は自動的に「フツウ」に戻ります。
- 原稿濃度を濃く設定すると全体に黒っぽくなる場合があります。相手先から「原稿が読みにくい」と言われたら調整してみてください。

# ● 送付書を付けて送信する

相手先の名前、電話番号、発信元データや通信日時などが記載された送付書を、原稿と一緒に送信することができます。

1

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットします。

2

    を押し

8. ソウフシヨ

ます。

3

 で送付書の設定を選択し、

コンカイノミ

 を押します。

- ・「ON」「OFF」「コンカイノミ」「プリントサンプル」の中から選択します。
- ・「プリントサンプル」を選んだ場合：

 を押して  スタート を押します。

- ・「ON」を選んだ場合：手順5へ進んでください。
- ・「OFF」を選んだ場合：手順7へ進んでください。
- ・「コンカイノミ」を選んだ場合：手順4へ進んでください。

4

 で「ON」か「OFF」を選択し、

 を押します。

- ・「OFF」を選んだ場合：手順7へ進みます。

5

 でコメントを選択し、 を押します。

2. オデ' ワク' クダ' サイ

6

送信枚数を入力し、 を押し

マイルウ? : 00

ます。

ウケツケマシタ

- ・「コンカイノミ」を選んだときのみ、送信枚数入力表示が出ます。

☞ 次ページへ続く

**7**

他の設定を続けるときは

<sup>ア</sup> ① を、終了するには <sup>カ ABC</sup> ② を

押します。

ホカノ セッテイ?



1. スル 2. シナイ

**8**

相手先のファクス番号を入力し、

 を押します。

### 補足



- 手順 3 では以下の 4 つの中から選んでください。
  - ・「ON」：毎回送付書をつける
  - ・「OFF」：毎回送付書をつけない
  - ・「コンカイノミ」：今回のみ送付書をつけるかつけないかを選択
  - ・「プリントサンプル」：プリントサンプルを出力する（送付書の書式を確認する場合）
- 手順 5 での送付書のコメントは下記の 6 種類の中から選べます。
  1. (コメント ナシ)
  2. オデンワ クダサイ
  3. シキュウ
  4. シンテン
  5. (オリジナル コメント)
  6. (オリジナル コメント)

2 種類のオリジナル コメントが登録できます。オリジナル コメントの登録のしかたは **P. 95** を参照してください。
- 送付書送信を「ON」に設定したときには、送信枚数を設定できませんので、送付書には印刷されません。また、選んだコメントは、すべての送付書に印刷されます。
- 送付書の、「TO:」の名前はあらかじめワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルなどで登録されていないと表示されません。また順次同報送信の場合にはこの欄はありません。 **P. 84** **P. 96**



■ 発信元データ（ファクス番号、電話番号、名前）を登録しないと「送付書送信の設定」ができません。 **P. 36** を参照してください。

# ● 送付書のオリジナルコメントを登録する

送付書のコメント欄に記載するオリジナルコメントを作成し、登録することができます。

**1**     を押し  
ます。

9. ソフショ コメント

**2**   でコメントを登録する箇所を  
選び、 を押し  
ます。

6.

コメントは5か6に登録できます。

**3** コメントを入力し、 を押し  
ます。

ウケツケマシタ

**4** 他の設定を続けるときは

 を、終了するには  を  
押し  
ます。

ホカノ セツテイ?

↑ ↓

1. スル 2. シナイ

## 補足

- オリジナルコメント5または6を入れて送付書を送りたいときは、**P. 93** の手順5で、コメント5または6を選択することを忘れないでください。
- コメントは27文字まで入力できます。文字の入力のしかたについては **P. 38** を参照してください。

・使  
目い  
書  
次  
方  
の

ハ  
操  
作  
ル

備  
前  
ご  
の  
使  
用  
準  
用

本  
前  
ご  
設  
定  
の  
使  
用  
基  
準

送  
信  
ス

受  
信  
ス

機  
能  
の  
使  
用

・レ  
リ  
ポ  
ス  
ト

コ  
ピ  
ー

お  
日  
常  
入  
れ  
の

と  
困  
き  
っ  
た  
は  
た

索  
用  
仕  
引  
語  
集  
・

## ● 同じ原稿を数ヶ所に送信する〔順次同報送信〕

同じ原稿を、複数の送信先を設定して一度に送信することができます。送信先は、ダイヤルボタンで直接入力するか、または、あらかじめ登録されているワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルから指定します（ダイヤルボタンで最大 50ヶ所、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル・グループダイヤルと合わせて最大 158ヶ所まで指定できます）。

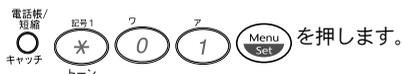
1

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットします。

2

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤル、または電話帳から検索するか、またはダイヤルボタンによる直接入力で、1 件目の送信先を選択します。

・例：短縮ダイヤルから指定する（01 番を指定するとき）



3

Menu Set を押します。

（ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤル、または電話帳から検索したときは液晶ディスプレイに送信先が表示されてから Menu Set を押します。）

4

液晶ディスプレイに右のように表示されてから 2 件目の送信先を手順 2 のように選択します。

ダイヤル シテクダサイ



ファクススタートヲ オス

5

Menu Set を押します。

（ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤル、または電話帳から検索したときは液晶ディスプレイに送信先が表示されてから Menu Set を押します。）

6

すべての送信先を入力して、 を押します。

7

原稿の読み込みが開始され、指定した送信先に送信が開始されます。すべての送信が終了すると、自動的に同報送信レポートが印刷され、待機状態に戻ります。

同報送信レポートを確認し、「エラー」などで送られていない送信先にもう一度送信してください。

### 補足



- グループ送信をするためには、あらかじめグループダイヤルの登録が必要です。詳細は **P. 86** を参照してください。
- 送信途中でキャンセルするには を押してください。液晶ディスプレイに送信先をキャンセルするかどうかを確認する画面が表示されるので、液晶ディスプレイの表示に従ってください。すべての送信先をキャンセルしたい場合は で送信待ち確認に移行してからジョブを解除してください。 **P. 102**
- 送信先を間違えたときは、 を押して最初から入力直してください。
- 送信できる枚数はメモリーの残量によっても制限されます。
- 送信先を重複して指定したときは、自動的に重複している部分が削除されます。
- 原稿読み込み中に「メモリーがいっぱい」と表示されたら を押して中止するか を押して、読み込まれた分だけ送信してください。

## ● 原稿を直接送信する〔リアルタイム送信〕

すぐに相手先にダイヤルし、原稿を読み取りながら送信します。送信状況を確認しながら送信できます。

1

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットします。

2



す。

6. リアルタイム ソウシ

3

で送信のタイミングを選択します。

「ON」、「OFF」、「コンカイノミ」の中から選択します。「コンカイノミ」を選択したときは を押して手順4へ進みます。「ON」または「OFF」を選択したときは手順5へ進みます。

リアルタイム ソウシ: ON

☞ 次ページへ続く

**4**

で今回のみ「ON」か「OFF」

ウケツケマシタ

を選択して  を押します。**5**他の設定を続けるときは  を、

ホカノ セッテイ?

終了するには  を押します。

1. スル 2. シナイ

**6**相手先のファクス番号を入力して、 を押します。

## 補足



- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- 本機は通常、メモリー送信をしています。リアルタイム送信を「ON」に設定すると、原稿はメモリーに蓄積されません。リアルタイム送信で指定できる相手先は1件です。

## ● 海外へ送信する〔海外送信モード〕

海外へ送信するときは、回線の状況などによって正常に送信できないことがあります。このようなときには海外送信モードを「ON」に設定してから送信を行うと、通信エラーが少なくなります。

1

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットします。

2

    を押し

0. カイガ' イソウシン モード'

す。

3

 で「ON」を選択します。

カイガ' イソウシン:ON

4

 を押し

ウケツケマシタ

5

他の設定を続けるときは  を、

ホカノ セツテイ?

終了するには  を押し

1. スル 2. シナイ

6

相手先のファクス番号を入力して、 ◇ファクススタート を押し

### 補足



- 海外へ送信するとき、相手のファクシミリとつながるまでに時間がかかるために送信できないことがあります。その場合は、手動送信で相手の「ピー」という信号音を聞いてから、 ◇ファクススタート を押して送信してください。
- 1回の送信が終了すると、海外送信モードの設定は、自動的に「OFF」に戻ります。
- 海外送信モードを「ON」にしたときは、通信速度が遅くなって送信時間がかかり、電話料金が高くなる場合があります。

・使  
目  
い  
書  
次  
方  
の

バ  
操  
作  
ル

備  
前  
ご  
の  
使  
用  
準  
用

本  
前  
ご  
の  
使  
用  
定  
基  
用

送  
フ  
ア  
ク  
ス

受  
フ  
ア  
ク  
ス

機  
の  
フ  
ア  
ク  
ス  
能  
応  
用  
ス

・レ  
リ  
ポ  
ス  
ト

コ  
ピ  
ー

お  
日  
手  
常  
入  
れ  
の

と  
困  
き  
っ  
は  
た

索  
用  
仕  
引  
語  
集  
・

## 指定時刻に送信する〔タイマー送信〕

24 時間以内の指定した時刻に、原稿を自動的に送信します。

電話会社が提供しているサービスの時間帯に指定して送ることで、通信料を節約できます。

1

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットします。

2

    を押しま

4. タイマー ソウシ

す。

3

送信する時刻を 24 時間制で入力し  
ます

シテイ ジ ヨク=15:05

・例：午後 3 時 5 分の場合は「15:05」

4

 を押します。

1. ゲンコウ 2. メモリー

5

 (原稿送信) または  (メ  
モリー送信) を選択します。

ウケツケマシタ

6

他の設定を続けるときは  を、  
終了するには  を押します。

ホカノ セツテイ?

1. スル 2. シナイ

7

相手先のファクス番号を入力して、 を押します。

### 補足



- タイマー送信が終了すると、自動的にタイマー通信レポートが印刷され、送信結果を知らせてくれます。
- メモリーに読み込める原稿枚数は原稿の内容に影響されます。

## ● 送信する時間を固定する

タイマー送信 P.100 では、タイマー送信を行う時刻を毎回設定する必要があります。タイマー送信時間機能を利用して、送信する時刻を一度設定しておくことで、同じ時刻にファクスを送信することができるため、毎回入力する手間が省けます。

- 1**     を押し  
ます。  
**3. タイマー ソウジン ジ カン**
- 2** 送信する時刻を 24 時間制で入力し  
ます  
・例：午後 3 時 5 分の場合は「15:05」  
**シテイ ジ コク=15:05**
- 3**  を押し  
ます。  
**ウケツケマシタ**
- 4**  を押し  
て操作は終了です。

## ● メモリー内の文書を同じ相手に一括送信する〔取りまとめ送信〕

メモリーに読み込まれているタイマー送信用のメッセージの中に、相手先と送信するタイマー時間が同じものがある場合、1 回の通信でタイマー設定された時間に送信することができます。

- 1**     を押し  
ます。  
**5. トリマトメ ソウジン**
- 2**  で「ON」を  
選択します。  
**トリマトメ ソウジン:ON**
- 3**  を押し  
ます。  
**ウケツケマシタ**
- 4**  を押し  
て操作は終了です。

・使  
本  
目  
い  
書  
次  
方  
の

バ  
操  
ネ  
作  
ル

備  
前  
ご  
の  
使  
用  
準  
用

本  
前  
ご  
設  
定  
基  
用

送  
フ  
ア  
ク  
ス

受  
フ  
ア  
ク  
ス

機  
能  
フ  
ア  
ク  
ス  
用  
ス

・レ  
リ  
ポ  
ス  
ト

コ  
ピ  
ー

お  
日  
手  
常  
入  
れ  
の

と  
困  
き  
っ  
た  
は  
た

索  
用  
仕  
引  
語  
集  
・

## ● 送信待ち確認・送信待ちファクス解除

メモリー送金の待ち状況を確認できます。

メモリー送信、タイマー送信などのジョブを解除します。

1



を押します。

4. ツウシン マチ カクニン

2



で解除する内容を選択します。

確認のみのときは  を押します。

3



を押します。

#001 12:34 スズキ



カイジ ヨ 1. スル 2. シナイ

4



を押します。

ウケツケマシタ

5



を押して操作は終了です。

補足



- 送信待ちのファクスがないときには「セッテイガ サレタイムセン」と表示されます。

# 5章

## ファクス受信

■ ファクスを受信する.....	104
メモリー代行受信について .....	104
手動でファクスを受信する .....	105
呼出回数を設定する .....	106
再呼出回数を設定する .....	107
親切受信で受信する .....	108
外付電話機からファクスを受信させる〔リモート起動〕 .....	109
リモート起動設定のしかた .....	110
自動的に縮小受信する .....	111
着信履歴を確認する .....	112

・使本  
目い書  
次方の

バ操  
ネ作  
ル

備前ご  
の使  
準用

本前ご  
設の使  
定基用

送フ  
信ァ  
ク  
ス

受フ  
信ァ  
ク  
ス

機フ  
能ァ  
応ク  
用ス

・レ  
リポ  
スト

コ  
ピ  
ー

お日  
手常  
入れ  
の

と困  
っ  
はた

索用仕  
引語様  
集・

## ファクスを受信する

### ● メモリー代行受信について

以下の状況になった場合、本機は、送られてきたファクスを自動的にメモリーに記憶します（メモリー代行受信）。

- 記録紙がなくなったとき（キロクシカクニン）
- トナーがなくなったとき（トナーガ ナクナリマシタ）
- 記録紙がつまったとき（キロクシカクニン）
- 記録紙のサイズを間違っでセットしたとき（キロクシサイズヲカクニン）

液晶ディスプレイの指示に従って処置をすると、メモリーが代行受信したファクスを自動的に印刷します。印刷されたファクスはメモリーから消去されます。

**注意**

■ メモリーがいっぱいになると、それ以降はメモリー代行受信はできません。

## ● 手動でファクスを受信する

呼出ベルが鳴っている間に受話器を取り、ファクスを受信したいときの操作です。

1

呼出ベルが鳴ったら、受話器を取ります。

2

ファクスに切り替えることを相手に伝えて  ◇ファクススタート を押します。

3

受話器を戻します。

### 補足



- 電話に出なかったときの動作は、受信モードの設定によって異なります。受信モードについては **P. 40** を参照し、用途に合ったモードを設定してください。
- 受話器を取ったとき「ポーポー」という音が聞こえたら相手がファクスを自動送信しているときです。  ◇ファクススタート を押してください。親切受信を「ON」に設定している場合は、そのまま約7秒間待つと自動でファクスを受信できます。
- 回線の状態により「ポーポー」という音が聞こえても、ファクスに切り替わらないときがあります。そのときは  ◇ファクススタート を押してください。
- 親切受信を「ON」に設定している場合は、原稿をセットしたままで受信することができます。
- 相手が自動送信のファクスのときは、呼出ベル（7～10回）が鳴っている間に相手が電話を切ってしまう場合があります。このようなときは呼出回数を6回以下に設定してください。 **P. 106**
- 相手が手動送信のファクスのときは受話器を取っても無音のときがありますので、相手が電話でないことを口頭で確認して  ◇ファクススタート を押してください。
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットしてあると送信されてしまうため、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていないことを確認してください。

・使本  
目い書  
次方  
の

パ操  
ネ作  
ル

備前ご  
の使  
準用

本前ご  
設の使  
定用  
基用

送フ  
信ァ  
スクス

受フ  
信ァ  
スクス

機フ  
能ァ  
応ク  
用ス

・レ  
リポ  
スト  
ト

コ  
ピ  
ー

お日  
手常  
入  
れ  
の

と困  
き  
っ  
は  
た

索用仕  
引語様  
集  
・

## ● 呼出回数を設定する

「ファクス専用モード」と「自動切替モード」のときに、自動受信するまでの呼び出し回数を設定します。

- 1**     を押し  
ます。 1. ヨビ'ダ'シ カイスウ
- 2**   で呼出回数を選択します。  
0～10回から選択します。 カイスウ: 10
- 3**  を押し  
ます。 ウケツケマシタ
- 4**  停止/終了 を押して操作は終了です。

### 補足



- お買い上げ時は「4回」に設定されています。
- 呼出回数は、「0回」に設定すると呼出ベルを鳴らさずに自動受信（無鳴動受信）することができます。ファクスを早く着信したいときは呼出回数を「0回」か「1回」に設定してください。
- 外付電話機を接続している場合、本機の呼出回数を「0回」に設定しても外付電話機のベルが1～2回鳴ることがあります。
- 呼出回数を9回以上に設定すると、特定の相手からのファクスが自動で受信できない場合があります。呼出回数を8回未満に設定することをお勧めします。
- 「ファクス専用モード」や「自動切替モード」のとき、外付電話機の呼出ベルも、ここで設定された回数だけ呼出ベルが鳴ります。
- 呼出ベルの音量を設定するには **P. 62** を参照してください。

## ● 再呼出回数を設定する

「自動切替モード」のときに電話がかかってくると、呼出ベルのあとに、「トゥレットゥルツ」と再呼出ベルが鳴ります。このベルの鳴る回数を設定します。

**1**     を押し  
ます。 2. サイ ヨビ' ダ' シ カイスウ

**2**  で再呼出回数を選択します。 カイスウ: 08  
「8」「10」「15」「20」の中から選択します。

**3**  を押し  
ます。 ウケツケマシタ

**4**  を押し  
て操作は終了です。

### 補足



- お買い上げ時は「8」に設定されています。
- 本機は、設定した回数だけ再呼出ベルを鳴らしたあと、自動的に電話を切りま  
す。

・使  
目い  
書  
次方  
の

ハ  
操  
作  
ル

備  
前  
ご  
の  
使  
用  
準  
用

本  
前  
ご  
使  
用  
基  
定

送  
フ  
ァ  
ク  
ス

受  
フ  
ァ  
ク  
ス

機  
能  
フ  
ァ  
ク  
ス  
使  
用

・レ  
リ  
ポ  
ス  
ト

コ  
ピ  
ー

お  
日  
常  
入  
れ  
の

と  
困  
っ  
た  
は  
た

索  
用  
仕  
引  
語  
集  
・

## ● 親切受信で受信する

相手から自動送信でファクスが送られてきた場合、本機が自動受信を開始する前に外付電話機をとってしまったときでも、何も操作しなくてもファクスを受信できる便利な機能です。

-     を押し  
ます。  
**3. シンセツ ジュシ**
-  で選択します。  
**シンセツ ジュシ: ON**
-  を押し  
ます。  
**ウケツケマシタ**
-  停止/終了 を押して操作は終了です。

### 補足



- お買い上げ時は、「OFF」に設定してあります。
- 受話器を取って「ポー、ポー」という音が聞こえた場合は、約7秒間待つと自動的にファクス受信を始めます。液晶ディスプレイに「ジュシチュウ」と表示されたら受話器を戻します。
- 親切受信を「ON」に設定しておく、ファクスを自動で受信します。「OFF」に設定している場合は、受話器から「ポーポー」という音が聞こえたら相手がファクスですので、 ファクススタート を押して受信します。
- 回線の状態により「ポーポー」という音が聞こえても、ファクスに切り替わらないときがあります。そのときは  ファクススタート を押してください。
- 通話中の声や外部からの音をファクスの「ポーポー」という音と間違えて、突然ファクスに切り替わってしまうことがあるときは、親切受信の設定を「OFF」に設定してください。
- 親切受信の設定が「OFF」に設定してある場合でも、外付電話機から操作をしてリモート起動でファクス受信を開始させることができます。**P. 109**

## ● 外付電話機からファクスを受信させる〔リモート起動〕

親切受信機能 **P.103** を ON に設定しているときは、外付受話器をとって「ポーポー」という音が聞こえた後、そのまま待てばファクスを受信します。親切受信がうまくはたらかないか、親切受信の設定が「OFF」になっている場合などに本機に接続されている外付電話機から操作をしてファクス起動を開始させることができます。

**1**

外付電話機の受話器を持ったまま、ダイヤルボタンでリモート起動番号「# 51」を入力します。受話器は約 5 秒後に戻します。

**2**

本機がファクス受信を始めます。

補足



- リモート起動番号とは、本機の外付電話端子 (EXT.) に接続されている外付電話機から、本機をリモート起動させるときに使用するものです。お買い上げ時は「#51」に設定されています。
- この機能は、電話機の種類や地域の諸条件により使用できないことがあります。



■ ダイヤル回線 (20PPS、10PPS) に設定してある場合でリモート起動を行うときは、外付電話機のトーンボタンを押してトーン (プッシュ) 信号に切り替えてから、リモート番号を入力します。

・使  
目  
い  
書  
次  
方  
の

パ  
操  
作  
ル

備  
前  
ご  
の  
使  
用  
準  
用

本  
前  
ご  
設  
定  
の  
使  
用  
基  
用

送  
フ  
ア  
ク  
ス  
信  
ス

受  
フ  
ア  
ク  
ス  
信  
ス

機  
の  
フ  
ア  
ク  
ス  
機  
能  
使  
用  
ス

・レ  
リ  
ポ  
ス  
ト

コ  
ピ  
ー

お  
日  
手  
常  
入  
れ  
の

と  
困  
き  
っ  
た  
は  
た

索  
用  
仕  
引  
語  
集  
・

## ● リモート起動設定のしかた

リモート受信を使用するときは、リモート受信設定を「ON」にする必要があります。

また、リモート起動番号は自分の好きな番号に変更することができます。下記の手順で設定してください。

**1**     を押し  
ます。

4. リモート バンコウ

**2**  で「ON」を選択します。

リモート キトウ:ON

**3**  を押し  
ます。

リモート受信番号が表示されます。リモート受信番号（3桁）を変更するときは、ダイヤルボタンで上書きします。「#」記号は変更できません。

キトウ バンコウ:#51

**4**  を押し  
ます。

ウケツケマシタ

**5**  停止/終了 を押して操作は終了です。

### 補足

- お買い上げ時は「#51」に設定されています。
- この機能は、電話機の種類や地域の諸条件により使用できないことがあります。
- リモート起動番号とは、本機の外付電話端子（EXT.）に接続されている外付電話機から、本機をリモート起動させるときに使用するものです。

## ● 自動的に縮小受信する

A4 の長さを超える原稿が送信されてきたときに、自動的に A4 サイズの記録紙に収まるように縮小して印刷する機能です。

- 1**     を押し  
ます。  
カ ABC    ア    ナ JKL  
**5. ジド'ウ シュクショウ**
- 2**   で選択します。  
**ジド'ウ シュクショウ:ON**
- 3**  を押し  
ます。  
**ウケツケマシタ**
- 4**  停止/終了 を押し  
て操作は終了です。

### 補足



- お買い上げ時は「ON」に設定されています。
- 送信原稿の長さに応じて自動的に縮小率を決め、約 355mm までの原稿を 1 枚に縮小受信します。約 355mm を超えた原稿は縮小せずに 2 枚に分けて受信します。
- 自動縮小受信を「OFF」に設定したときに、受信のたびに白紙がもう 1 枚排出されることがあります。そのときは、自動縮小受信を「ON」に設定してください。
- 原稿の長さは目安です。回線の状況によって変わります。
- メモリー残量が少ないときや、原稿が複雑な場合は自動縮小されない場合があります。
- 自動縮小受信は、異なる原稿（A3 や B4 など）サイズを縮小受信する機能ではありません。

・使  
目い  
書  
次  
方  
の

ハ  
操  
作  
ル

備  
前  
ご  
の  
使  
用  
準  
用

本  
前  
ご  
設  
定  
使  
用  
基  
準

送  
フ  
ァ  
ク  
ス

受  
フ  
ァ  
ク  
ス

機  
能  
フ  
ァ  
ク  
ス  
用  
ス

・レ  
リ  
ポ  
ス  
ト

コ  
ピ  
ー

お  
日  
手  
常  
入  
れ  
の

と  
困  
き  
っ  
た  
は  
た

索  
用  
仕  
引  
語  
集  
・

## ● 着信履歴を確認する

着信履歴の最新 30 件を液晶ディスプレイで確認できます。ナンバー・ディスプレイを「ON」**P.70** に設定してある場合にこの機能は使用できます。

**1**    を押します。 **5. チャクシン リレキ**

**2**   でスクロールして確認できます。 **01) 12345678**

- 例：01 番目の着信履歴の場合
- 着信履歴に残った番号がすでにワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録されている場合は、登録した名前が表示されます。

**3**  を押して操作は終了です。

### 補足

- 着信履歴リストを印刷するときは、「着信履歴リストを印刷する」**P.136** を参照してください。
- 「ナンバー・ディスプレイサービス」の契約が必要です。

# 6章

## ファクスの応用機能

■ 相手の操作で原稿を送信する	114
標準ポーリング送信する	114
機密ポーリング送信の設定	115
■ 本機の操作で相手の原稿を受信する	117
標準ポーリング受信する	117
順次ポーリング受信する	118
機密ポーリング受信する	119
時刻指定ポーリングの設定〔タイマーポーリング受信〕	120
■ メモリー受信を設定する	121
メモリー受信を設定する	121
メモリーに入ったファクスを出力する	122
■ 電話呼び出し機能とファクス転送	123
電話呼び出し機能とファクス転送について	123
ファクス転送の流れ	123
ファクス転送の設定を行う	124
電話呼び出し機能の流れ	125
電話呼び出し機能の設定を行う	125
■ 外出先から本機を操作する：リモコンアクセス	127
暗証番号を設定する	127
リモコンアクセスをする	128
リモコンアクセスで設定できる機能〔コマンド一覧〕	130

・使本  
目い書  
次方  
の

ハ操  
ネ作  
ル

備前ご  
の使  
準用

本前ご  
設の使  
定基用

送ファ  
信クス

受ファ  
信クス

機ファ  
能クス  
の  
応  
用

・レ  
リポ  
スト

コ  
ピ  
ー

お日  
手常  
入  
れ  
の

と困  
き  
つ  
は  
た

索用仕  
引語様  
集  
・

# 相手の操作で原稿を送信する

## ● 標準ポーリング送信する

受信側のファクシミリからの操作で、送信側のファクシミリのメモリーに入っている原稿を自動的に送信させることをポーリング通信といいます。

本機が送信側のときは「ポーリング送信」といいます。

1

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットします。

2

    を押し

7. ポーリング ソウシ

す。

3

 で「ヒョウジュン」を選択して

1. ゲソコウ 2. メモリー

 を押します。

4

（原稿送信）または （メモリー送信）を選択します。

ウケツケマシタ

5

他の設定を続けるときは  を、

ホカノ セッテイ?

終了するには  を押します。

1. スル 2. シナイ

6

  を押すとポーリング送信待機状態になります。メモリー送信の場合は、原稿がメモリーに読み込まれます。

ファクススタートヲ オス



- 相手先のファクシミリにポーリング機能がないときなどは、この機能が利用できないことがあります。
- ポーリング送信が終了すると、自動的にポーリングレポートが印刷され、送信結果を知らせてくれます。
- ポーリング通信の場合、通話料は受信側の負担となります。
- ポーリング送信を解除したいときは、**P. 102**の「送信待ち確認・送信待ちファクス解除」で解除してください。
- ポーリング送信の内容は、原稿送信のときは1回、メモリー送信のときは何回でも送信できます。

## ● 機密ポーリング送信の設定

受信側と送信側が同じ4桁のパスワードを使用して、ポーリング送信待機中の原稿が第三者に渡らないようにする「機密ポーリング送信」を行うことができます。

機密ポーリング送信の設定をする前に、受信側と4桁のパスワードを決めておく必要があります。

1

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットします。

2

    を押し  
す。

7. ポーリング ソウシ

3

 で「キミツ」を選択して  を  
押します。

ポーリング : XXXX

4

4桁のパスワードを入力して  
 を押します。

1. ゲンコウ 2. メモリー

5

（原稿送信）または （メモリー送信）を選択します。

ウケツケマシタ

**6**

他の設定を続けるときは<sup>ア</sup>①を、  
終了するには<sup>カ ABC</sup>②を押します。

ホカノ セッテイ?



1. スル 2. シナイ

**7**

 <sup>◇ファクス  
スタート</sup>を押すとポーリング送信待  
機状態になります。メモリー送信の  
場合は、原稿がメモリーに読み込ま  
れます。

ファクススタートヲ オス

補足



- 相手がブラザー製のファクシミリの場合に、機密ポーリング通信が行えます。ただし、相手先のファクシミリにポーリング機能がないときなどは、この機能が利用できないことがあります。
- ポーリング送信が終了すると、自動的に「ヒョウジュン」に戻ります。

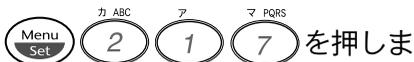
# 本機の操作で相手の原稿を受信する

## ● 標準ポーリング受信する

受信側のファクシミリからの操作で、送信側のファクシミリにセットしてある原稿を自動的に送信させることを、ポーリング通信といいます。

本機が受信側のときは「ポーリング受信」といいます。

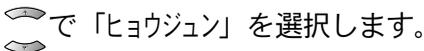
1



7. ポーリング' ジュシ' ョン

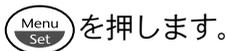
す。

2



ポ'ーリン'グ' :ヒョウジ' ャン

3



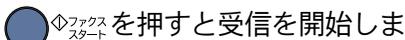
ダ' イヤル' シテクダ' サイ



ファクススタートヲ オス

4

相手先のファクス番号を入力し



ウケツケマシタ

す。

### 補足



- ポーリング方式のファクス情報サービスも一種のポーリング受信です。
- 相手先のファクシミリがポーリング送信の準備ができていないと受信できません。

・使  
目い  
書  
次  
方  
の

ハ  
操  
作  
ル

備  
前  
ご  
の  
使  
用  
準  
準

本  
前  
ご  
設  
定  
の  
使  
用  
基  
定  
基  
準

送  
フ  
ア  
ク  
ス  
信  
信

受  
フ  
ア  
ク  
ス  
信  
信

機  
能  
の  
フ  
ア  
ク  
ス  
応  
用

・レ  
ポ  
ス  
ト

コ  
ピ  
ー

お  
日  
手  
常  
入  
れ  
の

と  
困  
き  
っ  
た  
は  
た

索  
用  
仕  
引  
語  
様  
集  
・

## ● 順次ポーリング受信する

1 回の操作で複数の送信側ファクシミリのメモリーに保存されている原稿を自動的に送信させることを、順次ポーリング受信といいます。

**1**     を押し  
す。

7. ポーリング ジュシ

**2**  で「ヒョウジュン」を選択します。

ポーリング : ヒョウジュン

**3**  を押し  
ます。

ダイヤル シテクダサイ

↑↓

ファクススタートヲ オス

**4** ポーリング受信する相手先のファクス番号をワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤル、または電話帳から検索するか、またはダイヤルボタンによる直接入力で、1 件目の送信先を選択します。

・例：短縮ダイヤルから指定する（01 番を指定するとき）

    を押し  
ます。

**5**  を押し  
ます。

(ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤル、または電話帳から検索したときは液晶ディスプレイに送信先が表示されてから  を押し  
ます。)

**6** 液晶ディスプレイに右のように表示されてから 2 件目の送信先を手順 2 のように選択します。

ダイヤル シテクダサイ

↑↓

ファクススタートヲ オス

**7**  を押し  
ます。

(ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤル、または電話帳から検索したときは液晶ディスプレイに送信先が表示されてから  を押し  
ます。)

**8**

すべての送信先を入力して、

 ◇ファクススタート を押します。

順次受信を開始します。

ウケツケマシタ

・使本  
目い書  
次方  
のバ操  
ネ作  
ル備前ご  
の使  
準用本前ご  
設の使  
定基用送フ  
信ア  
クク  
ス受フ  
信ア  
クク  
ス機フ  
能ア  
のク  
応ス  
用・レ  
リポ  
ストコ  
ピ  
ーお日  
手常  
入の  
れと困  
きつ  
には  
た索用仕  
引語様  
集・

## 機密ポーリング受信する

受信側と送信側が同じ 4 桁のパスワードを使用して「機密ポーリング受信」を行うことができます。

機密ポーリング受信の設定をする前に、送信側と 4 桁のパスワードを決めておく必要があります。送信側とパスワードが一致したときだけ受信できます。

**1** カ ABC **2** ア **1** マ PQRS **7** を押し  
ます。

7. ポーリング ジュシ

**2** で「キミツ」を選択します。

ポーリング : キミツ

**3** を押します。

ポーリング : XXXX

**4**

4 桁のパスワードを入力して

 を押します。

ダイヤル シテクダサイ



ファクススタートヲ オス

**5**

相手先のファクス番号を入力し

 ◇ファクススタート を押すと受信を開始しま  
す。

ウケツケマシタ

補足



- 相手がブラザー製のファクシミリの場合に、機密ポーリング通信が行えます。ただし、相手先のファクシミリがポーリング送信の準備ができていないと受信できません。
- 本機に原稿がセットされていないことを確認してから操作してください。
- 受話器を置いたまま操作できます。

## ● 時刻指定ポーリングの設定〔タイマーポーリング受信〕

ポーリング受信する時刻を設定して、相手側のファクシミリにセットされた原稿を自動的に受信することができます。

**1**     を押し  
す。

7. ポーリング ジュシ

**2**  で「タイマー」を選択します。

ポーリング : タイマー

**3**  を押し  
ます。

シテ ズ コク = XX : XX

**4** 指定時刻を 24 時間制で入力します。  
・例 : 午後 3 時 15 分の場合は「15:05」

シテ ズ コク = 15 : 05

**5**  を押し  
ます。

ダイヤル シテクダサイ  
↕  
ファクススタートヲ オス

**6** 相手先のファクス番号を入力し  
 を押し  
ます。受信を開始しま  
す。

指定時刻になると、自動的にポーリング受信を開  
始します。

ウケツケマシタ

### 補足

- 指定時刻には本機に原稿がセットされていないことを確認してください。
- 時刻指定ポーリング (タイマーポーリング受信) を解除したいときは **P. 102** を参照してください。

# メモリー受信を設定する

## ● メモリー受信を設定する

メモリー受信を「ON」に設定すると、受信したファクスをメモリーに蓄積します。また、電話呼び出し機能 **P. 123** ・ファクス転送機能 **P. 123** ・リモコンアクセス **P. 126** が使用できます。

-     を押し  
す。  
**2. メモリー ジュシ**
-  で「ON」を選択します。  
**メモリー ジュシ: ON**
-  を押し  
ます。  
**ウケツケマシタ**
-  を押し  
て設定は終了です。

### 補足

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- メモリー受信は最大 60 通信または 200 ページまでできます（ただしメモリーの残量や原稿の内容によって変化します）。
- 記録紙がないとき、メモリー受信の設定が「OFF」に設定されていても、メモリー代行受信を行います。
- メモリー受信したファクスが蓄積されているとき「OFF」に設定すると「ファクス ショウキョ? 1. スル 2. シナイ」が表示されます。記録紙がセットしてあれば、 を押すとファクスメッセージがすべて印刷された後、メモリーから内容が消去されます。一度も印刷されていないファクスメッセージが消去されることはありません。
- メモリー受信を「ON」に設定してもメモリー受信ができなくなったときは、受信用メモリーがいっぱいです。メモリー受信の設定を「OFF」にして、メモリーからファクスメッセージを消去してください。

・使  
目  
い  
書  
次  
方  
の

ハ  
操  
作  
ル

備  
前  
ご  
の  
使  
用  
準  
用

本  
前  
ご  
設  
定  
の  
使  
用  
基  
用

送  
フ  
ア  
ク  
ス  
信  
ス

受  
フ  
ア  
ク  
ス  
信  
ス

機  
能  
の  
フ  
ア  
ク  
ス  
応  
用

・レ  
リ  
ポ  
ス  
ト

コ  
ピ  
ー

お  
日  
手  
常  
入  
れ  
の

と  
困  
き  
っ  
は  
た

索  
用  
仕  
引  
語  
様  
集  
・

## ● メモリーに入ったファクスを出力する

メモリー受信が「ON」に設定されているときに、メモリー受信でメモリーに蓄積されたファクスをプリントアウトするとともに、メモリーから消去します。

**1**     を押し  
ます。

4. ファクス シュツリョク

ファクススタートヲ オス

**2**  ◇ファクス  
スタート を押しと印刷を開始しま  
す。

プリント チュウ

**3** 印刷終了後  Ⓢ 停止/終了 を押しします。

### 補足



- メモリーに何も蓄積されていないと液晶ディスプレイに「データガ アリマセン」と表示されますので  Ⓢ 停止/終了 を押ししてください。

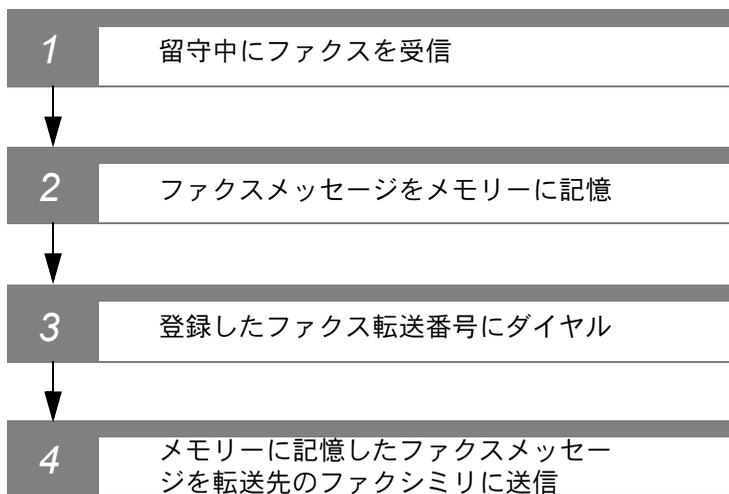
# 電話呼び出し機能とファクス転送

## ● 電話呼び出し機能とファクス転送について

メモリー受信を「ON」に設定すると、受信したファクスをメモリーに蓄積することができます。ファクスメッセージがメモリーに記憶されると、外出先の電話に知らせたり（電話呼び出し機能）、ファクスメッセージを転送（ファクス転送）することができます。

## ● ファクス転送の流れ

受信したファクスメッセージを、他の場所のファクスに転送することができます。



■ 電話呼び出し機能とファクス転送を同時に使用することはできません。

・使  
目  
書  
次  
方  
の

ハ  
操  
ネ  
作  
ル

備  
前  
ご  
の  
使  
用  
準  
用

本  
前  
ご  
設  
定  
使  
用  
基  
定

送  
フ  
ア  
ク  
ス  
信  
ス

受  
フ  
ア  
ク  
ス  
信  
ス

機  
能  
の  
フ  
ア  
ク  
ス  
応  
用

・レ  
リ  
ポ  
ス  
ト

コ  
ピ  
ー

お  
日  
手  
常  
入  
れ  
の

と  
困  
っ  
た  
は  
た

索  
用  
仕  
引  
語  
集  
・

## ● ファクス転送の設定を行う

ファクスを受信すると他の場所のファクシミリへ自動的に転送する機能です。

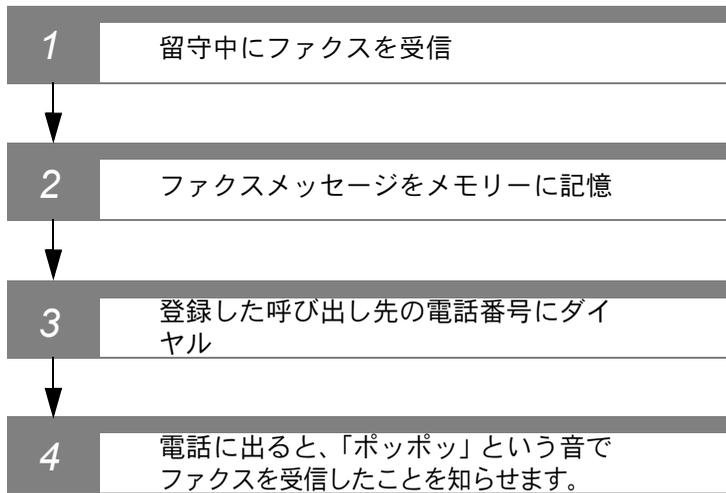
- 1 メモリー受信を「ON」にします。**P. 121**
- 2     を押し  
ます。 1. テンソウ
- 3  で「ファクス テンソウ」を選  
択し  
ます。 ファクス テンソウ
- 4  を押し  
ます。 ファクス テンソウ#:
- 5 転送先番号（転送先の電話番号）を  
入力して  を押し  
ます。 ウケツケマシタ
- 6  停止/終了 を押し  
て登録と設定は終了です。

### 補足



- お買い上げ時は「OFF」になっています。
- ファクス転送番号は外出先から変更することができます。**P. 132**
- 転送先番号と市外局番が異なるときは、市外局番も入力します。
- 転送先番号は最大 20 桁まで入力できます。
- ファクス転送が終了すると、メモリーに蓄積されたファクスは自動的に消去されます。
- メモリーにファクスを受信後、ファクス転送の設定を「ファクス テンソウ」に設定してもファクスは転送されません。
- ファクス転送の設定を「ファクス テンソウ」に設定した後、ファクス受信をすると、すべてのメモリーの内容が転送されます。
- ファクス転送の設定を「ファクス テンソウ」にした場合でもファクス受信すると、本機は受信した内容を印刷します。

## ● 電話呼び出し機能の流れ



## ● 電話呼び出し機能の設定を行う

ファクスを受信すると自動的に電話呼び出しをする機能です。

- 1 メモリー受信を「ON」にします。  
P. 121
- 2     を押します。 1. テンソウ
- 3  で「デンワ ヨビダシ」を選択します。 デンワ ヨビ'ダシ
- 4  を押します。 デンワ ヨビ'ダシ#:
- 5 呼び出し先番号を入力して  を押します。 ウケツケマシタ
- 6  を押して登録と設定は終了です。

・使  
目  
い  
書  
次  
方  
の

ハ  
操  
作  
ル

備  
前  
ご  
の  
使  
用  
準  
用

本  
前  
ご  
設  
定  
の  
使  
用  
基  
用

送  
フ  
ァ  
ク  
ス  
信  
ス

受  
フ  
ァ  
ク  
ス  
信  
ス

機  
能  
の  
フ  
ァ  
ク  
ス  
応  
用

・レ  
リ  
ポ  
ス  
ト

コ  
ピ  
ー

お  
日  
手  
常  
入  
れ  
の

と  
困  
き  
に  
は  
た

索  
用  
引  
仕  
語  
集  
・

#### 補足



- お買い上げ時は「OFF」になっています。
- 電話呼び出し機能を設定したときは、登録しておいた電話番号にダイヤルしてメッセージを受けたことを知らせます。外出先のファクスから暗証番号を使用してファクスメッセージを取り出すことができます。



- 電話呼び出し機能の呼び出し先電話番号は、外出先から変更することはできません。

# 外出先から本機を操作する：リモコンアクセス

## ● 暗証番号を設定する

外出先から本機をリモートコントロールするための暗証番号（3桁の数字と\*）を設定します。

1



を押しま

3. アンショウバ'ンゴ'ウ

す。

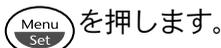
2

暗証番号を入力します。

- ・例：160 \*に設定するとき
- ・「\*」の左側の3桁に、ダイヤルボタンでお好みの番号に設定します。（暗証番号は「\*」を加えた4桁の番号になります。）

アンショウバ'ンゴ'ウ：160\*

3



を押します。

ウケツケマシタ

4



停止/終了 を押して設定は終了です。

・使  
目い  
書  
次  
方  
の

パ  
操  
作  
ル

備  
前  
ご  
の  
使  
用  
準  
用

本  
前  
ご  
設  
定  
基  
用

送  
フ  
ア  
ク  
ス

受  
フ  
ア  
ク  
ス

機  
能  
の  
フ  
ア  
ク  
ス  
応  
用

・レ  
リ  
ポ  
ス  
ト

コ  
ピ  
ー

お  
日  
手  
常  
入  
れ  
の

と  
困  
っ  
た  
時  
に  
は

索  
用  
仕  
引  
語  
集  
・

## ● リモコンアクセスをする

外出先のプッシュ (PB) 回線に接続されているファクシミリ、またはトーン (PB) 信号が送出できるファクシミリを使い、暗証番号やリモコンアクセスコマンドを入力することにより、外出先から本機をリモートコントロールして、ファクス転送などの操作を行うことができます。

### 補足



- 暗証番号は、外出先から本機をリモートコントロールするための番号であり、3桁の数字と「\*」から構成されています。また、リモコンアクセスコマンドは、外出先から本機に対する設定を変更するための番号です。

1

外出先のプッシュ (PB) 回線に接続されているファクシミリ、またはトーン (PB) 信号が送出できるファクシミリから本機の電話番号にダイヤルします。

2

本機が応答し、約 4 秒間無音状態になりますので、その間に暗証番号をダイヤルボタンで入力します。

3

「ポー」という応答音が聞こえたら、本機がメッセージを受信し、メモリーに蓄積していることを示します。

メモリーに蓄積されていないときは「ポー」という音はしないので、そのまま手順 4 へ進みます。

4

次に短い「ピピッ」という応答音が続けて聞こえます。この間に、リモコンアクセスコマンドをダイヤルボタンで入力します。

5

リモコンアクセスを終了するときは、**⑨⑩**を入力します。



- 「ピピッ」という応答音が聞こえてこないときは、繰り返し暗証番号を入力してください。回線状態などにより、暗証番号を受けられないことがあります。
- 1つのコマンドの入力が終了したら、短い「ピピッ」という応答音が続けて聞こえる間に、次のコマンドを入力することができます。
- 暗証番号を入力するタイミングについて以下に示します。
  - ・ファクス専用モードのとき  
メモリー受信の設定が「ON」の場合、本機が応答すると、約4秒間無音になりますので、この間に入力してください。また、メモリー受信の設定が「OFF」のときは、ファクス信号（ピーヒョロヒョロ音）の間の無音状態の間に入力してください。
  - ・自動切替モードのとき  
本機が応答すると約4秒間無音状態になりますので、この間に入力してください。
  - ・外付留守電モードのとき  
外付留守番電話が応答した後、応答メッセージが聞こえてくる前の無音状態のときに入力してください（外付の留守番電話に応答メッセージを録音する際にあらかじめ4～5秒くらい無音状態を入れておいてください）。
  - ・電話モードのとき  
呼出ベルが約35回鳴るまで待った後、約30秒無音状態になりますので、この間に入力してください。
- リモコンアクセスコマンドについては **P. 130** を参照してください。
- メモリー受信されたファクスメッセージをリモコンアクセスで取り出したいときは、転送の設定をファクス転送にしないでください。
- トーン信号を送出できない電話機からのリモコンアクセスはできません。
- 間違った操作を行ったときや正しい設定・変更ができなかったときには、短い「ピピッ」という応答音が聞こえます。正しく設定できたときは少し長い「ピー」という応答音が1回聞こえます。
- 「ピピッ」という音が続けて聞こえているときに、何もコマンドを入力せずに30秒以上経過すると、リモコンアクセスが終了します。

## ● リモコンアクセスで設定できる機能〔コマンド一覧〕

リモコンアクセスコマンドを入力することにより、本機を下記のようにリモートコントロールすることができます。

機 能	コマンド
電話呼び出し、ファクス転送の設定を OFF にします。	951
ファクス転送に設定します（番号未登録時は設定できません）。	952
電話呼び出しに設定します（番号未登録時は設定できません）。	953
ファクス転送番号の登録や変更をします。転送番号を登録した後、 <b>#</b> を2回入力します。転送番号を登録すると、自動的にファクス転送の設定が「ON」になります。	954
メモリー受信を「ON」に設定します。	956
メモリー受信を「OFF」に設定します。	957
メモリーが記憶したファクスメッセージを取り出します。	962
メモリーが記憶したファクスメッセージを消去します。	963
ファクスメッセージを記憶しているかを確認します。記憶しているときは「ピー」という音が、記憶していないときは「ピピピッ」という音が聞こえます。	971
受信モードを「外付留守電モード」に変更します。	981
受信モードを「自動切替モード」に変更します。	982
受信モードを「ファクス専用モード」に変更します。	983
リモコンアクセスを終了します。	90

上記の機能のうち、「外出先からファクスを取り出す方法（962）」と「外出先からファクス転送番号を変更する方法（954）」について手順を示します。

## 外出先からファクスを取り出す

1

外出先のプッシュ（PB）回線に接続されているファクシミリ、またはトーン（PB）信号が送 Out できるファクシミリの受話器を取ります。

2

本機の電話番号をダイヤルします。  
このとき、リモコンアクセスする電話機がダイヤル回線の場合は、ダイヤル後、電話機のトーンボタンを押してください。

3

本機が応答したら、最初の無音 4 秒間に 3 桁の暗証番号と  
④ を押します。

4

「ポー」という応答音が聞こえたら、本機がファクスを受信し、メモリーに記憶していることを示しています。

5

取り出したいファクスメッセージが記憶されているときは、「ピピッ」という音が鳴り終わったときに、⑨⑥② を押します。

6

続けて、外出先の今使用しているファクシミリのファクス番号を入力し、最後に⑧を 2 回押します。

7

「ピー」という応答音が聞こえたら、受話器を置きます。

8

本機からファクスが転送されます。

・使  
目い  
書  
次  
方  
の

バ  
操  
ネ  
作  
ル

備  
前  
ご  
の  
使  
用  
準  
則

本  
前  
ご  
使  
用  
基  
準

送  
フ  
ア  
ク  
ス  
信  
号

受  
フ  
ア  
ク  
ス  
信  
号

機  
能  
の  
フ  
ア  
ク  
ス  
使  
用

・レ  
リ  
ポ  
ス  
ト

コ  
ピ  
ー

お  
日  
手  
常  
入  
れ  
の

と  
困  
っ  
た  
時  
に  
は

索  
用  
仕  
引  
語  
集  
・

## 外出先からファクス転送番号（転送先の電話番号）を変更する

1

外出先のプッシュ（PB）回線に接続されているファクシミリ、またはトーン（PB）信号が送出できるファクシミリの受話器を取ります。

2

本機の電話番号をダイヤルします。

3

本機が応答したら、最初の無音 4 秒間に 3 桁の暗証番号と **\*** を押します。

4

「ピピッ」という音が続けて聞こえている間に、**9** **5** **4** を押します。

5

新しい転送番号をダイヤルボタンで入力し、最後に **#** を 2 回押します。  
転送番号は最大 20 桁まで入力できます。

6

「ピー」という応答音が聞こえたら、**9** **0** を押して受話器を置きます。

### 補足



- 「\*」や「#」は転送番号として登録することはできません。転送番号の間にポーズを入れたときには、**#** を 1 回押します。**#** を 2 回押すと転送番号の入力終了を表します。
- 受話器を持ったままにしても、操作しているファクシミリによって回線が切れることがありますので、その場合はもう一度かけ直した後、手順 3 からの操作を行ってください。

# 7章

## レポート・リスト

■ レポート・リストの印刷.....	134
機能案内リストを印刷する .....	135
電話帳（ダイヤル）リストを印刷する .....	135
通信管理レポートを印刷する .....	135
送信レポートを印刷する .....	135
設定内容リストを印刷する .....	135
消耗品シート（ご注文シート）を印刷する .....	136
着信履歴リストを印刷する .....	136
送信レポートの出力設定.....	136
通信管理レポートの出力間隔を設定.....	138

・使本  
目い書  
次方の

パ操  
ネ作  
ル

備前ご  
の使  
準用

本前ご  
設の使  
定基用

送フ  
信ア  
ク  
ス

受フ  
信ア  
ク  
ス

機フ  
能ア  
応ク  
用  
ス

・レ  
リポ  
スト

コ  
ピ  
ー

お日  
手常  
入  
れ  
の

と困  
つ  
に  
は  
た

索用仕  
引語様  
集  
・

# レポート・リストの印刷

本機では、設定によって、管理情報や設定内容に関するレポートおよびリストを印刷することができます。印刷できるレポートおよびリストは、以下のとおりです。

No	レポート・リスト	内容
1	機能案内リスト	簡単操作リストを印刷します。
2	電話帳（ダイヤル）リスト	ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルやグループダイヤルに登録されている内容を印刷します。
3	通信管理レポート	送信・受信した最新の 200 通信分の結果を印刷します。
4	送信レポート	送信後に、最後に送ったファクスの送信結果を印刷します。
5	設定内容リスト	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。
6	消耗品シート	消耗品をファクスで注文する際の、ご注文シートを印刷します。
7	着信履歴リスト	ナンバー・ディスプレイを「ON」に設定しているときに最新の 30 件の着信履歴を印刷します。

以下のレポートについては、自動的に印刷されるため、設定は不要です。

- ・ タイマー通信レポート  
タイマー通信が終了すると印刷されます。
- ・ ポーリングレポート  
ポーリング送信が終了すると印刷されます。
- ・ 同報送信レポート  
順次同報送信が終了すると印刷されます。



■ 電源を抜いたまま 2～3 日放置すると通信管理レポートの内容が消去されてしまいます。ご注意ください。

## ● 機能案内リストを印刷する

簡単操作のリストを印刷します。

**1** リスト出力 <sup>ア</sup> **1** を押します。

機能案内リストが印刷されます。

## ● 電話帳（ダイヤル）リストを印刷する

ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤル・グループダイヤルに登録されている内容を、登録番号順に印刷します。

**1** リスト出力 <sup>カ ABC</sup> **2** を押します。

電話帳リストが印刷されます。

## ● 通信管理レポートを印刷する

送信・受信した最新の 200 通信分の結果を印刷します。

**1** リスト出力 <sup>サ DEF</sup> **3** を押します。

通信管理レポートが印刷されます。

## ● 送信レポートを印刷する

送信後に、最後に送ったファクスの送信結果を印刷します。

**1** リスト出力 <sup>タ GHI</sup> **4** を押します。

送信レポートが印刷されます。

## ● 設定内容リストを印刷する

各種機能に登録・設定されている内容を確認するときに印刷します。

**1** リスト出力 <sup>ナ IJKL</sup> **5** を押します。

設定内容リストが印刷されます。

・使  
目  
い  
書  
次  
方  
の

ハ  
操  
作  
ル

備  
前  
ご  
の  
使  
用  
準  
用

本  
前  
ご  
設  
の  
使  
定  
基  
用

送  
フ  
信  
ア  
ク  
ス

受  
フ  
信  
ア  
ク  
ス

機  
フ  
能  
ア  
能  
ア  
用  
ス

・レ  
リ  
ポ  
ス  
ト

コ  
ピ  
ー

お  
日  
手  
常  
入  
れ  
の

と  
困  
き  
っ  
は  
た

索  
用  
仕  
引  
語  
集  
・

## ● 消耗品シート（ご注文シート）を印刷する

トナーカートリッジなどの消耗品をファクスでご注文いただくためのご注文シートを印刷します。

**1** リスト出力 ハ MNO **6** を押します。

消耗品シートが印刷されます。

## ● 着信履歴リストを印刷する

最新の 30 件の着信履歴を印刷します。

**1** リスト出力 マ PQRS **7** を押します。

着信履歴リストが印刷されます。

補足



- 着信履歴リストは「ナンバー・ディスプレイサービス」の契約が必要です。

## ● 送信レポートの出力設定

送信レポートを自動的に印刷するときの設定を変更することができます。

**1** **Menu Set** カ ABC **2** ハ MNO **6** ア **1** を押し  
ます。

1. ソウシン レポ'ート

**2**   で印刷する送信レポートの出力  
設定を選択します。  
「ON」「ON+ イメージ」「OFF」「OFF+ イメー  
ジ」の中から選択します。

ソウシン: ON

**3** **Menu Set** を押します。

ウケツケマシタ

**4**  停止/終了 を押して操作は終了です。

## 補足



- お買い上げ時は「OFF + イメージ」に設定されています。
- 印刷する送信レポートの出力設定は、以下の4種類の中から選択します。
  - ON: 送信後に毎回自動的に印刷します。
  - ON+ イメージ: 「ON」の動作に加えて、ファクスの1ページ目の画像も表示されます。
  - OFF: 通信エラーが発生したときやうまく送信できなかったときに、自動的に印刷します。
  - OFF+ イメージ: 「OFF」の動作に加えて、ファクスの1ページ目の画像も表示されます。
- リアルタイム送信時には画像は出力されません。

・使本  
目い書  
次方

ハ操  
ネ作  
ル

備前ご  
の使  
準用

本前ご  
設の使  
定基用

送フ  
信ア  
クス

受フ  
信ア  
クス

機フ  
能ア  
応ク  
用ス

・レ  
リポ  
スト

コ  
ピ  
ー

お日  
手常  
入の  
れ

と困  
きつ  
には  
た

索用仕  
引語様  
集・

## ● 通信管理レポートの出力間隔を設定

通信管理レポートの出力間隔を設定します。

**1**  カ ABC  ハ MNO  カ ABC  を押し  
ます。

**2. ツウシン カンリ カンカク**

**2**  で間隔を設定し、 を押し  
ます。

「レポートシュツリョク シナイ」 「1 ジ カゴト」  
「3 ジ カゴト」 「6 ジ カゴト」  
「12 ジ カゴト」 「24 ジ カゴト」  
「2 カゴト」 (2日ごと)  
「4 カゴト」 (4日ごと)  
「7 カゴト」 (7日ごと) の中から選択し  
ます。

**24 ジ カゴト**

**3** 開始時間を入力し、 を押し  
ます。

**カイシ ジ カン:00:00**

**ウケツケマシタ**

**4**  を押して操作は終了です。

### 補足

- お買い上げ時は、「レポートシュツリョク シナイ」に設定されています。
- 「レポートシュツリョク シナイ」以外に設定したときは、開始時間を基準にして印刷します。
- 「レポートシュツリョク シナイ」に設定したときは、必要ときに   を押すと印刷することができます。このとき通信管理レポート内容はクリアされません。
- 「レポートシュツリョク シナイ」以外に設定したときは開始時間を基準に印刷します。印刷後、通信管理レポートの内容はメモリーからクリアされます。
- 手順2で「7日ごと」を設定した場合、 を押した後に曜日の設定になります。

# 8章

## コピー

■ コピーをする前に	140
コピー機能について	140
原稿サイズ	141
コピーの読み取り範囲	142
■ コピーをする	143
コピーする	143
「メモリーがいっぱい」が表示されたときは	145
■ コピー設定：一時的に設定する	146
コピー設定：一時的に設定する	146
拡大・縮小コピーをする	147
コピー枚数を設定する	148
原稿のタイプを設定する	149
コピーの明るさを調整する	150
スタックコピーかソートコピーかを設定する	151
マルチレイアウトコピー	153
■ コピー設定：設定内容を保持する	155
コピー設定：設定内容を保持する	155
デフォルトの設定を変更する〔原稿タイプ〕	156
デフォルトの設定を変更する〔コントラスト〕	157
デフォルトの設定を変更する〔記録紙タイプ〕	158

・使本  
目い書  
次方の

バ操  
ネ作  
ル

備前ご  
の使  
準用

本前ご  
設の使  
定基用

送フ  
信ア  
ク  
ス

受フ  
信ア  
ク  
ス

機フ  
能ア  
応ク  
用ス

・レ  
リポ  
スト

コ  
ピ  
ー

お日  
手常  
入の  
れの

と困  
きつ  
には  
た

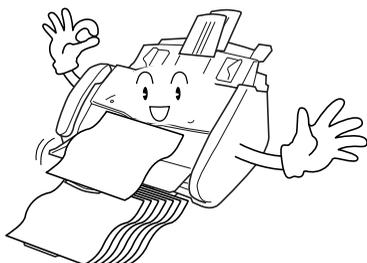
索用仕  
引語様  
集・

# コピーをする前に

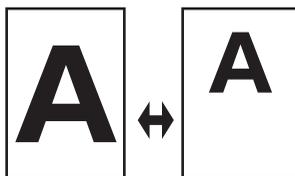
## ● コピー機能について

本機には以下のコピー機能が備わっています。利用目的に合わせてお使いください。

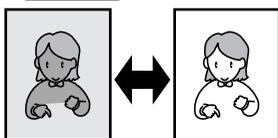
たくさんの文書を連続コピーしたい。**P. 143**



拡大・縮小コピーしたい。**P. 147**

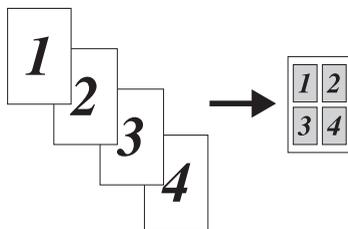


明るさを調整してコピーしたい。**P. 150**



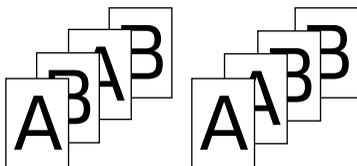
2枚または4枚の原稿を1枚の記録紙にまとめてコピーしたい。

(2 IN 1, 4 IN 1) **P. 153**



効率よく複数部コピーしたい。**P. 151**

ソートコピー スタックコピー



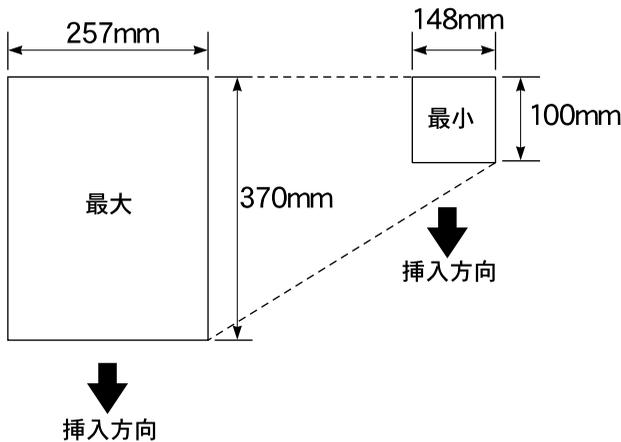
補足



- 特に濃い、または薄い文字の原稿をコピーするときは、原稿濃度を変更してからコピーしてください。
- 通常、コピー用紙はA4をお使いください。

## ● 原稿サイズ

セットできる原稿サイズは次のとおりです。これ以外のサイズの前稿は、複写機で拡大・縮小コピーしてからセットしてください。



厚さ : 0.08mm ~ 0.12mm

坪量 : 64g/m<sup>2</sup> ~ 90g/m<sup>2</sup>

### 補足



- 原稿サイズは概算値ですので、目安としてお使いください。

・使本  
目い書  
次方  
の

ハ操  
ネ作  
ル

備前  
ご  
の使  
準用

本前  
ご  
設の  
使基  
用

送フ  
信ア  
クス

受フ  
信ア  
クス

機フ  
能ア  
応ク  
用ス

・レ  
リポ  
スト

コ  
ピ  
ー

お日  
手常  
入  
れ  
の

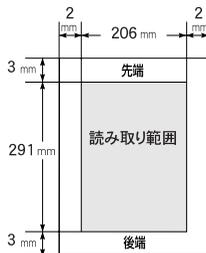
と困  
き  
っ  
は  
た

索用  
引仕  
語様  
集  
・

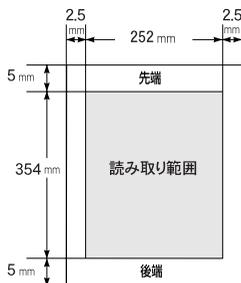
## ● コピーの読み取り範囲

A4、B4 サイズのコピーの読み取り範囲を次に示します。

<A4の場合>



<B4の場合>



### 補足



- 印刷可能範囲は **P. 30** を参照してください。
- 読み取り範囲の数値は概算値ですので目安として参考にしてください。



■ 法律によりコピーが禁じられている物があります。以下のような物のコピーには注意してください。

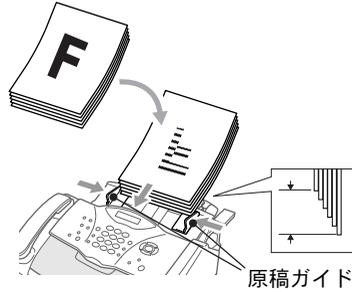
- ・ 法律で禁止されている物（絶対にコピーしないでください）
  - ・ 紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方証券
  - ・ 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
  - ・ 未使用の郵便切手や官製ハガキ
  - ・ 政府発行の印紙および酒税法や物品税法で規定されている証券類
- ・ 著作権のある物
  - ・ 著作権の対象となっている著作物を、個人的に限られた範囲内での使用目的以外でコピーすることは禁止されています。
- ・ その他の注意を要する物
  - ・ 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
  - ・ 政府発行のパスポート、公共事業や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類など

# コピーをする

## ● コピーする

1

印刷面を裏向きにし、上部を先にしてADF（自動原稿送り装置）に原稿を入れます。原稿は一度に20枚までセットできます。

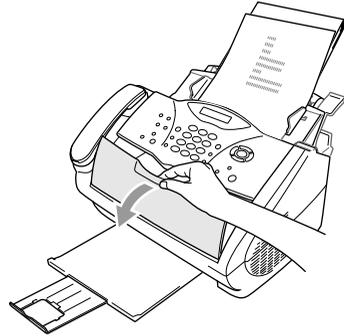


2

原稿ガイドを原稿の幅に合わせて

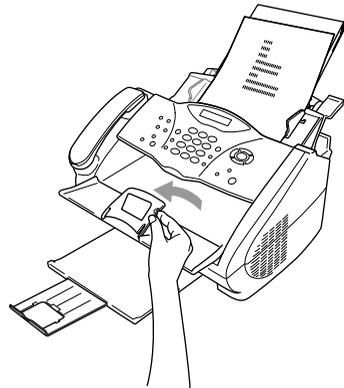
3

原稿排紙トレイを開きます。



4

原稿排紙補助トレイを開きます。



☞ 次ページへ続く

・使本  
目い書  
次方の

バ操  
ネ作  
ル

備前ご  
の使  
準用

本前ご  
設の使  
定用  
基

送フ  
信ア  
クッ  
ス

受フ  
信ア  
クッ  
ス

機フ  
能ア  
応ク  
用ッ  
ス

・レ  
リポ  
スト

コ  
ピ  
ー

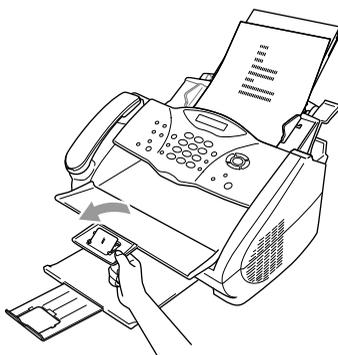
お日  
手常  
入れ  
の

と困  
きは  
た

索用仕  
引引様  
集集  
・

**5**

B4 サイズの原稿をコピーするときは、図のように原稿排紙補助トレイの中央部を開きます。

**6**

コピーしたい部数を入力します。  
1部だけコピーする場合は、部数を入力せずに手順7に進んでください。

**7**

 コピーを押すと、コピーが開始されます。

**補足**

- コピーの枚数は99部まで設定できます。100部以上コピーする場合は、再度設定してください。
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿が詰まったときは **P. 160** を参照してください。
- コピー枚数の取り消しは  を押してください。

## ● 「メモリーガ イッパイデス」と表示されたときは

コピー中に本機内部のメモリーがいっぱいになると、液晶ディスプレイに次の内容が表示されます。

メモリーガ イッパイデス

このときは  を押すとキャンセルされます。

ただし、印刷していない文書がメモリーに残っているときは、キャンセルする前に印刷してください。

### コピーで使用できるメモリーを増やすには

以下のいずれかの方法でコピー時に使用できるメモリーを増やすことができます。

- ・ファクスのメモリー受信機能を「OFF」に設定します。P. 121
- ・メモリーに受信したファクスを印刷します。P. 122

#### 補足



- 「メモリーガ イッパイデス」のメッセージが表示されたとき、メモリーを確保するためにまず受信したファクスを印刷すれば、コピーすることができます。

・使本  
目い書  
次方  
の

・操  
作  
作  
ル

・備前  
ご  
の使  
用  
準  
用

・本前  
ご  
設  
定  
基  
用

・送フ  
ア  
信ク  
ス

・受フ  
ア  
信ク  
ス

・機フ  
能ア  
応ク  
用ス

・レ  
リ  
ポ  
ス  
ト

・コ  
ピ  
ー

・お日  
手常  
入  
れ  
の

・と困  
き  
っ  
た  
は  
た

・索用  
引仕  
語様  
集  
・

# コピー設定：一時的に設定する

## ● コピー設定：一時的に設定する

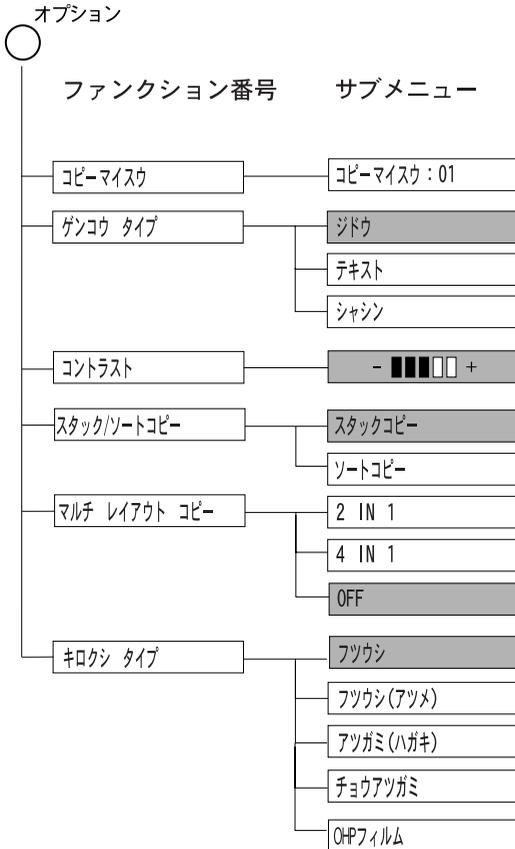
次のボタンを使用することで、コピーに関する設定内容を一時的に変更することができます。

拡大/縮小 : コピーの倍率を設定します。

オプション : 記録紙のタイプやコピーの明るさなどを設定します。

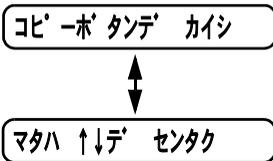
上記のボタンによる設定は一時的なものであり、コピーが終了するとお買い上げ時の設定、またはお客様の設定した設定に戻ります。

オプション で設定できる内容について以下に示します。



はお買い上げ時の設定です。

- サブメニューで設定／選択後、を押すと、液晶ディスプレイには以下のように表示されます。



続けて、他の設定をする場合は、で設定する項目を選択します。設定を終了する場合は  を押して、コピーを開始してください。

- デフォルトの設定を変更する場合は **P. 156**  を参照してください。

## ● 拡大・縮小コピーをする

倍率を変えてコピーすることができます。

1

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットします。

2

 拡大/縮小 を押し  で倍率を選択します。

50%

倍率は以下の中から選択します。

- ・ 50%
- ・ 75%
- ・ 82% B4 → A4
- ・ 87% A4 → B5
- ・ 94%
- ・ ジドウ
- ・ 100%
- ・ 115% B5 → A4
- ・ 150%
- ・ 200%
- ・ ニンバイリツ

- ・ 「ニンバイリツ」を選択した場合はダイヤルボタン（50%～200%）で入力します。
- ・ 「ジドウ」を選択した場合は、B4のときのみA4に縮小されます。

3

 を押します。

4

 を押すと、コピーが開始されます。

補足



- 原稿によっては画像が欠ける場合があります。

## ● コピー枚数を設定する

コピー枚数を 1～99 部まで設定できます。

1

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして  オプション を押します。

2



で「コピー マイスウ:01」を選択します。

コピーマイスウ:05

3

コピー枚数を入力して  を押します。

4



を押すと、コピーが開始されます。

補足



- コピー枚数の設定は、原稿をセットしたのち、直接、部数を入力することもできます。

## ● 原稿のタイプを設定する

原稿のタイプに合わせて3種類の設定ができます。

文字のみの原稿、文字と写真が混在する原稿、または写真のみの原稿のいずれかを設定できます。

1

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして  オプション を押し  
ます。

2

コピーしたい部数をダイヤルボタンで入力します。  
1部だけコピーする場合は、部数を入力せずに次の手順に進んでください。

3

 で「ゲンコウ タイプ」を選択しま  
 す。

ゲンコウ タイプ

4

 を押して  で原稿タイプ  
 を選択します。

ジドウ

5

 を押します。

6

 コピー を押すと、選択した原稿タイプでコピーが開始されま  
す。

### 補足



- お買い上げ時は「ジドウ」に設定されています。
- 原稿タイプは以下の3種類の中から選択できます。
  - ・ テキスト  
文字のみの原稿のときに設定。
  - ・ ジドウ  
標準の設定、文字と写真が混在するときに設定。
  - ・ シャシン  
写真のみの原稿のときに設定。

・使本  
目い書  
次方の

バ操  
ネ作  
ル

備前ご  
の使  
準用

本前ご  
設の使  
定使  
基用

送フ  
信ア  
クク  
ス

受フ  
信ア  
クク  
ス

機フ  
能ア  
応ク  
用ス

・レ  
リポ  
スト

コ  
ピ  
ー

お日  
手常  
入れ  
の

と困  
きつ  
には  
た

索用仕  
引語様  
集・

## ● コピーの明るさを調整する

コピーのコントラストを変えることができます。

1

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして  オプション を押し  
ます。

2

コピーしたい部数をダイヤルボタンで入力します。  
1部だけコピーする場合は、部数を入力せずに次の手順に進んでください。

3



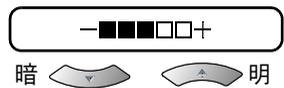
で「コントラスト」を選択します。

コントラスト

4



を押して  でコントラストを  
調整します。



5



を押します。

6



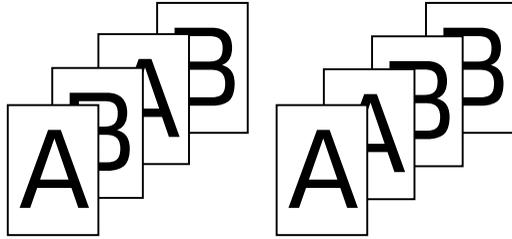
コピー を押すと、コピーが開始されます。

補足



- お買い上げ時は「-■ ■ ■ ■ □ □ +」に設定されています。

## ● スタックコピーかソートコピーかを設定する



ソートコピー

スタックコピー

複数部のコピーを仕分けしてコピーする（ソートコピー）か、そのまま枚数分を順にコピーする（スタックコピー）かを設定します。

**1** ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして  オプションを押します。

**2** コピーしたい部数をダイヤルボタンで入力します。

**3**  で「スタック/ソートコピー」を選択します。 スタック/ソートコピ -

**4**  を押し  で「スタックコピー」または「ソートコピー」を選択します。 ソートコピ -

**5**  を押します。

**6**  を押すと、コピーが開始されます。

・使  
本  
目  
い  
書  
次  
方  
の

・操  
作  
作  
ル

・備  
前  
ご  
の  
使  
用  
準  
用

・本  
前  
ご  
設  
定  
の  
使  
用  
基  
用

・送  
信  
フ  
ァ  
ク  
ス

・受  
信  
フ  
ァ  
ク  
ス

・機  
能  
フ  
ァ  
ク  
ス  
使  
用

・レ  
リ  
ポ  
ス  
ト

・コ  
ピ  
ー

・お  
日  
手  
常  
入  
れ  
の

・と  
困  
き  
っ  
は  
た

・索  
用  
仕  
引  
語  
集  
・

## 補足

- コピーの枚数は 99 部まで設定できます。100 部以上コピーする場合は、再度設定してください。
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿が詰まったときは **P. 160** を参照してください。
- コピー枚数を間違えて入力した場合は、 を押して手順 2 からやり直してください。
- コピー中に記録紙がなくなったときは、記録紙をセットして  を押せばコピーは続けられます。
- 一枚の原稿がメモリーに入りきらないときは、複数部コピーはできません。1 枚コピーを繰り返してください。

## 注意

- 原稿の読み込み中にメモリーがいっぱいになったときは  を押してコピーを停止させてキャンセルするか、 を 1 回押してメモリーに読み込まれた原稿のみコピーします。残りの原稿はもう一度コピーしなおしてください。
- メモリーの残量が少ないと機能しない場合があります。メモリーの残量に注意してください。

# ● マルチレイアウトコピー

2枚または4枚の原稿を1枚にコピーすることができます。

**1** ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして  オプション を押し  
ます。

**2** コピーしたい部数をダイヤルボタンで入力します。  
1部だけコピーする場合は、部数を入力せずに次の手順に進んでください。

**3**  で「マルチ レイアウト コピー」を選  
択します。 マルチ レイアウト コピー

**4**  を押し  で希望するレイ  
アウトを選択します。 2 IN 1  
「OFF (1 IN 1)」 「4 IN 1」 「2 IN 1」 の中から選択します。

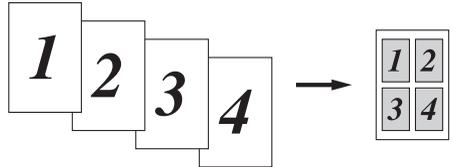
**5**  を押します。

**6**  を押すと、コピーが開始されます。

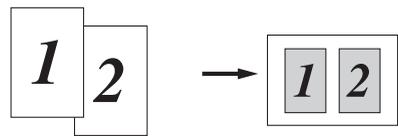
## 補足

● マルチレイアウトコピーの選択項目として、「4 IN 1」、「2 IN 1」の2種類があります。以下にそれぞれのイメージを示します。

< 4 IN 1 >



< 2 IN 1 >



・使本  
目い書  
次方の

ハ操  
ネ作  
ル

備前ご  
の使  
準用

本前ご  
設の使  
定基用

送フ  
信ァ  
クス

受フ  
信ァ  
クス

機フ  
能ァ  
応用  
用ス

・レ  
リポ  
スト

コ  
ピ  
ー

お日  
手常  
入れ  
の

と困  
きっ  
には  
た

索用仕  
引語様  
集・



■ 記録紙サイズは「A4」を選択してください。

## ● 記録紙のタイプを設定する

使用する記録紙のタイプに合わせて 5 種類の設定ができます。お使いの記録紙に合わせて記録紙のタイプを選択してください。本機が記録紙のタイプに合った最適な方法でコピーします。

1

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットして  オプション を押し  
ます。

2

コピーしたい部数をダイヤルボタンで入力します。  
1部だけコピーする場合は、部数を入力せずに次の手順に進んでください。

3



で「キロクシ タイプ」を選択しま  
す。

キロクシ タイプ

4



を押して  で記録紙のタイプ  
を選択します。

アツガミ (ハガキ)

「フツウシ」、「フツウシ (アツメ)」、「アツガミ (ハガキ)」、  
「チョウアツガミ」、「OHP フィルム」の中から選択します。

5



を押します。

6



を押し、コピーが開始されます。

### 補足



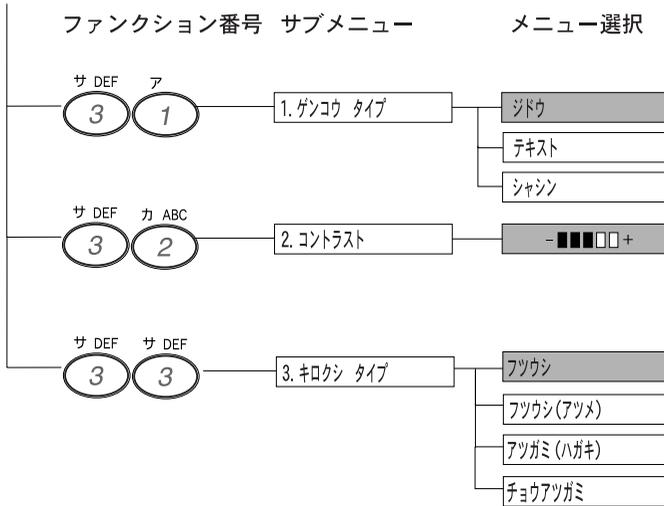
- お買い上げ時は「フツウシ」に設定されています。
- 記録紙タイプは以下の 5 種類の中から選択できます。
  - ・ フツウシ (64g/m<sup>2</sup> ~ 69g/m<sup>2</sup>)
  - ・ フツウシ (アツメ) (70.2g/m<sup>2</sup> ~ 94g/m<sup>2</sup>)
  - ・ アツガミ (ハガキ) (96g/m<sup>2</sup> ~ 120g/m<sup>2</sup>)
  - ・ チョウアツガミ (121.2g/m<sup>2</sup> ~ 158g/m<sup>2</sup>)
  - ・ OHP フィルム

# コピー設定：設定内容を保持する

## ● コピー設定：設定内容を保持する

お買い上げ時の本機の設定を変更することができます。変更された内容は、次にコピーをするときにも有効です。

一時的に設定内容を変更する場合は **P. 146** を参照してください。



 はお買い上げ時の設定です。

・使  
目い  
書  
次  
方  
の

ハ  
操  
作  
レ  
ル

備  
前  
ご  
の  
使  
用  
準  
用

本  
前  
ご  
設  
定  
の  
使  
用  
基  
用

送  
フ  
ア  
ク  
ス  
信  
ス

受  
フ  
ア  
ク  
ス  
信  
ス

機  
の  
フ  
ア  
ク  
ス  
機  
能  
応  
用  
ス

・レ  
リ  
ポ  
ス  
ト

コ  
ピ  
ー

お  
日  
手  
常  
入  
れ  
の

と  
困  
き  
っ  
は  
た

索  
用  
仕  
引  
語  
集  
・

## ● デフォルトの設定を変更する〔原稿タイプ〕

「原稿タイプ」のレベルを変更します。

ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

1



サ DEF  
3

ア  
1

を押します。

1. ゲンコウ タイプ

2



で原稿のタイプを選択し、Menu Set を押します。

「テキスト」、「ジドウ」、「シャシン」の中から選択します。

3



停止/終了 を押して設定を終了します。

### 補足



- お買い上げ時は「ジドウ」に設定されています。
- 原稿タイプは以下の3種類の中から選択できます。
  - ・ テキスト  
文字のみの原稿のときに設定。
  - ・ ジドウ  
標準の設定、文字と写真が混在するときに設定。
  - ・ シャシン  
写真のみの原稿のときに設定。

# ● デフォルトの設定を変更する〔コントラスト〕

「コントラスト」（コピーの明るさ）のレベルを変更します。  
ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

**1**    を押します。 2 コントラスト

**2**   でコントラストを調整し、 を押します。

**3**  を押して設定を終了します。

## 補足



- お買い上げ時は「-■□□□+」に設定されています。
-  を押すと、よりコントラストが強くなります。

弱  -■□□□+  強

・使本  
目い書  
次方  
の

バ操  
作  
ル

備前  
ご  
の使  
用  
準  
用

本前  
ご  
の使  
用  
定  
基  
用

送フ  
信ア  
スク  
ス

受フ  
信ア  
スク  
ス

機フ  
能ア  
応ク  
用ス

・レ  
リポ  
スト

コ  
ピ  
ー

お日  
手常  
入れ  
の

と困  
きっ  
には  
た

索用  
引語  
様集  
・

## ● デフォルトの設定を変更する〔記録紙タイプ〕

「記録紙タイプ」を変更します。

ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

- 1**    を押します。 3. 用紙タイプ
- 2**  で記録紙タイプを選択し、 を押します。
- 3**  を押して設定を終了します。

### 補足



- お買い上げ時は「フツウシ」に設定されています。
- 記録紙タイプは以下の4種類の中から選択できます。
  - ・ フツウシ (64g/m<sup>2</sup> ~ 69g/m<sup>2</sup>)
  - ・ フツウシ (アツメ) (70.2g/m<sup>2</sup> ~ 94g/m<sup>2</sup>)
  - ・ アツガミ (ハガキ) (96g/m<sup>2</sup> ~ 120g/m<sup>2</sup>)
  - ・ チョウアツガミ (121.2g/m<sup>2</sup> ~ 158g/m<sup>2</sup>)

# 9章

## 日常のお手入れ

■ 紙づまりについて.....	160
紙づまりのときのメッセージ.....	160
コントロールパネルの前側で原稿がつまったときは.....	160
記録紙トレイで記録紙がつまったときは.....	161
内部で記録紙がつまったときは.....	162
■ 本体の掃除.....	163
キャビネット内部のお手入れ.....	163
スキャナウィンドの清掃.....	165
ドラムユニットのお手入れ.....	166
トナーカートリッジの交換.....	167
ドラムユニットの交換.....	171

・使本  
目い書  
次方  
の

パ操  
ネ作  
ル

備前ご  
の使  
準用

本前ご  
設の使  
定基用

送フ  
信ア  
ク  
ス

受フ  
信ア  
ク  
ス

機フ  
能ア  
応ク  
用  
ス

・レ  
リポ  
スト

コ  
ピ  
ー

お日  
手常  
入の  
れ

と困  
きは  
た

索用仕  
引語様  
集・

# 紙づまりについて

## ● 紙づまりのときのメッセージ

紙づまりのときは、ブザーが鳴り、液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

原稿がつまったとき	ゲ ンコウ カクニン ↕ ゲ ンコウヲ トリゾ' イテ テイシホ' タンヲ オシテクダ' サイ
記録紙がつまったとき	キロクシ カクニン ↕ カバ' -ヲアケテ ツマツタキロクシヲ トリゾ' イテクダ' サイ

## ● コントロールパネルの前側で原稿がつまったときは

1

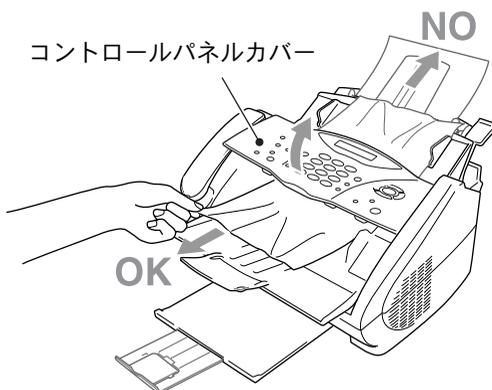
送り込まれていない原稿を取ります。

2

コントロールパネルカバーを開きます。

3

つまった原稿を手前に引いて取り除きます。



4

コントロールパネルカバーを閉じます。

5

⊘ 停止/終了 を押します。

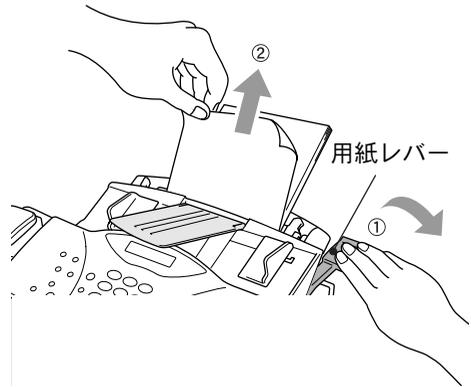
## ● 記録紙トレイで記録紙が詰まったときは

1

送り込まれていない記録紙を取り除きます。

2

用紙レバーを押し  
(①)、詰まった記録紙  
を上側に引き出します  
(②)。



3

本体カバーをいったん開け、閉じます。  
液晶ディスプレイのエラー表示が解除されます。

・使本  
目い書  
次方の

・操  
作  
作  
ル

備前ご  
の使  
用  
準  
用

本前ご  
設の使  
用基  
用

送フ  
信ア  
ク  
ス

受フ  
信ア  
ク  
ス

機フ  
能ア  
応ク  
用  
ス

・レ  
ポ  
ス  
ト

コ  
ピ  
ー

お日  
手常  
入れの

と困  
つ  
に  
はた

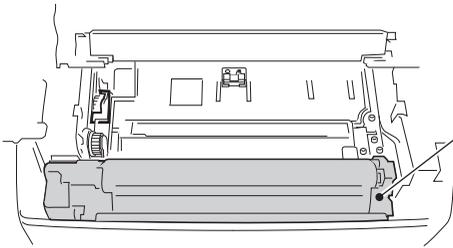
索用仕  
引語様  
集・

## ● 内部で記録紙がつまったときは



### 警告

本機の使用後、機器の内部には非常に高温になっている部分があります。本機の本体カバーを開いたときは、下図の網がけされた部分には絶対に触れないでください。



 高温注意

1

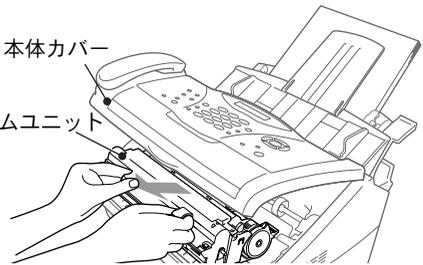
本体カバーを開きます。

2

ドラムユニットを取り出します。

本体カバー

ドラムユニット



3

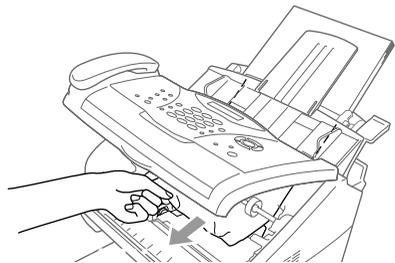
つまった記録紙を引き出します。

4

ドラムユニットを取り付けます。

5

本体カバーを閉じます。



**注意**

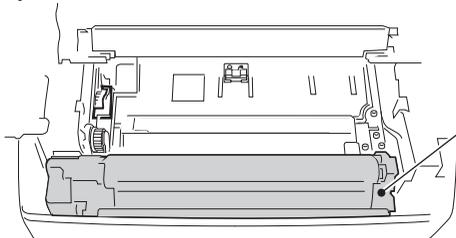
■ 紙づまりした記録紙を無理に取り除くと、本機内部に紙が残ったり、これから印刷される記録紙にトナーが付着する場合があります。

# 本体の掃除



## 警告

本機の使用直後は、機器の内部には非常に高温になっている部分があります。本機の本体カバーを開けたときは、下図の網がけされた部分には絶対に触れないでください。



高温注意



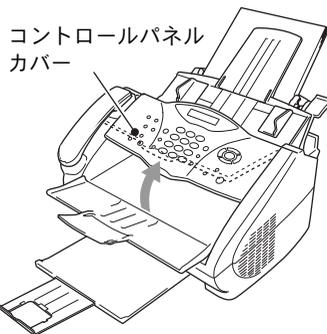
■ 操作パネルはアルコールを浸した布で拭かないでください。操作パネル上の印刷が消えることがあります。

## ● キャビネット内部のお手入れ

いつもきれいな画質を得るために読み取り部の清掃を行ってください。読み取り部が汚れていると、そのまま画質の汚れとなって送信やコピーされます。送信やコピーで黒っぽくなったり、細かい線が入るときには、読み取り部を清掃してください。

1

本体の電源コードを抜いて、コントロールパネルカバーを開きます。



☞ 次ページへ続く

キャビネット内部のお手入れ

・使本  
目い書  
次方  
の

ハ操  
作  
パ  
ネ  
ル

備前  
ご  
の  
使  
用  
準  
準

本前  
ご  
使  
用  
基  
定  
基  
準

送フ  
信ア  
ス

受フ  
信ア  
ス

機フ  
能ア  
応ク  
用ス

・レ  
リ  
ポ  
ス  
ト

コ  
ピ  
ー

お日  
手常  
入の  
れ

と困  
っ  
た  
時  
に  
は

索用  
引仕  
語様  
集  
・

**2**

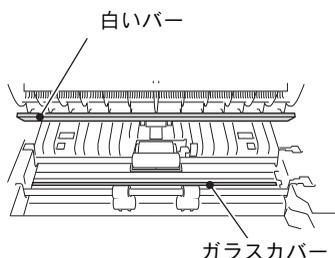
ドラムユニットを取り出します。

**3**

少し濡らしたきれいな布で本機の汚れをふき取ります。

**4**

きれいで柔らかい布に、OAクリーナーをひたして、白いバーとガラスカバーを清掃します。

**5**

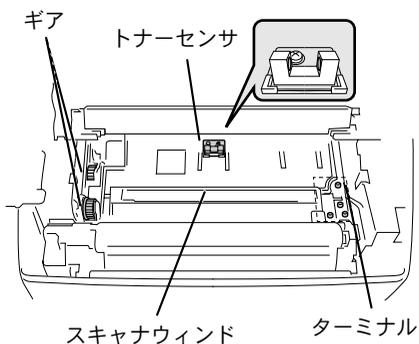
ターミナルをOAクリーナーに浸した柔らかい布できれいに拭きます。

**6**

かわいたきれいな布でギアを拭きます

**7**

トナーセンサとスキャナウィンドを乾いた布でやさしく拭きます。

**注意**

- キャビネット内部の手入れに、シンナーやベンジンは使用しないでください。
- トナーセンサとスキャナウィンドは、アルコールで拭かないでください。
- スキャナウィンドには指で触れないでください。
- ドラムユニットの取り出しに注意してください。衣類が汚れることがあります。

補足

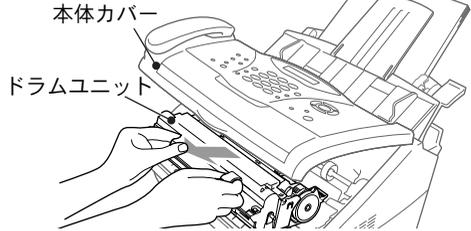


- 無水エタノール、OAクリーナー、メガネクリーナー、カセット用ヘッドクリーナー、CD用レンズクリーナーなどをご使用ください。

# ● スキャナウインドの清掃

1

本体の電源コードを抜いて、本体カバーを開きます。

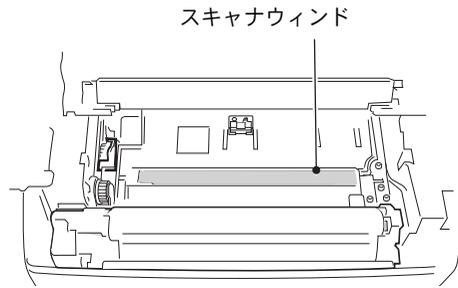


2

ドラムユニットを取り出します。

3

乾いた布でスキャナウインドを拭きます。



・使  
目  
い  
書  
次  
方  
の

ハ  
操  
作  
ル

備  
前  
ご  
の  
使  
用  
準  
用

本  
前  
ご  
設  
の  
使  
定  
基  
用

送  
フ  
ア  
信  
ク  
ス

受  
フ  
ア  
信  
ク  
ス

機  
の  
能  
応  
用  
フ  
ア  
ク  
ス

・レ  
ポ  
ス  
ト

コ  
ピ  
ー

お  
日  
手  
常  
入  
れ  
の

と  
困  
っ  
た  
時  
に  
は

索  
用  
仕  
引  
語  
様  
集  
・

## ● ドラムユニットのお手入れ

ドラムユニットのお手入れを行わないと、印刷されたページに黒い縦線が入ったり、全体に黒く汚れがついたりします

1

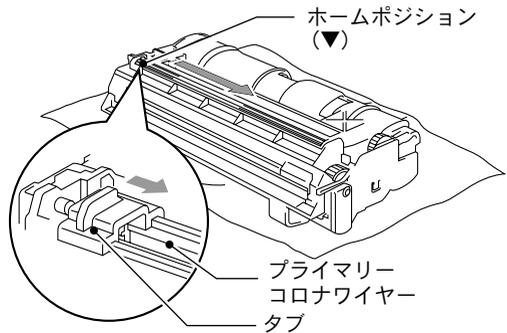
ドラムユニットを裏返します。

2

タブを右から左に数回ゆっくりと滑らせて、ドラムユニット内部のプライマリーコロナワイヤーをきれいにします。

3

タブをホームポジション(▼)に戻します。



**注意**

- タブをホームポジション(▼)に戻さないと、印刷されたページに縦縞が現れます。
- ドラムユニットを掃除するときは、大きな使い捨ての紙の上に置いて、トナーがこぼれたり飛び散らないようにしてください。

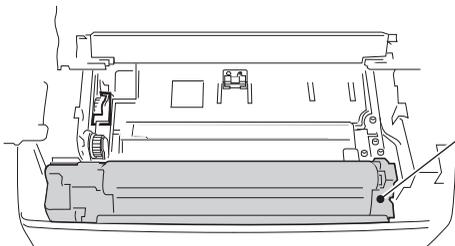
## ● トナーカートリッジの交換

トナーカートリッジは、一般的なビジネス文書（印刷面積比約 5%）を A4 の記録紙に印刷した場合、約 2,200 ページの印刷が可能です。トナーが減ってくると、液晶ディスプレイに「マモナク トナー ギレデス」と表示されます。このメッセージが表示されてから、約 500 ページを印刷した頃が交換の目安です（一般的なビジネス文書（印刷面積比約 5%）を A4 の記録紙に印刷した場合）。



### 警告

本機の使用直後は、機器の内部には非常に高温になっている部分があります。本機のトップカバーを開けたときは、下図の網がけされた部分には絶対に触れないでください。



高温注意



### 警告

誤ってトナーが目に入ってしまったときは、すぐに水で洗い流してください。もし炎症などの症状があらわれた場合は、医師にご相談ください。

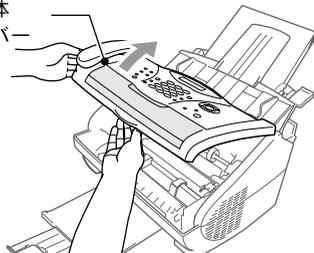
トナー（使用済みトナーを含む）またはトナーの入った容器を火中に投入しないでください。

トナー粉がはねて、火傷の原因になります。

1

本体の電源コードを抜いて、  
本体カバーを開きます。

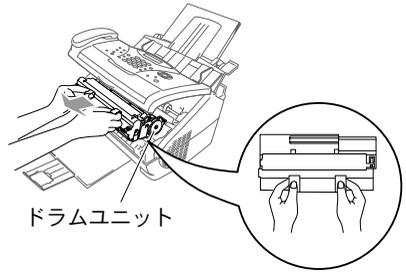
本体  
カバー



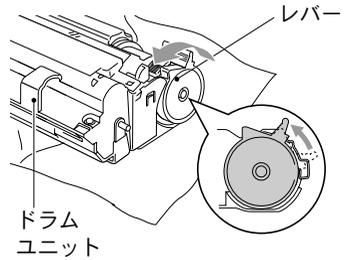
☞ 次ページへ続く

**2**

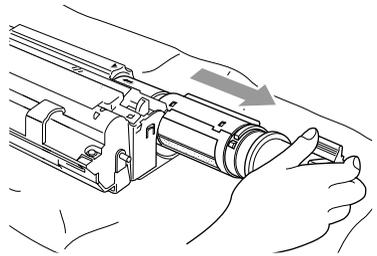
ドラムユニットを図のよう  
に取り外します。

**3**

トナーカートリッジのレ  
バーを、止まるまでゆっく  
りと手前に回します。

**4**

ドラムユニットから使用済  
みのトナーカートリッジを  
ゆっくりと引き抜きます。

**5**

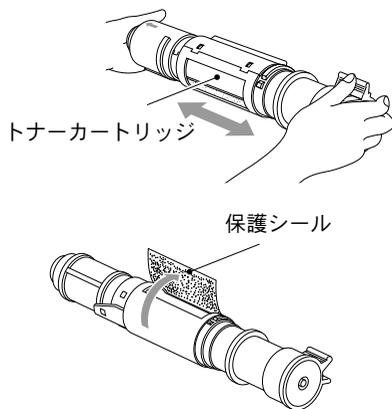
新しいトナーカートリッジ  
を開封して取り出します。

新しいトナー カートリッジ    使用済みのトナー  
カートリッジ

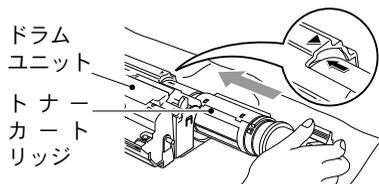


**6**

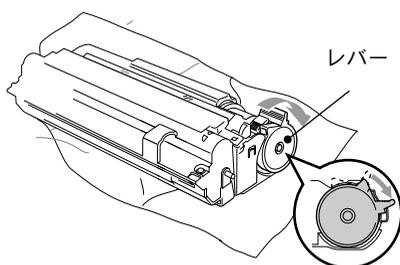
トナーカートリッジを左右に5、6回ゆっくりと振ってから、保護シールを取り除きます。

**7**

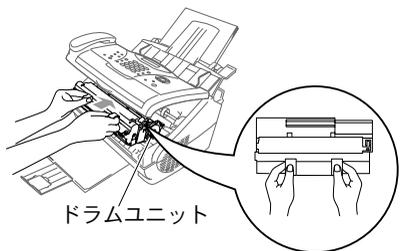
新しいトナーカートリッジをドラムユニットに差し込みます。このとき、トナーカートリッジのガイド矢印がドラムユニットのガイド矢印に正確に揃っていることを確認してください。

**8**

トナーカートリッジのレバーを、止まるまで矢印の方向にゆっくり回します。

**9**

ドラムユニットをもう一度取り付け、本体カバーを閉めます。



・使本  
目い書  
次方の

・操  
作  
ネ  
作  
ル

・備前  
ごの  
使用  
準  
用

・本前  
ごの  
使用  
設  
定  
基  
用

・送  
信  
フ  
ァ  
ク  
ス

・受  
信  
フ  
ァ  
ク  
ス

・機  
能  
フ  
ァ  
ク  
ス  
応  
用

・レ  
ポ  
ス  
ト

・コ  
ピ  
ー

・日  
常  
の  
手  
入  
れ

・と  
困  
っ  
た  
時  
に  
は  
た

・索  
引  
仕  
様  
集  
・



- トナーカートリッジは、本機に取り付ける直前に開封してください。トナーカートリッジを開封したまま長期間放置すると、トナーの寿命が短くなります。
- トナーカートリッジは、最高の印刷品質を保証するように特別に調整されたブラザー純正品（商品名：TN-10J、商品コード：54X-X26-001-47）をご使用ください。他のブランドのトナーカートリッジやリサイクルトナーを使用した場合、ファクス機器の保証が無効になります。
- 使用済みのトナーカートリッジを廃棄するときは、アルミニウムバッグに入れ、しっかりと封をして、粉末がカートリッジからこぼれないようにしてください。また、地域の規則に従って廃棄してください。
- ドラムユニットにはトナーが入っているので取り扱いには注意してください。トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

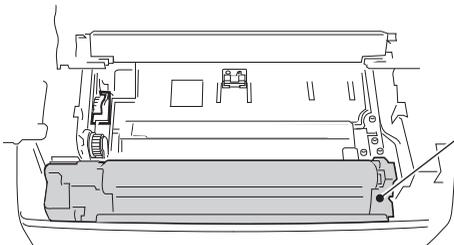
## ● ドラムユニットの交換

液晶ディスプレイに「ドラム コウカン ジキデス」と表示された場合は、新しいドラムユニットと交換する必要があります。



### 警告

本機の使用直後は、機器の内部には非常に高温になっている部分があります。本機のトップカバーを開けたときは、下図の網がけされた部分には絶対に触れないでください。



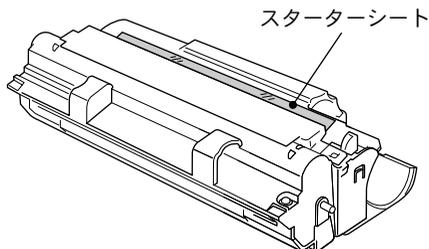
 高温注意

誤ってトナーが目に入ってしまったときは、すぐに水で洗い流してください。もし炎症などの症状があらわれた場合は、医師にご相談ください。

トナー（使用済みトナーを含む）またはトナーの入った容器を火中に投入しないでください。  
トナー粉がはねて、火傷の原因になります。

### 注意

■ ドラムユニットを交換する際に、透明のスターターシートは取り除かないでください。



・使  
目  
い  
書  
次  
方  
の

ハ  
操  
ネ  
作  
ル

備  
前  
ご  
の  
使  
用  
準  
用

本  
前  
ご  
使  
用  
設  
定  
基  
準

送  
フ  
ア  
ク  
ス  
信  
ス

受  
フ  
ア  
ク  
ス  
信  
ス

機  
フ  
ア  
ク  
ス  
能  
応  
用  
ス

・レ  
ポ  
ス  
ト

コ  
ピ  
ー

お  
日  
手  
常  
入  
れ  
の

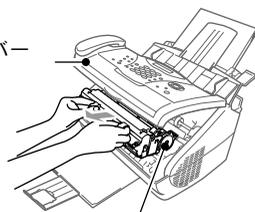
と  
困  
っ  
た  
時  
に  
は  
た

索  
用  
仕  
引  
語  
集  
・

**1**

本体カバーを開きます。

本体カバー



ドラムユニット

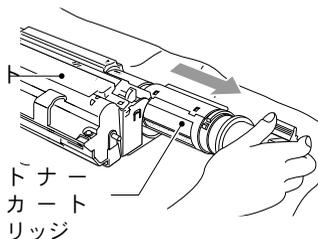
**2**

使用済みのドラムユニットを取り外します。

**3**

ドラムユニットからトナーカートリッジを取り外し、安全な場所に保管します。

ドラム  
ユニット



トナー  
カート  
リッジ

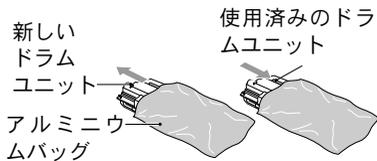
**4**

新しいドラムユニットを開封して取り出します。

新しい  
ドラム  
ユニット

使用済みのドラ  
ムユニット

アルミニウ  
ムバッグ

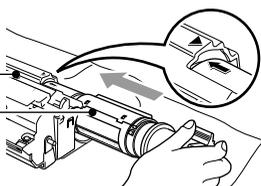
**5**

手順3で保管しておいたトナーカートリッジを、新しいドラムユニットに取り付けます。

このとき、トナーカートリッジのガイド矢印がドラムユニットのガイド矢印に正確に揃っていることを確認してください。

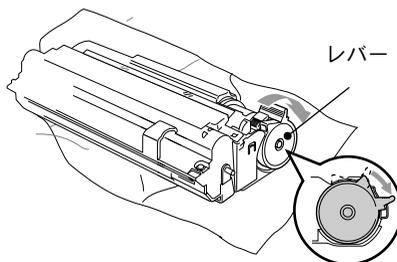
ドラム  
ユニット

トナー  
カート  
リッジ



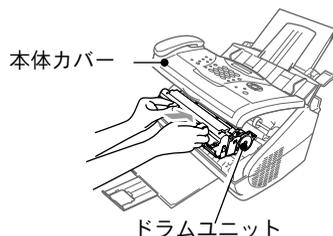
6

トナーカートリッジのレバーを、止まるまで矢印の方向にゆっくり回します。

・使  
目  
い  
書  
次  
方  
のハ  
操  
ネ  
作  
ル備  
前  
ご  
の  
使  
用  
準  
本  
前  
ご  
設  
定  
使  
用  
基  
準送  
フ  
ア  
ク  
ス  
信  
ス

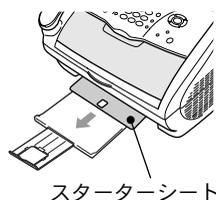
7

ドラムユニットをもう一度取り付け、本体カバーを閉めます。

受  
フ  
ア  
ク  
ス  
信  
ス機  
フ  
ア  
ク  
ス  
能  
使  
用  
ス

8

しばらくすると、スターターシートが自動的に排出されます。

・レ  
リ  
ポ  
ス  
トコ  
ピ  
ーお  
日  
手  
常  
入  
れ  
のと  
困  
き  
っ  
は  
た索  
用  
仕  
引  
語  
様  
集  
・

補足



- 液晶ディスプレイに「ドラム コウカン ジキデス」と表示されていても、しばらくの間はドラムユニットを交換せずに継続して印刷できることもあります。しかし、印刷品質が目立って低下した場合は、ドラムユニットを交換することをお勧めします。
- トナーカートリッジの交換については **P. 167** を参照してください。
- ドラムユニットは消耗品で、定期的な交換が必要です。実際のドラムの寿命には温度、湿度、記録紙のタイプ、使用するトナー、印刷ジョブあたりのページ数など多くの要因が影響します。ドラムの寿命は、連続印刷で約 20,000 ページ、間欠印刷で約 8,000 ページと見積もることができます。ドラムで印刷できる実際のページ数は、使用条件によって変動します。
- 上記の印刷可能ページ数、ドラム寿命は一般的な数値であり、弊社が保証するものではありません。



- ドラムユニットは、本機に取り付ける直前に開封してください。
- 開封したドラムユニットが過度の直射日光や室内光を受けると、ユニットが損傷することがあります。
- ドラムユニットにはトナーが入っているので、取り扱いには注意してください。
- ドラムユニットを交換した後は、本機をきれいに掃除してください。
- トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。
- 使用済みのドラムユニットを廃棄するときは、アルミニウムバッグに入れ、しっかりと封をして、粉末がカートリッジからこぼれないようにしてください。また、地域の規則に従って廃棄してください。
- スキャナウィンドには手を触れないでください。

# 10章

## 困ったときには

■ 困ったときには.....	176
こんなときには.....	176
エラーメッセージ.....	177
Q&A.....	180
故障かな?と思ったら.....	186

・使本  
目い書  
次方の

バ操  
ネ作  
ル

備前ご  
の使  
準用

本前ご  
設の使  
定基用

送フ  
信ア  
ク  
ス

受フ  
信ア  
ク  
ス

機フ  
能ア  
応ク  
用ス

・レ  
リポ  
スト

コ  
ピ  
ー

お日  
手常  
入れ  
の

と困  
きつ  
には  
た

索用仕  
引語様  
集・

## 困ったときには

### ● こんなときには

本機をご利用中に問題が発生したら、修理を依頼される前に以下の項目をチェックしていただき、対応する処置を行ってください。それでも問題が解決しないときは

お客様相談窓口 **0120-143410** へご連絡ください。

- 液晶ディスプレイにエラーが表示される。…………… **P. 177**
- トラブルの原因が分からない。…………… **P. 186**
- 本機の詳しい仕様が知りたい。…………… **P. 194**
- 用語が分からない。…………… **P. 197**
- 消耗品を注文したい。…………… 巻末のご注文シートをご利用ください。

## ● エラーメッセージ

本機や電話回線に異常が発生した場合は、エラーメッセージとともに処置方法が液晶ディスプレイに表示されます。液晶ディスプレイに表示された処置方法や、下記の処置を行ってもエラーが解決しないときは、お客様相談窓口 0120-143410 へ連絡してください。

液晶ディスプレイ表示	原因	処置
アイサキ カニン	相手先が電話回線を切りました。ポーリング設定が間違っています。パスワードが間違っています。ファクス信号に応答しません。	相手先を確認してください。ポーリングのパスワードを確認してください。 <b>P. 114</b> <b>P. 117</b>
ウォーミンク アップ シバラク オマチクダサイ	装置内部の温度が低くなっています。	しばらくお待ちください。
カセシヤクテイ シテクダサイ	自動で回線種別を設定することができませんでした。	手動で回線種別を設定してください。 <b>P. 33</b>
カートリッジヲ カニン カバ-ヲアケテ トナー トリツクテクダサイ	トナーカートリッジが装着されていません。	トナーカートリッジを装着してください。
カバ-ガ アイイマス カバ-ヲ トジテクダサイ	本体カバーが完全に閉じていません。	本体カバーを一度開け、再度閉じてください。
カバ-ヲ アケテクダサイ	機械内部で記録紙などがつまりました。	本体カバーを開け、記録紙を取り除き、本体カバーを閉じてください。 <b>P. 162</b>
	本機に何らかの機械的な異常が発生しました。	お客様相談窓口 0120-143410 へ連絡してください。
キロクシ カニン カバ-ヲアケテ ツマツキキロクシ トリノゾ イテクダサイ	記録紙がつまりました。	本体カバーを開けてつまった記録紙を取り除いてください。 <b>P. 162</b>
キロクシ カニン レバ-ヲオンナガラ キロクシヲセツシテ ファクススタートホ タンヲ オンテクダサイ	記録紙がないか、正しくセットされていません。	記録紙を補給するか、正しくセットしてください。
キロクシサイズヲ カニン A4 サイズノ キロクシヲセツシテ ファクススタートホ タンヲ オンテクダサイ	記録紙に A4 サイズ以外の記録紙がセットされています。	A4 サイズの記録紙をセットしてください。
ケルダウ	ドラムユニットまたはトナーカートリッジの温度が高くなりました。	ドラムユニットとカートリッジの温度が下がるまでお待ちください。

・使  
目  
い  
書  
次  
方  
の

パ  
操  
ネ  
作  
ル

備  
前  
ご  
の  
使  
用  
準  
用

本  
前  
ご  
設  
定  
の  
使  
用  
基  
用

送  
フ  
ア  
ク  
ス  
信  
息

受  
フ  
ア  
ク  
ス  
信  
息

機  
能  
フ  
ア  
ク  
ス  
応  
用  
ス

・レ  
リ  
ポ  
ス  
ト

コ  
ピ  
ー

お  
日  
常  
入  
れ  
の

と  
困  
っ  
た  
時  
に  
は

索  
用  
仕  
引  
語  
集  
様  
集  
・

液晶ディスプレイ表示	原因	処置
ゲンコウカクン ゲンコウ トリノイ テイホク タノ オシテカタ サイ	原稿送りが適正に行われませんでした。	原稿を取り除いて、「停止/終了」ボタンを押してください。
ソウチカクン XX デンゲンソヌスイ コールセンター マデ コレンラククタ サイ	本機に何らかの異常が発生しました。	お客様相談窓口 0120-143410 までご連絡ください。
ツウシンエラー	電話回線の状態が悪い可能性があります。	少し時間を置いて、もう一度かけ直してください。
	相手が、ポーリングモードを設定していなかった可能性があります。	相手先のポーリング設定を確認してください。 <b>P. 114</b> <b>P. 117</b>
デンワキ コード ヲ セツゾク シテカタ サイ	電話機コードが正しく接続されていません。	電話機コードを正しく接続してください。「かんたん設置ガイド」を参照してください。
トウロク サレテ イマセン	電話番号／ファクス番号が登録されていないワンタッチダイヤル番号／短縮ダイヤル番号を押しました。	電話番号／ファクス番号を登録してください。登録されているかどうかはダイヤルリストをご確認ください。
トナーガ ナクナリマシタ カハアヲアケテ トナーヲ コウカンシテカタ サイ	トナーがなくなったので、印刷できません。	トナーカートリッジを新しいものと交換してください。
ドラム コウカン ジギキス	ドラムユニットの寿命です。	ドラムユニットを新しいものと交換してください。
ハシチュウ / オウトウシ	相手先が話し中か、応答がありませんでした。	少し時間を置いて、もう一度かけ直してください。
プリンタ ショウチュウ	本機のプリンタが動作中です。	動作が終了してから再度操作してください。
メモク トナー ギレデス	トナーが残り少なくなっています。	新しいトナーカートリッジを注文します。ご注文シートをご利用ください。 <b>P. 203</b>
メモリーガ イッパイ イマス	メモリーがいっぱいです。	メモリー内部の記録を印刷するか、メモリーの内容を消去してください。

液晶ディスプレイ表示	原因	処置
メモリーがいっぱいです コピー：コピーボタン トリケシ：キャンセル	メモリーがいっぱいです。	コピーする原稿を分けてコピーするか、「停止/終了」ボタンを押し、コピーを中止してください。
メモリーがいっぱいです トリケシ：キャンセル	メモリーがいっぱいです。	「停止/終了」ボタンを押し、コピーを中止してください。
メモリーがいっぱいです ファクスジュシンドーター ショウキョシテクダサイ	メモリーがいっぱいです。	メモリー内部の記録を印刷するか、メモリーの内容を消去してください。
メモリーがいっぱいです ソウシン：スタートボタン トリケシ：キャンセル	メモリーがいっぱいです。	「ファクススタート」ボタンを押し、読み込んだ分だけ送信するか、「停止/終了」ボタンを押し、ファクスを中止してください。

・使本  
目い書  
次方の

バ操  
ネ作  
ル

備前ご  
の使  
準用

本前ご  
設の使  
定基用

送フ  
信ァ  
クス

受フ  
信ァ  
クス

機フ  
能ァ  
応ク  
用ス

・レ  
リポ  
スト

コ  
ピ  
ー

お日  
手常  
入れの

と困  
きは  
た

索用仕  
引語様  
集・

## ● Q&A

本機をご使用中に起こる可能性のある問題の解決方法を説明しています。何か問題が起こったら、関連する項目を見つけて、適切な処理を行ってください。

項目	問題	処置
印刷とファクスの問題	印刷結果が圧縮され、水平の縞が現れる。または、上部と下部の文章が切れる。	コピーが正常な場合、電話線に対する静電気や妨害によって接続状態が悪化している可能性があります。コピーが正常でない場合、スキャナ部分を清掃します。それでも問題が解決しない場合は、お客様相談窓口 0120-143410 にご連絡ください。
	垂直の縞が現れる。または、受信したファクスに黒い線が現れる。	本機のプライマリーコロナワイヤーが汚れているか、送信側のファクススキャナが汚れている可能性があります。プライマリーコロナワイヤーを清掃する <b>P. 166</b> ▶ か、送信側の機器に問題がないことを確認するためにコピーをとってみてください。または、別のファクシミリから受信してみてください。それでも問題が解決しない場合は、お客様相談窓口 0120-143410 にご連絡ください。
	本機が声をファクス信号音として誤って検知してしまう。	「シヤツ ジュシン」が「ON」に設定されていると、音に対して敏感になります。本機は回線上の特定の音声をファクス機器の呼び出しと間違っ、ファクスの受信トーンで応答することがあります。親子電話をお使いの場合は「#51」を押し、本機または外付電話をお使いの場合は「停止/終了」ボタンを押します。「シヤツ ジュシン」を「OFF」にしてこの問題が解決できないか試してください。 <b>P. 108</b> ▶
	水平の縞が現れる。または、行が抜ける。	通常、この現象は電話の接続が悪いことが原因です。相手にファクスを再送するように依頼してください。
	受信したファクスでページが分割されて2ページに印刷されたり、余分な空白のページが現れる。	自動縮小を「ON」に設定してください。 <b>P. 111</b> ▶

項目	問題	処置
電話回線または接続	ダイヤルできない。	電話回線の種別を調べます。 <b>P. 34</b> 手動で回線種別を設定します。 <b>P. 33</b> すべての回線コードの接続を確認し、受話器コードが外付電話 (EXT.) 端子に接続されていないことを確認します。電源コードの接続を確認します。
	受信時に本機が応答しない。	本機が正しい受信モードに設定されていることを確認します。ダイヤル音を確認します。可能なら本機に電話して応答が聞こえることを確認します。それでも応答しない場合は、電話機コードの接続を確認します。受話器を本機の電話ジャックに接続します。本機を呼び出しても呼び出し音がしないときは、電話会社に連絡して回線を確認してもらってください。
	受話器でダイヤル音が聞こえない。	本機と壁の電話機コンセントと電話機コードの接続を確認します。受話器コードが本機の受話器ジャックに接続されていることを確認します。
ファクスの送信	送信品質が悪い。	解像度をファインか、スーパーファインに変更します。 <b>P. 90</b> コピーをとり、本機のスキヤナ動作を確認します。
	送信確認レポートで「ケッカ：NG」と印刷される。	電話回線で一時的なノイズや静電気が発生しています。もう一度ファクスを送信してみます。問題が続いている場合、電話会社に連絡して電話回線を確認してもらってください。
	受信側で図が明瞭でない。	ファクスの送信時に選択した解像度が適切でないことがあります。ファインまたはスーパーファインモードを使用してファクスを再送信します。また、本機のスキヤナが汚れている可能性があるので、きれいにします。 <b>P. 165</b>
	受信側で受信したファクスに縦の縞が現れる。	本機のスキヤナが汚れているか、受信側の印字ヘッドが汚れている可能性があります。スキヤナをきれいにしたのち <b>P. 165</b> 、コピーをとって、使用している機器が問題の原因ではないことを確認します。

・使  
目  
い  
書  
次  
方  
の

ハ  
操  
作  
ル

備  
前  
ご  
の  
使  
用  
準  
用

本  
前  
ご  
設  
定  
の  
使  
用  
基  
用

送  
フ  
ア  
ク  
ス  
信  
ス

受  
フ  
ア  
ク  
ス  
信  
ス

機  
フ  
ア  
ク  
ス  
能  
使  
用  
ス

・レ  
リ  
ポ  
ス  
ト

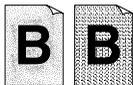
コ  
ピ  
ー

お  
日  
常  
入  
れ  
の

と  
困  
っ  
た  
時  
に  
は

索  
用  
仕  
引  
語  
集  
・

項目	問題	処置
受信通話の処理	通常モードで2回、呼び出し音が鳴る。	本機は受信通話がファクスでないことが分かると、電話に应答するように知らせます。本機の手話器を取るか親子電話で应答してから、本機のリモート起動番号（初期設定は「#51」）を押します。
	ファクスを本機に正常に転送できない。	本機で应答した場合は、「ファクススタート」ボタンを押してすぐに手話器を置きます。親子電話で应答した場合は、本機のリモート起動番号（初期設定は「#51」）を押します。本機が应答したら手話器を置きます。
一般的な印刷の問題	本機で印刷できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本機が接続されていることを確認します。</li> <li>・トナーカートリッジとドラムユニットが適切に取り付けられていることを確認します。</li> <li>・液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されていないことを確認します。</li> </ul> <b>P. 177</b>
コピー品質の問題	コピーに縦の縞が現れる。	<p>スキャナやプライマリーコロナワイヤーが汚れている可能性があります。両方をきれいにします。<b>P. 165</b> <b>P. 166</b></p> <p>カバーガラスなどが汚れている可能性もあります。白いバーとカバーガラスをきれいにします。<b>P. 163</b></p>
印刷品質の問題	印刷結果が濃すぎるか薄すぎる。	<p>コントラストを設定して印刷条件を調整します。お買い上げ時は中央位置に設定されています。<b>P. 150</b></p>

項目	問題	処置
印刷品質の問題	印刷されたページに白い線が現れる。 	きれいな柔らかい布でスキャナウィンドウを拭くと、この問題を解決できる場合があります。 <b>P. 165</b> それでも白い線が現れたり、印刷結果が薄く、液晶ディスプレイに「ドラム コウカン ジキデス」と表示される場合は、ドラムユニットを新しいものに交換します。
	印刷されたページが汚れていたり、垂直の線が現れる。 	本機の内部とトナーカートリッジのプライマリーコロナワイヤーをきれいにします。 <b>P. 166</b> コロナワイヤーのタブがホームポジションにあることを確認します。清掃後も黒い線やトナーの汚れが現れ、液晶ディスプレイに「ドラム コウカン ジキデス」と表示される場合は、ドラムユニットを新しいものに交換します。
	印刷されたページの黒い文字やグラフィックス領域に白い部分が現れる。 	設定に合った記録紙を使用していることを確認します。表面が粗い場合や記録紙が厚い場合、この問題が発生することがあります。このような原因がないのに白い点が現れ、液晶ディスプレイに「ドラム コウカン ジキデス」と表示される場合は、ドラムユニットを新しいものに交換します。
	印刷されたページにトナーが飛び散り汚れる。 	印刷条件を調整します。ドラムユニットを取り外し、本機の内部を清掃します。 <b>P. 163</b> 仕様に合った記録紙を使用していることを確認します。 <b>P. 28</b> これらの対策後もトナーが飛び散り、液晶ディスプレイに「ドラム コウカン ジキデス」と表示される場合は、ドラムユニットを新しいものに交換します。
	ページ全体が黒く印刷される。 	白いバーとガラスカバーを拭きます。 <b>P. 163</b> また、感熱紙はこの問題の原因になるので使用しないでください。清掃後も印刷ページが黒くなり、液晶ディスプレイに「ドラム コウカン ジキデス」と表示される場合は、ドラムユニットを新しいものに交換します。 <b>P. 171</b>

・使本  
目い書  
次方の

バ操  
ネ作  
ル

備前ご  
の使  
準用

本前ご  
設の使  
定基用

送フ  
ァア  
信ク  
ス

受フ  
ァア  
信ク  
ス

機フ  
能ァ  
応ク  
用ス

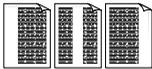
・レ  
リポ  
スト

コ  
ピ  
ー

お日  
手常  
入の  
れ

と困  
つ  
はた

索用仕  
引語様  
集・

項目	問題	処置
印刷品質の問題	<p>ページに何も印刷されない。</p> 	<p>トナーカートリッジが空でないことを確認します。            スキャナウィンドに、裂けた紙片が残っていないことを確認します。</p>
	<p>印刷されたページに規則的な間隔で跡が現れる。</p> 	<p>跡は自然に消えることもあります。この問題を解決するには、複数のページをコピーします。本機が長期間使用されていないと跡が現れることがあります。ドラムの表面の傷が原因であることもあります。その場合、ドラムユニットを新しいものに交換します。跡が消えないときは、ドラムに跡が付いているか、過度に光にさらされて損傷している可能性があります。その場合は、ドラムユニットを新しいものに交換します。</p>
	<p>印刷されたページの中心やどちらかの端に汚れが現れる。</p> 	<p>湿度、高温等の特定の環境条件がこの問題の原因になることがあります。本機が平らな面に設置されていることを確認します。トナーカートリッジを取り付けたままドラムユニットを取り外します。トナーカートリッジとドラムユニットを左右に振ります。スキャナウィンドを柔らかいきれいな布で拭き取ると、汚れたページの問題を解決できることがあります。<b>P. 165</b>            清掃後も汚れたページが発生し、液晶ディスプレイに「ドラム コウカン ジキデス」と表示される場合は、ドラムユニットを新しいものに交換します。<b>P. 171</b></p>
	<p>背景がグレイになる</p> 	<p>仕様に合った記録紙を使用していることを確認します。            本機が高温・高湿の場所に設置されていたことが原因の場合があります。いずれも該当しないときは、新しいトナーカートリッジ、ドラムユニットに交換してください。<b>P. 167</b> <b>P. 171</b></p>

項目	問題	処置
印刷品質の問題	ゴーストイメージが印刷されたページに現れる。  	印刷条件を調整します。仕様に合った記録紙を使用していることを確認します。表面が粗い記録紙や、厚い／薄い記録紙がゴーストイメージの原因になることがあります。
	印字面に触れると汚れる。	記録紙の設定に対して厚い記録紙をセットしています。設定を確認します。 <b>P. 154</b>
	紙がまるまって排出される。	記録紙の設定に対して薄い記録紙をセットしています。設定を確認します。 <b>P. 154</b>

・使本  
目い書  
次方の

バ操  
ネ作  
ル

備前ご  
の使  
準用

本前ご  
設の使  
定基用

送フ  
信ア  
クス

受フ  
信ア  
クス

機フ  
能ア  
応ク  
用ス

・レ  
リポ  
スト

コ  
ピ  
ー

お日  
手常  
入れの

と困  
きは  
た

索仕  
引用  
語様  
集

## ● 故障かな？と思ったら

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
原稿	原稿が送り込まれていかない。	原稿の先が軽くあたるまで差し込んでいますか。	原稿を一度取り出し、もう一度確実に挿入します。
		コントロールパネルカバーは確実に閉まっていますか。	コントロールパネルカバーをもう一度閉じ直します。
		原稿が厚すぎたり、薄すぎたりしていませんか。	推奨する厚さの原稿を使用します。 <b>P. 28</b>
		原稿が折れ曲がったり、カールしていたり、しわになっていませんか。	キャリアシートなどを使用してファクスやコピーをします。 <b>P. 74</b>
		原稿が小さすぎませんか。	
	原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていますか。	コントロールパネルカバーを開け、つまっている原稿を取り除きます。 <b>P. 160</b>	
	原稿が斜めになってしまう。	原稿ガイドを原稿に合わせていますか。	確実に原稿ガイドを原稿に合わせてみます。 <b>P. 74</b>
原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていますか。		コントロールパネルカバーを開け、つまっている原稿を取り除きます。 <b>P. 160</b>	

こんなときは	ここをチェック	対処方法
	電話機コードを正しく接続していますか。	電話機コードを正しく接続してください。「かんたん設置ガイド」を参照してください。
	原稿が正しくセットされていないのに送信しようとしていませんか。	原稿をもう一度取り出し、セットし直します。
	外付電話機が通話中ではありませんか。	外付電話の受話器を確認してください。
	回線種別は正しく設定されていますか。	回線種別を確認します。 <b>P. 34</b>
	ターミナルアダプタは正しく設定されていますか。(ISDN 回線の場合)	ターミナルアダプタの設定を確認します。
送信および受信	きれいにコピーがとれますか。	コピーに異常があるときは読み取り部の清掃をしてください。 <b>P. 165</b>
	相手先に異常がありませんか。	別のファクスから相手先に送信してみます。
	画質モードは適切ですか。	画質を変更して送信します。 <b>P. 90</b>
	キャッチホンが途中で入っていませんか。	「キャッチホンII」のサービスに変更し、「キャッチホンII」の呼出ベル回数を0回に設定してください。「キャッチホンII」の詳細内容はNTTの116番におたずねください。
	並列接続された別の電話機の受話器を上げていませんか。	並列接続はしないようにします。
	本機の読み取り部分が汚れているか、または受信側のプリンタのヘッドが汚れている可能性があります。	スキャナの清掃を行って送信します。 <b>P. 165</b> それでも現象が変わらなければ、相手のファクスの状態を調べてもらいます。

・使本  
目い書  
次方の

バ操  
作  
ネ  
作  
ル

備前ご  
の使  
準用

本前ご  
設の使  
定基用

送フ  
信ァ  
おクス

受フ  
信ァ  
おクス

機フ  
能ァ  
応ク  
用ス

・レ  
リポ  
スト  
ト

コ  
ピ  
ー

お日  
手常  
入の  
れ

と困  
きは  
た

索用仕  
引語様  
集・

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
受信	リモート起動できない。	リモート起動の設定は「ON」になっていますか。	リモート起動設定を「ON」にします。 <b>P. 110</b>
		リモート起動番号を正しくダイヤルしましたか。	リモート起動番号を正しく設定します。 <b>P. 110</b>
		メモリーがいっぱいになっていませんか。	メモリー内部の記録を印刷するか、メモリーの内容を消去してください。 <b>P. 102</b> <b>P. 122</b>
	受信しても、記録紙が出てこない。	記録紙は正しくセットされていますか。	記録紙を正しくセットします。「かんたん設置ガイド」を参照してください。
		記録紙がつまっていませんか。	本機内部を確認します。 <b>P. 162</b>
		記録紙がなくなっていますか。	記録紙がセットされていることを確認します。「かんたん設置ガイド」を参照してください。
トナーの残量は十分ですか。		液晶ディスプレイを確認します。	
2枚に分かれて印刷される。	送信側の原稿がA4より長いことが考えられます。	自動縮小の設定を「ON」にします。 <b>P. 111</b>	
ナンバーディスプレイ	電話番号が表示されない。	並列接続していませんか。	並列接続はおやめください。
		本機の設定が正しくされていますか。	本機の設定内容を確認します。 <b>P. 70</b>

こんなときは	ここをチェック	対処方法
電話を受けても本機のベルが鳴らない（電話をかけた側は、呼び出し続けている）。	電話回線が接続されているか確認します。	確実に本機に接続します。「かんたん設置ガイド」を参照してください。
	電源が入っているか確認します。	電源コードを接続します。
	ターミナルアダプタ の設定を確認してください。	何も接続していない空きアナログポートは「使用しない」に設定してください。
	契約回線番号およびダイヤルイン番号、i・ナンバー情報は正しく入力されているか確認してください。	それでもうまくいかないときは、お使いになっているターミナルアダプタのメーカーまたは最寄りの NTT におたずねください。
1～2 回おきにしか本機が接続されているアナログポートに、着信しない。	「着信優先」または「応答平均化」を使用する設定の場合、1～2 回おきにしか着信できません。	「着信優先」または「応答平均化」を解除します。
* I S D N 回線 電話をかけた側で、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています…」とメッセージが聞こえてつながらない（電話を受けた側の呼出ベルは鳴らない）。	本機を接続しているアナログポートの設定内容を確認します。	本機を接続しているアナログポートの設定を「電話」にしてください。 契約回線番号のアナログポートに本機を接続している場合 ・サブアドレスなし着信は「着信する」に設定してください。 ・HLC 設定は「HLC 設定しない」に設定してください。 ・識別着信は「識別着信しない」に設定してください。
		ダイヤルイン番号または i・ナンバー情報のアナログポートに本機を接続している場合 ・ダイヤルイン番号または i・ナンバー情報を登録してください。 ・サブアドレスなし着信は「着信する」に設定してください。 ・HLC 設定は「HLC 設定しない」に設定してください。 ・識別着信は「識別着信しない」に設定してください。

\* ターミナルアダプタとダイヤルアップルーターの設定項目の名称は、お使いの機器の製造メーカー、機種によって異なります。

・使  
目  
い  
書  
次  
方  
の

操  
作  
ル

備  
前  
ご  
の  
使  
用  
準  
用

本  
前  
ご  
設  
定  
の  
使  
用  
基  
用

送  
信  
ス  
ク  
ス

受  
信  
ス  
ク  
ス

機  
能  
の  
使  
用  
ス  
ク  
ス

・レ  
リ  
ポ  
ス  
ト

コ  
ピ  
ー

お  
日  
常  
入  
れ  
の

と  
困  
っ  
た  
時  
に  
は

索  
用  
仕  
引  
語  
集  
・

こんなときは		ここをチェック	対処方法
* I S D N 回 線	電話をかけた側で、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しているか、故障していませんか…」とメッセージが聞こえてつながらない（電話を受けた側の呼出ベルは鳴らない）。	相手側ターミナルアダプタの設定を確認します。	相手も ISDN 回線の場合、相手側ターミナルアダプタの設定が誤っていることもあります。この場合、アナログ回線に接続したファクスと送・受信できれば本機を接続しているターミナルアダプタの設定は正しいこととなります。
		ターミナルアダプタの自己診断モードで ISDN 回線の状況を確認します。	異常があった場合は NTT 故障係（113）へご連絡ください。
	契約回線番号のアナログポートに電話がかかってきたのに、ダイヤルイン追加番号のアナログポートに接続した機器の呼出ベルも一緒に鳴る。	ダイヤルイン番号を着信させるアナログポートのグローバル着信を確認します。	ダイヤルイン番号を着信させるアナログポートはグローバル着信「しない」に設定してください。
	特定の相手とファクス通信できない。	別のファクスから送信して、うまくいくかどうか確認してください。	それでもうまくいかないときは、お客様相談窓口 0120-143410 へご連絡ください。
	NTT のナンバー・ディスプレイの契約をしているのに番号が表示されない	本機を接続しているターミナルアダプタのアナログポートから、番号情報が送出される設定になっているか確認します。	ターミナルアダプタのアナログポートから番号情報が送出されるように設定してください。
	ファクス送受信ができない（電話はかけることも、受けることもできる）。	ターミナルアダプタの自己診断モードで ISDN 回線の状況を確認します。異常があった場合は NTT 故障係（113）へご連絡ください。	回線に異常がなければ、お客様相談窓口 0120-143410 へご連絡ください。
その他	電源が入らない。	電源コードは確実に差し込まれていますか。	電源コードを確実に差し込みます。

\* ターミナルアダプタとダイヤルアップルーターの設定項目の名称は、お使いの機器の製造メーカー、機種によって異なります。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
A D S L 環 境	ADSL にする前と比較して自分の声が響く、または相手の声が聞きづらい。	ADSL のスプリッタが影響している可能性があります。	ADSL 回線のスプリッタを交換すると改善する場合があります。 ブラザー推奨品：NTT 東日本 / 西日本製
	通話中に雑音が入るまたは音量が小さくなった。	他の機器と並列接続していませんか	並列接続をしないでください。 ラインセパレータを使用すると改善する場合があります。ラインセパレータはパソコンショップでお買い求めになれます。
	ファクス通信でエラー発生が多くなった。		
	特定の相手との通信ができない。	IP 回線どうしの通信ではありませんか	ご利用のプロバイダへファクス通信が保証されていることを確認してください。

・使  
本  
目  
い  
書  
次  
方  
の

バ  
操  
作  
作  
ル

備  
前  
ご  
の  
使  
用  
準  
用

本  
前  
ご  
使  
用  
設  
定  
基  
用

送  
フ  
ア  
ク  
ス  
信  
ス

受  
フ  
ア  
ク  
ス  
信  
ス

機  
の  
フ  
ア  
ク  
ス  
機  
能  
応  
用  
ス

・レ  
リ  
ポ  
ス  
ト

コ  
ピ  
ー

お  
日  
手  
常  
入  
れ  
の

と  
き  
に  
は  
困  
っ  
た

索  
用  
仕  
引  
語  
様  
集  
・



# 11 章

## 仕様・用語集・索引

■ 本装置の仕様 .....	194
ファクシミリ .....	194
電源と使用環境 .....	195

・使本  
目い書  
次方の

ハ操  
ネ作  
ル

備前ご  
の使  
準用

本前ご  
設の使  
定基用

送フ  
信ア  
ス

受フ  
信ア  
ス

機フ  
能ア  
応ク  
用ス

・レ  
リポ  
スト

コ  
ピ  
ー

お日  
手常  
入れの

と困  
きつ  
にはた

仕  
用  
語  
集  
・  
索  
引

# 本装置の仕様

## ● ファクシミリ

互換性	ITU-T グループ 3(G3)
圧縮方式	MH/MR/MMR
通信速度	14400/12000/9600/7200/4800/2400bps (自動フォールバック付き)
直流抵抗値	199Ω
原稿サイズ幅	最大：257mm 最小：148mm
原稿サイズ長さ	最大：370mm 最小：100mm
有効読み取り幅	252mm
原稿セット枚数	20 枚
記録紙トレイ枚数	200 枚 (80g/m <sup>2</sup> )
記録紙サイズ	A4 (幅 210mm ×長さ 297mm)
電送時間	約 6 秒 * <sup>1</sup>
グレースケール	64 階調
液晶ディスプレイ表示	16 桁 × 1 行
読み取り方式	密着イメージセンサによる読み取り
代行受信枚数	最大 200 枚 (4MB) * <sup>2</sup>
走査線密度	主走査： 8 ドット /mm 副走査： 3.85 本 /mm (標準) 7.7 本 /mm (ファイン / 写真) 15.4 本 /mm (S. ファイン)
ポーリングタイプ	標準 / 機密 / 時間指定
適用回線	一般電話回線

\*1: A4 判 700 字程度の原稿を標準的画質 (8 ドット × 3.85 本 /mm)、高速モードで送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送時間です。通信の制御時間は含まれていません。なお、実際の電送時間は原稿の内容および回線状況によって異なります。

\*2: A4 判 700 字程度の原稿を標準的画質 (8 ドット × 3.38 本 /mm) で蓄積した場合 (MMR 圧縮時)

## ● 電源と使用環境

使用環境	温度：10～32.5℃ 湿度：20～80%（結露なきこと）
電源	AC100V ± 10V 50/60Hz
消費電力	スリープ時：約 10Wh 以下 待機時：約 70Wh 以下 ピーク時：約 940Wh 以下
稼働音	待機時：39dB 以下 動作時：50dB 以下
メモリ容量	4MB
外形寸法	395（横幅）× 359（奥行き）× 243（高さ）mm （突起部を除く）
質量	約 7.5kg

### 補足



- 外観・仕様などは、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

・使  
目  
い  
書  
次  
方  
の

ハ  
操  
ネ  
作  
ル

備  
前  
ご  
の  
使  
準  
用

本  
前  
ご  
設  
の  
使  
定  
基  
用

送  
フ  
ア  
信  
ク  
ス

受  
フ  
ア  
信  
ク  
ス

機  
の  
フ  
ア  
能  
応  
用  
ス

・レ  
リ  
ポ  
ス  
ト

コ  
ピ  
ー

お  
日  
手  
常  
入  
れ  
の

と  
困  
き  
に  
は  
た

仕  
用  
引  
語  
集  
・



# 用語集

## あ

- **液晶ディスプレイ**  
本機の液晶表示パネルです。

## か

- **回線種別**  
電話に使われているダイヤリングの方法です。発生したパルス数を数えて検出するダイヤル式と、周波数を検出して判別するプッシュ式があります。
- **機密ポーリング**  
受信側のファクス操作で暗証番号を入れることによって、送信側のファクスにセットしてある原稿を暗証番号が合っているときにだけ自動的に送信させる機能です。
- **キャリアシート**  
新聞・雑誌の小さい切り抜きや、メモ書き、破れた原稿、反っている原稿などの状態の悪い原稿をはさんで、ファクス送信やコピーに使います。
- **公衆回線**  
一般の電話回線です。

## さ

- **順次同報送信**  
同じ原稿を複数の送信先を設定して一度に送信させる機能です。
- **親切受信**  
ファクスを着信したときに間違えて外付電話を取ってしまったときでも自動的に本機がファクス受信を行う機能です。
- **スプリッタ**  
ADSL という通信サービスを利用するときに必要な機器のひとつ。音声信号とデータ信号を分けたり重ねたりする機能を備えています。
- **外付電話機**  
本書では、本機に接続された電話機を外付電話機と呼んでいます。

## た

- **デュアルアクセス**  
1つの機能の動作中に別の機能を並行して処理できることです。
- **電話呼び出し機能**  
ファクスメッセージがメモリーに貯えられると、外出先の電話に知らせる機能です。
- **取りまとめ送信**  
メモリーに貯えられているタイマー送信用のデータを、同一の相手ごとにまとめてタイマーで指定された時間に送信する機能です。

## な

- **ナンバー・ディスプレイ**  
「ナンバー・ディスプレイ」はかけてきた相手の電話番号が受話器を取る前に、電話機等のディスプレイに表示されるサービスです。  
ご利用になるには別途NTTへのお申し込みが必要です。

## は

- **ファクス転送**  
ファクスメッセージがメモリーに貯えられると、外出先のファクスに転送させる機能です。
- **ポーリング通信**  
受信側のファクス操作で送信側のファクスにセットしてある原稿を自動的に送信させる機能です。

## ま

- **メモリー送信**  
ファクス原稿を初めに読み取り、それをメモリーに貯えてから送信する機能です。

・使  
目い  
書  
次方  
の

バ  
操  
作  
ル

備  
前  
ご  
の  
使  
用  
準  
用

本  
前  
ご  
設  
定  
基  
用

送  
フ  
ァ  
ク  
ス

受  
フ  
ァ  
ク  
ス

機  
の  
フ  
ァ  
ク  
ス  
使  
用

・レ  
リ  
ポ  
ス  
ト

コ  
ピ  
ー

お  
日  
手  
常  
入  
れ  
の

と  
困  
き  
っ  
は  
た

索  
用  
引  
語  
集  
・

- **メモリー代行受信**  
記録紙がセットされていないときなど、着信したデータをいったんメモリーに貯えておく機能です。

## ら

- **リアルタイム送信**  
メモリーに貯えず、原稿を読み取りながら送信する機能です。
- **リモート起動**  
本機に接続された外付電話機から本機を操作する機能です。
- **リモコンアクセス**  
外出先から本機をリモートコントロールして操作を行う機能です。

## 数字

- **2 IN1**  
2 枚の原稿を縮小し、1 枚の記録紙にコピーする機能です。
- **3 極 -2 極変換アダプタ**  
電源コードでアース線つき (3 極コード) のものを 2 極のコンセントに差し込むときに使うアダプタです。
- **4 IN1**  
4 枚の原稿を縮小し、1 枚の記録紙にコピーする機能です。

## A to Z

- **ADF**  
自動原稿送り装置。コピーするときには原稿を一枚ずつ入れるのではなく自動的に原稿を本機に送ります。
- **ADSL**  
通常の電話回線 (アナログ回線) で従来使っていなかった帯域を利用してデータを高速に伝送する通信サービスです。

- **DPI**  
Dot Per Inch の略で、1 インチ (2.54cm) 幅に印字できるドット数を表す単位で、解像度を示します。
- **ECM 通信**  
Error Correction Mode の略。通信中雑音などにより送信データが影響を受けても、自動的に影響を受けた部分だけ送り直し、画像の乱れのない通信を行います。
- **ISDN**  
NTT が行っている電話線のサービスです。デジタルの回線で 1 回線でパソコンと電話など一度に 2 回線分使うことができます。

# 索引

## 数字

2 IN 1 コピー .....	153
4 IN 1 コピー .....	153

## A

ADSL 回線に接続する .....	47
--------------------	----

## C

CS チューナーに接続する .....	52
---------------------	----

## I

ISDN 回線に接続する .....	48
--------------------	----

## P

PB .....	34
----------	----

## Q

Q&A .....	180
-----------	-----

## S

S. ファインモード .....	90
------------------	----

## あ

暗証番号の設定 .....	127
---------------	-----

## い

印刷濃度を調節する .....	68
-----------------	----

## え

液晶ディスプレイの特徴 .....	54
液晶ディスプレイの表示言語を 切り替える .....	69
エラーメッセージ .....	177

## か

海外送信 .....	99
外出先から本機を操作する .....	127
拡大・縮小コピー .....	147
画質モード .....	90
紙詰まりについて .....	160

## き

機能案内リスト .....	134
基本設定機能 .....	56
機密ポーリング受信の設定 .....	119
キャビネット内部のお手入れ .....	163
記録紙のタイプ .....	154

## こ

公衆回線に接続する .....	46
構内交換機 (PBX)、ホームテレホン、 ビジネスホンに接続する .....	50
故障かな?と思ったら .....	186
コピー機能 .....	61, 140
コピーする .....	143
コピーの明るさ .....	150
コピー枚数を設定する .....	148
困ったときには .....	176
コントラスト .....	150

## さ

再呼出回数を設定する .....	107
------------------	-----

## し

時刻指定ポーリングの設定 .....	120
自動切替モード .....	41
自動的に縮小受信する .....	111
写真モード .....	90
出力間隔 .....	138
受話器の音量を調節する .....	65
順次同報送信 .....	96
消耗品シート .....	134
親切受信で受信する .....	108

## す

スキャナウィンド .....	165
スタックコピー .....	151
スピーカー音量を調節する .....	64
スリープモードを設定する .....	67

## せ

設定内容リスト .....	134
設定を変更する .....	62

・使本  
目い書  
次方の

・操  
作  
作  
ル

・備前  
ご  
の使  
用  
準  
用

・本前  
ご  
設  
の使  
用  
定基  
用

・送フ  
ア  
信  
ク  
ス

・受フ  
ア  
信  
ク  
ス

・機フ  
能ア  
応ク  
用ス

・レ  
リ  
ポ  
ス  
ト

・コ  
ピ  
ー

・お日  
手常  
入  
れ  
の

・と困  
き  
っ  
た  
は  
た

・索用  
引仕  
語様  
集

## そ

送信待ちファクス解除 .....	102
送信レポート .....	134
送付書 .....	93
ソートコピー .....	151
外付電話機からファクスを 受信させる .....	109
外付留守電モード .....	42

## た

タイマー送信 .....	100
タイマー通信レポート .....	134
タイマーポーリング受信 .....	120
ダイヤル回線 .....	34
ダイヤルリスト .....	134

## ち

着信履歴を確認する .....	112
-----------------	-----

## つ

通信管理レポート .....	134
----------------	-----

## て

電話帳リスト .....	134
電話モード .....	43
電話呼び出し機能 .....	123
電話呼び出し機能の設定 .....	125
電話呼び出し機能の流れ .....	125

## と

同報送信レポート .....	134
トナーを節約する .....	66
取りまとめ送信 .....	101

## な

内線電話として接続する .....	51
ナビゲーションキー .....	55

## ひ

標準モード .....	90
-------------	----

## ふ

ファインモード .....	90
ファクス機能 .....	58
ファクス転送の設定 .....	124
ファクス転送の流れ .....	123
プッシュ回線 (PB) .....	34
プライマリーコロナワイヤー .....	166

## ほ

ポーリング受信の設定 .....	119, 120
ポーリング送信の設定 .....	114, 115
ポーリングレポート .....	134
ボタン確認 & ブザー音量 .....	63
ボタン確認音量を変える .....	63
本装置の仕様 .....	194
本体の掃除 .....	163

## め

メモリー受信を設定する .....	121
メモリーに入ったファクスを 出力する .....	122
メモリー代行受信 .....	104

## よ

呼出回数を設定する .....	106
読み取り部の清掃 .....	163

## り

リアルタイム送信 .....	97
リモート起動 .....	109
リモート起動設定のしかた .....	110
リモコンアクセス .....	128
リモコンアクセスコマンド .....	130

## リモート アクセス

### 暗証番号



あなたの暗証番号を  
記入してください。

### リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. ファクシミリが応答して約4秒間の無音状態のときに、暗証番号を入力します。

3. 「ボー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信していることを示します。

「ボー」という音が聞こえなければ、ファクスメッセージを受信していないことを示します。

4. 次に、短い「ピピッ」という音が続けて聞こえたらリモコンアクセスコマンドを入力します。

5. 90を入力して、リモコンアクセスを終了します。

リモコンアクセスコマンドは、③、④を参照してください。

注意：間違った操作を行ったときには、短い「ピッ」という音が3回聞こえますので、もう1度やり直してください。

リモコンアクセスコマンド		
操作内容	ボタン操作	
電話呼び出し、 ファクス転送の設定変更	OFF	951
	ファクス転送	952(※1)
	電話呼び出し	953(※2)
ファクス転送番号の登録・変更	954	
メモリー受信の設定	ON	956
	OFF	957
ファクスの 取り出し	ファクスの取り出し	962+ダイヤル入力+###
	ファクス消去	963
受信状況のチェック(※2)	ファクス	971

操作内容	ボタン操作	
受信モードの 変更	外付留守電	981
	自動切替	982
	ファクス	983
終了	90	

※1： 呼び出し番号・転送番号が登録されていないときは、呼び出し、転送機能をONにすることはできません。

※2： 「ピー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信しています。「ビビビッ」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信していません。

# ご注文シート

- ・消耗品はお近くの家電量販店でも取扱いがございますが、弊社にてインターネット、電話、FAXによるご注文も承っております。
- ・FAXにてご注文される場合は下記オーダーシートにご記入の上、お申し込み下さい。
- ・送料は、お買い上げ金額の合計が5,000円以上の場合は全国無料です。5,000円未満の場合は500円の送料を頂きます。(代引き手数料は全国一律無料)
- ・配送地域は日本国内に限らせて頂きます。

## 〈代引き〉……………ご注文後2～3営業日後の商品発送

※ 配送先が離島の場合は代引きによるお支払いは利用できません。

## 〈お振込(銀行・郵便)〉……………ご入金確認後2～3営業日後の商品発送

※ 代金は先払いとなります。(銀行／郵便局備え付けの振込用紙等からお振り込み下さい)

※ 振込手数料はお客様負担となります。

## 〈クレジットカード〉……………カード番号確認後2～3営業日後の商品発送

※ カード名義人様のみのお申し込みとし、カード登録の住所のみへの配送とさせていただきます。

## 【ご注文先】

ブラザー販売(株)情報機器事業部ダイレクトクラブ

インターネット: <http://www.brother.co.jp/direct/>

FAX: 052-825-0311

電話番号: 0120-118-825(土・日・祝日、長期休暇を除く9時～17時)

振込先: 口座名義: ブラザー販売株式会社

銀行: 三井住友銀行 上前津(カミマエツ)支店 普通 6428357

郵便: 振り込み番号 00860-1-27600

お客様ご住所 〒

お名前 \_\_\_\_\_ TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

お支払い方法 銀行前振込 ・ 郵便前振込 ・ 代引き ・ カード

カード種類 ①VISA ②JCB ③UC ④DINERS ⑤CF ⑥Master ⑦JACCS

カードNO \_\_\_\_\_

カード名義人名 \_\_\_\_\_ 有効期限 年 月

商品名	商品コード	単価(税込)	ご注文数	金額
トナーカートリッジ TN-10J(約2,200枚@A4:5%)	54X-X26-001-47	¥ 6,930		
ドラムユニット DR-10J(約8,000～20,000枚)	54X-X25-001-47	¥20,475		
	合計			

※送料および消費税は変更の可能性があります。  
(消費税2004年2月現在)

\*このご注文シートは本機から印刷することができます。

P. 29 を参照してください。



# アフターサービスのご案内

この度は本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。  
ご愛用いただきます製品が、安心してご使用いただけますよう下記窓口を設置しております。

ご不明な点、もしくはお問い合わせなどございましたら下記までご連絡ください。  
その際、液晶ディスプレイにどのような表示が出ているかなどをおたずねいたしますので、あらかじめご確認いただけますと助かります。

## 【お客様専用お問い合わせ窓口】

お客様相談窓口 TEL：0120-143410

受付時間 9：00～18：00（土曜日のみ17：00まで）

営業日 月曜日～土曜日

（日・祝日および当社休日はお休みとさせていただきます）

## 【消耗部品のお問い合わせ窓口】

ブラザー販売（株）情報機器事業部 ダイレクトクラブ

〒467-8577 名古屋市瑞穂区苗代町15-1

TEL：0120-118-825

FAX：（052）825-0311

インターネット：<http://www.brother.co.jp/direct/>

- ・ 消耗品については、お買い上げの販売店にてお買い求めください。
- ・ 万一、販売店よりお買い求めできない場合は、弊社ダイレクトクラブにて対応させていただきます。なお、ご注文の際は、取扱説明書の「ご注文シート」にてFAXなどの方法でご注文願います。（本機のリスト印刷機能のご注文シートをご利用いただき、FAXなどの方法でご注文いただくこともできます。）
- ・ トナーカートリッジ・ドラムユニットは当社指定品をお使いください。当社指定以外の品物をお使いいただくと、故障の原因になります。  
純正品のブラザートナーカートリッジ・ドラムユニットをお使いいただいた場合のみ機能・品質を保証いたします。
- ・ 本製品の補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は製造締め切り後5年です。
- ・ Brother Solutions Center（ブラザーソリューションセンター）（<http://solutions.brother.co.jp/>）では、Q&A、便利な機能紹介、その他本機をお使いいただく上で有益な情報をご用意しております。ぜひご利用ください。

# brother

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。

現地で各国の通信規格に反する場合や、現地で使用されている電源が

本製品に適切でないおそれがあります。

海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。

また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

These machines are made for use in Japan only.

We can not recommend using them overseas

because it may violate the Telecommunications Regulations of that country and the power requirements of your fax machine

may not be compatible with the power available in foreign countries.

Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

**お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。**



Printed in China